



ライオンズクラブ国際協会331-B地区

2023-2024年度

第2回キャビネット会議



日 時：2023年11月18日(土)

場 所：サフィールホテル稚内

稚内市開運町1丁目2-2

TEL 0162-23-8111



2023-2024 ライオンズクラブ国際協会 331-B地区

稚内キャビネット

国際会長 L.パティ・ヒル

国際テーマ

【We Serve (われわれは奉仕する)】

国際会長メッセージ

**【Changing The World
(世界を変える)】**

地区ガバナー L.藤原 回向

地区ガバナースローガン

【環境保護は子孫に対する奉仕となる】

地区ガバナーモットー

【明るい未来を信じて We Serve!】

◆稚内キャビネットピンバッチ ◆ コンセプト



ガバナースローガンにもある様に環境保護という観点から美しい自然と環境を大切にするというコンセプトのもと、国立公園であり自然豊かな『利尻富士』と稚内の代表的な花である『はまなす』をピンバッチに用いています。

第2回 キャビネット会議 プログラム

会場:サフィールホテル稚内

総合受付	14:00～	2F	ホワイエ
長期計画リサーチ委員会会議	14:00～14:50	ZOOM	11月10日
地区GMA会議	15:00～15:30	ZOOM	11月10日
マーケティング・IT委員会	14:10～15:40		11月10日
地区マーケティング・YCE、 YCE委員会	14:30～15:40	2F	流氷B
地区委員会会議	15:00～15:40	2F	流氷A
地区コーディネーター、ゾーン・チェ アパーソン事前会議、GMA会議	14:30～16:00	2F	鳳
* キャビネット会議 *		2F	鳳
	16:10～17:50		
* 懇親会 *		2F	鳳
	18:00～20:00		

第2回キャビネット会議次第

司会：運営委員長 L. 蓑谷 克行

1 開会宣言並びに開会ゴング	地区ガバナー	L. 藤原 回向	
2 出席者の紹介	運営委員長	L. 蓑谷 克行	
3 物故会員への黙祷	運営委員長	L. 蓑谷 克行	5頁
4 地区ガバナー挨拶	地区ガバナー	L. 藤原 回向	
5 副地区ガバナー挨拶	第一副地区ガバナー	L. 伊東 隆志	
	第二副地区ガバナー	L. 大島 尚久	
6 キャビネット報告			
報告第1号 : 複合地区各種会議	CAB幹事	L. 中野 修吾	7頁
報告第2号 : 献眼推進運動推進事業報告	CAB幹事	L. 中野 修吾	95頁
報告第3号 : 331-MD2021-2022決算・2022-2023予算各種	CAB会計	L. 梅村 俊範	98頁
報告第4号 : 2023-2024 年度 331複合地区旅費・慶弔規定	CAB会計	L. 梅村 俊範	103頁
報告第5号 : 地区緊急援助資金の活用について	CAB幹事	L. 中野 修吾	105頁
報告第6号 : LCIF献金実施状況一覧・サバンナ基本集計表	CAB幹事	L. 中野 修吾	109頁
報告第7号 : 割引会員について	CAB幹事	L. 中野 修吾	111頁

7 審議事項

議長就任	地区ガバナー	L. 藤原 回向	
議案第1号 : 第70回地区年次大会要綱(案)	地区大会委員会委員長	L. 岡谷 繁勝	113頁
議案第2号 : 第70回地区年次大会取引金融機関(案)		L. 岡谷 繁勝	116頁
議案第3号 : 第70回地区年次大会議事規則(案)	CAB幹事	L. 中野 修吾	117頁
議案第4号 : 次期地区役員・委員推薦要項(案)について	CAB幹事	L. 中野 修吾	120頁
議案第5号 : 次期地区ガバナー立候補者届出について	CAB幹事	L. 中野 修吾	121頁
議案第6号 : 次期第一副地区ガバナー立候補者届出について	CAB幹事	L. 中野 修吾	124頁
議案第7号 : 次期第二副地区ガバナー立候補者届出について	CAB幹事	L. 中野 修吾	127頁
議案第8号 : 地区キャビネット慶弔規定 改定(案)	CAB幹事	L. 中野 修吾	130頁
提出議案 : 地区内クラブより提出議案	CAB幹事	L. 中野 修吾	135頁

第2回キャビネット会議出席者名簿

役 職	氏 名	出欠	役 職	氏 名	出欠	役 職	氏 名	出欠
地区ガバナー 地区LCIFコーディネーター	L. 藤原 回向	○	長期計画リサーチ委員	L. 二宮 雄一	○	第1R地区 マーケティング・YCE委員 第1R第2Zゾーン委員	L. 青木 秀史	○
元国際理事 元ガバナー名誉顧問	L. 安井 克之	×	長期計画リサーチ委員	L. 木村 宏幸	○	第3R地区 マーケティング・YCE委員	L. 田邊 宏	×
第一副地区ガバナー 地区LCIF副コーディネーター 長期計画リサーチ副委員長 地区会計監査委員	L. 伊東 隆志	○	地区大会委員長	L. 岡谷 繁勝	○	第4R地区 マーケティング・YCE委員	L. 遠藤 隆男	○
第二副地区ガバナー 長期計画リサーチ福委員長	L. 大島 尚久	○	地区大会副委員長	L. 寺本 幸男	○	第5R地区 マーケティング・YCE委員	L. 奥山 壽雄	○
地区名誉顧問会議長	L. 中谷 宣巨	○	地区大会事務局長	L. 藤田 隆明	○	【ゾーン委員】		
第2R地区名誉顧問会議	L. 佐藤 信雄	×	地区大会事務局長次長	L. 石井 和雄	×	第1R第1Zゾーン委員	L. 小野寺 一史	○
第3R地区名誉顧問会議	L. 香川 俊雄	×	会則 委員長	L. 本間 修三	○	第2R第1Zゾーン委員	L. 山田 智士	○
第4R地区名誉顧問会議	L. 井ノ浦 義明	×	国際大会・国際協調 委員長	L. 村山 聡	○	第2R第2Zゾーン委員	L. 加藤 祐一	×
第5R地区名誉顧問会議	L. 若林 輝彦	×	国際大会・国際協調 副委員長	L. 明石 敏弥	○	第3R第1Zゾーン委員	L. 大和田 収	○
前ガバナー 元ガバナー名誉顧問 長期計画リサーチ委員長	L. 阿部 昭	×	薬物乱用防止・献血献血 委員長	L. 山森 清志	×	第3R第2Zゾーン委員	L. 船迫 郷子	○
キャビネット幹事(全般) 長期計画リサーチ委員	L. 中野 修吾	○	薬物乱用防止・献血献血 副委員長	L. 櫻井 信之	×	第4R第1Zゾーン委員	L. 佐藤 光一	○
キャビネット会計(広報)	L. 梅村 俊範	○	レオ・青少年育成委員長 アラート委員長	L. 浅野 敬一	○	第4R第2Zゾーン委員	L. 太田 晃司	○
キャビネット副会計(財務)	L. 三上 聖二	○	レオ・青少年育成副委員長 アラート副委員長	L. 佐藤 豪一	○	第4R第3Zゾーン委員	L. 森田 正志	○
地区GLTコーディネーター 第2R地区 マーケティング・YCE委員	L. 広瀬 寛人	○	レオ・青少年育成委員 アラート委員	L. 清野 芳明	×	第5R第1Zゾーン委員	L. 梅原 友一	○
地区GMT コーディネーター	L. 矢吹 定夫	○	YCE 委員長	L. 小林 孝彦	○	第5R第2Zゾーン委員	L. 林 健二	○
地区GST コーディネーター	L. 岡田 清一	○	YCE 副委員長	L. 工藤 正幸	○			
地区SPC・FWT コーディネーター	L. 大津 幸三	○	マーケティング・IT 委員長	L. 高田 政志	○			
地区GET コーディネーター	L. 柳澤 豊	○	マーケティング・IT 副委員長	L. 栃木 潤子	○			
地区GLT 副コーディネーター	L. 佐藤 健治	○	マーケティング・IT 委員	L. 山田 庸徳	×	【オブザーバー】 (北見)	L. 山田 兼士	○
地区GMT 副コーディネーター	L. 猫本 浩和	○	平和ポスター コンテスト委員長	L. 石橋 美由亀	×			
地区GST 副コーディネーター	L. 重綱 博美	○	運営委員長(副幹事)	L. 養谷 克行	○			
地区SPC・FWT 副コーディネーター	L. 大森 一道	○	運営副委員長(副幹事)	L. 石内 隆則	○			
地区GET 副コーディネーター	L. 宮下 泰裕	○	運営副委員長(副幹事)	L. 佐藤 堅司	○	事務局長	L. 池田 恵美子	○
第1R第1Z ゾーン・チェアパーソン	L. 成田 勝利	○	運営委員(副幹事)	L. 鳥取 広志	○	事務局員	大久保 雅明	○
第1R第2Z ゾーン・チェアパーソン	L. 杉本 隆英	○	運営委員(副幹事)	L. 柳浦 政春	○	事務局員	小野寺 理恵	○
第2R第1Z ゾーン・チェアパーソン	L. 松田 誠一	○	運営委員(副幹事)	L. 加賀 浩一	○	事務局員	山口 真希	×
第2R第2Z ゾーン・チェアパーソン	L. 立崎 光儀	○	運営委員(副幹事)	L. 永井 由美子	○			
第3R第1Z ゾーン・チェアパーソン	L. 方川 一郎	○	運営委員(副幹事)	L. 庄司 明宏	×			
第3R第2Z ゾーン・チェアパーソン	L. 高橋 好志子	○	地区会計監査委員	L. 澤田 礼二	×			
第4R第1Z ゾーン・チェアパーソン	L. 萩谷 泰夫	○	地区会計監査委員	L. 森山 憲治	×			
第4R第2Z ゾーン・チェアパーソン	L. 喜多 武彦	○						
第4R第3Z ゾーン・チェアパーソン	L. 徳田 晃一	○						
第5R第1Z ゾーン・チェアパーソン	L. 奥山 久美子	○						
第5R第2Z ゾーン・チェアパーソン	L. 佐藤 正明	○						

28

21

16

出席者

65 名

物 故 会 員

(2023年7月1日～2023年10月20日迄の物故者名)

獅子の魂は永遠に

獅子の肉体は滅びても培われた魂は滅びず、永く世に貢献する。北の大地で志を半ばにしてご逝去された、我が同士の雄姿を忘れることは決してなく、獅子の栄誉は永遠に銘記されていく。故人に寄せる想いは去りがたく331-B地区会員一同謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈り申し上げます。

2023年 7月31日	L.	さわだ まごはち 澤田 孫八	101歳	(歌登LC)
2023年 8月21日	L.	ありおか さだお 有岡 貞雄	93歳	(美幌LC)
2023年 9月 6日	L.	いちじょうくにひこ 一條 邦彦	93歳	(旭川大雪LC)
2023年 9月11日	L.	つだ みのる 津田 稔	67歳	(遠別LC)
2023年 9月17日	L.	きむら よしお 木村 由夫	92歳	(名寄LC)
2023年 9月19日	L.	くろいわ たけお 黒岩 岳雄	78歳	(富良野LC)
2023年 9月24日	L.	すずき かつみ 鈴木 捷三	86歳	(帯広鈴蘭LC)
2023年10月 5日	L.	にれ まこと 楡 誠	85歳	(稚内LC)

報 告 事 項

(報告第1号)

複合地区各種会議

- (2023. 7. 4~7. 6) 決議事項要約 国際理事会会議 8頁

- (2023. 8) LCIF国際理事会報告 19頁

- 一般社団法人日本ライオンズ
 - (2023. 8. 8) (社)日本ライオンズ第1回定時社員総会 (全国ガバナー会) 議事録 23頁
 - (2023. 8. 9) (社)日本ライオンズ第1回国際理事候補者 資格審査委員会【ハイブリッド】 31頁
 - (2023. 8. 17) (社)日本ライオンズ第1回国際大会委員会会議議事録 33頁
 - (2023. 8. 22) (社)日本ライオンズ第2回理事会 (WEB) 議事録 48頁
 - (2023. 8. 24) (社)日本ライオンズ第1回YCE委員会会要録 (WEB) 57頁

 - ◆ アラート委員会 議事要録
 - (2023. 8. 25) (社)日本ライオンズ第1回アラート委員会 (ZOOM) 議事要録 59頁
 - (2023. 9. 25) (社)日本ライオンズ第2回アラート委員会 (ZOOM) 議事要録 65頁

 - ◆ 会則委員会WEB会議議事録
 - (2023. 8. 24) (社)日本ライオンズ第1回会則委員長 (WEB) 議事録 71頁
 - (2023. 9. 21) (社)日本ライオンズ第2回会則委員長 (WEB) 議事録 75頁

- 2022-2023年度ライオン誌日本語版委員会
 - (2023. 8. 9) 2023-2024年度 第1回会議 (ZOOM) 81頁
 - (2023. 9. 6) 2023-2024年度 第2回会議 (ZOOM併用) 87頁
 - (2023. 10. 6) 2023-2024年度 第3回会議 (ZOOM) 91頁

決議事項要約
国際理事会会議
米国マサチューセッツ州ボストン
2023年7月4日～6日

監査委員会

1. 委員会はライオンズクラブ国際協会内部監査部門から最新報告を受けた。引き続き行動計画のフォローアップと監視を行っていく。

会則及び付則委員会

1. 300-A2 地区の選挙抗議申し立てを棄却し、Yang-Yang Yen ライオンを、2023～2024 年度第二副地区ガバナーとして宣言することに同意した。
2. 324-D 地区の選挙抗議申し立てを棄却し、R. Dinakaran ライオンを、2023～2024 年度第二副地区ガバナーとして宣言することに同意した。
3. 315-B2 地区の選挙抗議申し立てを棄却し、Shahadat Hossain ライオンを、2023～2024 年度第二副地区ガバナーとして宣言することに同意した。
4. 300-D5 地区の選挙抗議申し立てを支持し、Hung Chieh Chu 第二副地区ガバナーを、2023～2024 年度第一副地区ガバナーとして任命した。
5. B-3 地区の選挙抗議申し立てを支持し、2023～2024 年度第二副地区ガバナーを空席とすることに同意した。
6. 306-B2 地区の選挙抗議申し立てを支持し、2023～2024 年度第二副地区ガバナーを空席とすることに同意した。
7. 315 複合地区の選挙抗議申し立てを棄却し、Nazmul Haque ライオンを、推薦された国際理事候補者として宣言することに同意した。
8. 103 複合地区の選挙抗議申し立てを棄却し、Guy-Bernard Brami ライオンを、推薦された国際理事候補者として宣言することに同意した。
9. Sunita Bansal を 321-C2 地区ガバナー職から 2022～2023 年度任期の残る期間解任すること、さらに元地区ガバナーとしての職歴を認めないこと、ライオンらしからぬ言動のためいかなるクラブの会員ともしないことを決議した。
10. キプロス全土のライオンズクラブを一致させる取り組みに協力することを現幹部が拒んだため、2024 年国際大会閉会時をもってキプロスの地区未編成地域を 135 暫定地区とすること、さらに、ロバート・レットビー元国際理事をコーディネーター・ライオンに任命することを決議した。
11. 韓国ライオンズによる国レベルの財団「韓国ライオンズクラブ連合会財団」の設立を認めることを決議した。
12. 財団の名称と付則の変更を地区が承認することを条件に、北マケドニア共和国による財団の設立を認めることを決議した。
13. 2023～2024 年度の理事会代表検討特別委員会の承認を決議した。
14. 諮問委員会設立趣意の変更を承認することを決議した。

大会委員会

1. 理事会方針書の第8章B項を更新し、ライオンズが代表団の割当ホテルに宿泊し

なければいけないという要件を取り除き、自ら大会ホテルを選択できるようにすることを承認した。

2. 複合地区／地区レベルの国際大会委員長職の任命基準を評価した。その上で、任命プロセスを簡素化する方法を調べるよう、テクノロジーおよびマーケティング担当職員に要請した。

地区及びクラブ・サービス委員会

1. 2023～2024年度のコーディネーター・ライオンを務めるライオンズを任命した。
2. インターナショナル・マーケティング・アワードの申請手続きを合理化するため地区および複合地区マーケティング委員長の責務を改正した。
3. 新クラブの結成を奨励するため、標準版地区付則に記載されているゾーンとリジョンの記述を改訂した。
4. 地区グローバル・アクション・チームのメンバーと地区 LCIF コーディネーターに、キャビネット構成員としての投票権を与えるため、標準版地区会則を改訂した。
5. 地区または複合地区再編成案をクラブに通知するための日数要件を、60日から30日に短縮した。
6. 手続きを合理化するため無活動クラブや架空クラブを調査するための手続きを改訂した。

財務及び本部運営委員会

1. 赤字を反映する2022～2023年度第4四半期予想を承認した。
2. 赤字を反映する2023～2024年度最終予算を承認した。
3. 運営引当金方針の変更案を、2023年7月の新委員会会議で財務及び本部運営委員会にて協議し、2023年8月の長期計画委員会に付託するものとした。
4. 2023年12月までトルコの各ライオンズクラブを特別非常時ステータスに置き、地震の影響を受けた具体的なクラブについて2023～2024年度の理事会会議で財務及び本部運営委員会が審査を行うことを承認した。
5. ミッション1.5を支援するために第三副会長が出張する際の追加マイルを国際会長が承認できるように執行役員経費払戻し方針を改訂した。
6. ミッション1.5に必要なリーダーのフォーラム出張に対応するため、理事会方針書第23章A.10項を改訂した。
7. 国際大会送迎の入札手続きの例外を認め、署名承認レベル表を変更するよう、ライオンズ・インターナショナル購買方針を改訂した。

リーダーシップ開発委員会

1. スペイン語、スウェーデン語、イタリア語グループのグループリーダーの交代を含む、2023年度地区ガバナーエレクト・セミナー・グループリーダー陣の更新を承認した。
2. 2023～2024年度第一副地区ガバナー／地区ガバナーエレクト・セミナーのカリキュラム計画とスケジュールを承認した。

3. 2024年地区ガバナーエレクト・セミナー・グループリーダー陣を承認した。
4. 理事会方針書第14章D.10項を改訂し、地区ガバナーエレクト・セミナー・グループリーダーの資格を並び替え、明確にしたほか、グループリーダーとしての任期の初めから国際大会でのセミナーまで、グループリーダーが国際理事または国際第三副会長候補として推薦を受けないようにした。
5. 理事会方針書を改訂し、第二副会長が地区のグループ分けを行って必要なグループリーダーの数を定める際には、混合モデルまたは地域別モデルのいずれかを選択するものとし、混合モデルの数は最大31グループ、地域別モデルの数は最大36グループまでとする。

長期計画委員会（2023年5月会議の報告）

1. ライオンズ国際戦略計画プロジェクト・チームから、新しい成長モデルに関する実行可能性報告書と提案内容を受け取った。
2. ライオンズ国際戦略計画の進捗報告と次年度計画のプレビューを受け取った。
3. 2027年7月1日までにライオンズクラブ国際協会の会員数を150万人に増やす計画の作業草案を確認した。
4. ライオンズクラブ国際財団理事会へのレオライオンの参加について審議した。
5. 中東欧グローバル・アクション・チーム及びコーディネーター・ライオン・コラボレーションについて討議した。
6. アドボカシー・イベントへの資金提供要請を審査するためのガイドラインと基準の作成について討議した。
7. ライオンズクラブ国際財団と世界食糧計画とのパートナーシップに関する議論の最新情報を受け取った。

マーケティング委員会

1. マーケティング部の2022～2023年度見通しと2023～2024年度予算を確認した。
2. ミッション1.5の立ち上げに向けた新たなサポートに関する最新情報を確認した。
3. フォーラム、ウェブサイト、デジタルプロダクトの商標の取り扱いに関する最新情報を確認した。
4. 平和ポスターおよび作文コンテストをデジタル形式で配布する計画について検討した。
5. グローバルな広報戦略と年度末の成果を確認した。マーケティング補助金サポートについて確認した。
6. ブランド・プログラムと戦略、および年度末の成果を確認した。マーケティング補助金サポートについて確認した。
7. ライオンズ国際戦略計画の一環として「ライオンズ・インターナショナル」ブランドへの移行状況を確認した。
8. マーケティング委員会の設立趣意を確認した。変更なし。
9. ミッション1.5をサポートするために推奨される変更を加えるため、表彰の一覧表を見直した。今回の見直しにより、新クラブの結成と新会員の増加を表彰する

ために、一定数の会長メダルとリーダーシップメダルが確保・追加される。使用基準は未定。これらの調整は、理事会方針書第 19 章で行われる。

10. レオ諮問パネルのメンバーを追加するため、理事会方針書第 19 章の国際プロトコールの更新を検討した。議論の結果、レオ諮問パネルのメンバーを様々な要因に基づいてプロトコールの適切な位置に含めるべきであると全会一致で同意した。

会員増強委員会

1. 会員増強補助金について討議し、委員会が検討するための、より詳細な申請書を作成するよう要請した。これには、計画の各段階に誰が責任を持ち、いつまでに完了させるかについての具体的な情報が含まれていなければならない。
2. 3234 D2 地区について討議した結果、モラトリアム処分を解除し、2023-2024 年度の地区ガバナーに Vijay Bhandari ライオンを任命した。
3. また、Narendra Bhandari ライオン、Girish Malpani ライオン、Rajesh Kothavade ライオン、Raj Muchhal ライオンは、2年のあいだ役職を剥奪されるものとする。Parmanand Sharma ライオンは、以前決定された 5 年ではなく、2 年後に再出馬することができる。
4. スペシャルティクラブ・コーディネーター職を終了し、従来型クラブとスペシャルティクラブ両方の結成において、グローバル・エクステンション・チーム・コーディネーターを活用するよう地区に奨励する。
5. 会員数を 150 万人に増やし、すべての会則分野で純増を達成する会員拡大のイニシアチブ「ミッション 1.5」を立ち上げた。
6. ミッション 1.5 を支援するため、GAT サクセスストーリー補助金と GAT 委員長メダルの廃止を含む、グローバル・アクション・チームの方針の変更を行なった。

奉仕事業委員会

1. 2022～2023 年度第 4 四半期収支予想を確認した。
2. 2023～2024 年度予算について討議し、インドのライオンズによるインド・アドボカシー・デーへの資金援助要請を支持した。
3. 奉仕の受益者数、奉仕アクティビティの数、奉仕を報告しているクラブの割合等、アクティビティ報告に関する報告を受けた。
4. 国連ライオンズ・デーの行事や各種アドボカシー・デーを含む、アドボカシーの取り組みに関する最新報告を受けた。
5. ライオンズ・インターナショナルのアドボカシー・ガイドラインの変更を推奨した。
6. 難民・避難民への支援や、糖尿病啓発・教育活動を含む、グローバル重点分野および奉仕プログラムについて討議した。
7. 2023 年期ライオンズ&エレバンスヘルス・ボランティア・デーの最新報告を受けた。
8. ライオンズ国際戦略計画の単発ボランティア奉仕事業について最新報告を受けた。

9. 奉仕事業部の 2023～2024 年度年次計画を確認した。

テクノロジー委員会

1. 2023 年ボストン国際大会および選挙のサポートについて最終報告を受けた。
2. テクノロジー部の 2022～2023 年度第 4 四半期見通しと 2023～2024 年度予算を確認した。
3. Salesforce プロジェクトに関する包括的な最新報告を受け、Lion Portal は 2023 年 9 月立ち上げ予定との情報を受けた。
4. デジタル会員体験への変更が会員に与える影響を最小限に留めるため、必要となるチェンジマネジメントと会員エンゲージメントについて討議した。
5. プライバシー保護の取り組み、一般データ保護規則（GDPR）に関連して講じられている継続的な措置に関する最新情報を確認し、正式な認証を受けずに ISO（国際標準化機構）27001 コンプライアンス・プロジェクトを継続するようスタッフに要請した。
6. ウェブサイトのナビゲーション更新プロジェクトの最新報告を受けた。
7. 会員増強委員会の最新情報を確認し、Salesforce プロジェクトの一環として実施される新クラブ申請プロセス改善プロジェクトの状況について討議した。
8. 協会のプライバシー方針が記載されている理事会方針書第 26 章を更新する必要性について議論した。

上記要約のいずれかに関する詳細は、協会ウェブサイト www.lionsclubs.org でご覧いただくか、法務部にお問い合わせください。

2023年7月4-6日国際理事会決議及び国際大会代議員投票結果による国際会則及び付則改正について

7月にボストンで国際開催に先立ち開催された国際理事会及びボストン国際大会代議員投票によって可決された国際会則付則改正について、その概要のうち重要と思われる点について以下の通りご報告いたします。なお、以下は暫定的な翻訳に基づいて必要な情報を整理したものです。正式な翻訳による決議要約は追って国際協会ウェブサイトからご確認いただけます。また、追ってライオン誌に決議要約が掲載されますのでご確認ください。

1. 委員会は、国際理事会代表検討特別委員会（アドホック委員会）を2023-2024年度に設置することを承認【会則付則委員会】 追って、会則地域5オセアルの委員は韓国のジュンヨル・チョイ元会長が任命を受けた。
2. 委員会は、2024年の国際大会閉会時にキプロスを暫定地区135とし、ロバート・レトビー元国際理事がこのコーディネーター・ライオンを務めることを承認【会則付則委員会】
3. 委員会は韓国に同国の国内財団として Korea Council of Lions Clubs Foundation（韓国ライオンズクラブ連合会財団）を設置することを承認【会則付則委員会】
4. **国際大会の際に、ライオンズは指定された代議員ホテルに宿泊する必要はなく、各自国際大会指定ホテルから宿泊ホテルを選択することが可能となるように、理事会方針書第8章を改正することを承認【大会委員会】**
5. 複合地区・準地区での大会委員長任命基準を確認し、その任命と入力手続きが簡略化されることをIT委員会に依頼することを決議【大会委員会】
6. 2023-2024年度コーディネーターライオンの任命を決議。後藤隆一元国際理事（MD333）はモンゴルのコーディネーターライオンに再任。【地区およびクラブサービス委員会】
7. 地区および複合地区のマーケティング委員長の責務を改正し、国際マーケティングアワードへの申請手続きを明確化することを承認。【地区およびクラブサービス委員会】
8. **新クラブ結成を促すように、標準版地区会則及び付則のリジョンおよびゾーンに関する規定の改正を承認【地区およびクラブサービス委員会】**

→改正された該当の規定は以下の通り。

第4項 リジョン及びゾーン。

- a. 構成。地区キャビネットの承認があり、かつクラブ、地区、国際協会にとって最善である場合に、地区ガバナーはリジョン及びゾーンを変更することができる。地区は、2つ以上のゾーンにより構成されるリジョンに分けることが出来、そのゾーンは通常4から8のクラブから成るが、ゾーンは新たに結成されたクラブを含める際にはいつでもクラブ数を拡大することができる。

9. 地区グローバルアクションチームのメンバーおよび LCIF 地区コーディネーターは、地区キャビネットの投票権を有する一員とすることを規定する内容に標準版地区会則及び付則を改正することを承認【地区およびクラブサービス委員会】

10. 地区および複合地区が再編成提案を提出する際に、その提案を所属クラブに事前通知する日数を60日から30日に変更することを承認。【地区およびクラブサービス委員会】

11. 2024年第一副地区ガバナー・地区ガバナーエレクトセミナーグループリーダーを承認。日本語クラスのグループリーダーは浜島清美元ガバナー（MD334）

12. 理事会方針書第14章を改正し、地区ガバナーエレクトセミナーグループリーダーの資格をより明確な表現にすることで、任命を受けるグループリーダーが、その最初から任務終了までの期間を通じて、国際理事または国際第3副会長候補者として資格認定を受けないことを承認。【リーダーシップ開発委員会】

13. 地区 GET コーディネーターが伝統的クラブもスペシャルティクラブも合わせて新結成する努力を行うことを奨励し、地区におけるスペシャルティクラブ・コーディネーターの役職を終了することを承認。【会員増強委員会】

14. すべての会則地域で純増を実現しつつ、全会員数150万人を達成する会員拡大のイニシアチブであるミッション1.5の開始を承認。【会員増強委員会】

15. ミッション1.5をサポートする内容にグローバルアクションチーム方針を改正し、これによりGATサクセスストーリー補助金とGAT委員長メダルの両プログラムを終了する。

■国際会則付則改正

1. 第三副会長の資格要件から最低地区要件を削除することを承認し、国際付則第2条2項(a)(3)を全文削除し、続くすべての項番を適宜繰り上げる。有資格の候補者は、他のすべての資格要件が満たされていれば、どの地区からであっても立候補が可能となる。

2. 国際理事の資格要件から最低地区要件を削除することを承認し、国際付則第2条3項(c)を全文削除し、続くすべての項番を適宜繰り上げる。有資格の候補者は、他のすべての資格要件が満たされていれば、移行地区や暫定地区を含むどの地区からであっても立候補が可能。

本件は、第三副会長および国際理事の資格要件の問題であり、正地区となる要件が35クラブ1250名の会員数であることについての改正ではありませんのでご注意ください。

3. 国際付則第11条7項を改正し、「準会員、」と「名誉会員」の間に「割引会員、」を含め、国際協会が提供するいずれかの割引プログラムの結果として会費の割引を受ける会員のために、別個の会員種別を設けることを承認。この改正は、2024年1月1日から適用される。

割引会員は、新たな会員種別として新たに国際会則上規定されます。公式通達上は、この改正について「

新しい会員種別を設けると、地区大会や、複合地区大会、国際大会におけるクラブの代議員総数を、割引会費を支払っている会員の数によって増やすことができなくなる。」とのみ説明されておりましたが、その内容について確認しましたところ、以下の通りです。

■「割引会員」は、クラブ会則付則上以下のように定義されます。

割引会員：家族会員、学生会員その他の国際協会のプログラムに参加した結果、割引または減額された国際会費を支払うクラブ会員で、当クラブの会員であることを希望し、かつ割引対象となる基準を満たす会員。その会員資格はクラブ理事会によって確認・承認を受ける。割引会員は地区または国際の役職を務めることが出来るが、その際にはクラブが規定する会費を支払う場合がある。この会費には地区費、国際会費も含まれる。この種別の会員はクラブ代議員を算出する際の母数には含まれない。

さらに、以下の点を確認いたしました、

- 「割引会員」は、上述の通りクラブ理事会の承認を受ければ、クラブ役員、地区役員、国際役員を務めることはできる。
- 「割引会員」は、クラブ代議員を算出する際の母数には含まれないが、割引会員自身がクラブ代議員となって一票を投じることについては制約はなく、代議員となることが出来る。
- 割引会員となるか、クラブ代議員算出の母数となる会員となるかの基準は、12月31日現在の会員名簿に基づいて1月に発行される下半期会計計算書において、請求され支払われ

た会費が割引会費か否かで決定される。つまり、種別を変更したい場合にはこの時までに変更をする必要がある。

2024年1月1日からの発行に先立ち、10月頃にこの改正についての通知が行われる予定です。

4. 国際付則第10条2項(a)の既存の文言を全文削除し、以下と差し替えることを承認。この改定により、今後国際役員は会員拡大と指導力育成など、その任務の内容が明確となる。

地区ガバナーは、本協会の国際役員として、又国際理事会の全般的監督のもとに、所属地区において国際協会を代表する。さらに、地区における最高運営責任者として、地区キャビネットを直接指導監督する。具体的な任務は次のとおりである。

- (1) 地区における会員増加につながるよう、本協会の目的を推進する。
- (2) 地区レベルのグローバル・アクション・チームを監督すると共に、他の地区役員に対し、会員増強及び新クラブ結成を積極的に支援するよう働きかける。
- (3) 以下の分野における各地区目標の達成に焦点を当て、それに向けて取り組むための現行の地区行動計画を監督する。
 - a. 新クラブを結成する。
 - b. 会員純増を達成する。
 - c. 効果的なクラブ運営を徹底する。
 - d. クラブレベルと地区レベルでリーダー育成と技能開発を提供する。
 - e. 有意義な人道支援奉仕を実施し報告するよう各クラブに奨励する。
 - f. ライオンズクラブ国際財団を支援・推進し、ライオンズクラブ国際財団へのクラブと会員による寄付を奨励する。
- (4) 標準版地区付則に定められる通りに地区の運営管理を監督する。
- (5) 各クラブが、国際会則及び付則に従って運営し、会員維持率を向上するアクティビティを支援し、協会におけるグッドスタンディングを保つよう、指導する。
- (6) 地区大会、キャビネット会議及び地区のその他会議に出席した場合には、その議長を務める。
- (7) 国際理事会が要請するその他任務を遂行する。

さらに、国際付則第10条2項(b)の既存の文言を全文削除し、以下と差し替える。

第一副地区ガバナーは、地区ガバナーの指導監督のもとに、地区ガバナーの最高運営補佐役を務める。具体的な任務は次のとおりである。

- (1) 地区における会員増加につながるよう、本協会の目的を推進する。
- (2) 現行の地区行動計画の成功に向けて積極的に努力する。
- (3) 地区ガバナー及び第二副地区ガバナーとともに、地区の強みと弱みを確認した上で、地区目標の達成に焦点を当てそれに向けて取り組むための、進行中の地区計画をさらに調整・推敲する。

(4) 翌年度、地区目標を達成するための行動計画を策定・実施できるよう、極めて優れたチームを特定して備える。

(5) クラブ役員と密接に協力して未来の地区役員を特定する。

(6) 地区ガバナーによって、または国際理事会が定めた方針によって課される職務やその他の指示を遂行する。

(7) 地区ガバナーの要請に従って、適宜地区委員会を監督する。

(8) すべてのキャビネット会議に積極的に参加し、地区ガバナー不在の際には、すべての会議において議長を務める。

(9) 必要に応じてガバナー協議会会議に参加する。

(10) 地区予算作成に協力する。

さらに、国際付則第10条2項(c)の既存の文言を全文削除し、以下と差し替える。

第二副地区ガバナーは、地区ガバナーの指導監督のもとにある。具体的な任務は次のとおりである。

(1) 地区における会員増加につながるよう、本協会の目的を推進する。

(2) 現行の地区行動計画の成功に向けて積極的に努力する。

(3) 地区ガバナーの指示のもと、リジョン及びゾーン・チェアパーソンと地区との橋渡し役を務め、クラブの健康を支えるためリジョン／ゾーン運営を成功させられるよう努力する。

(4) クラブの発展をサポートする情報資料に精通する。

(5) 地区ガバナーの職に備える。

(6) 地区ガバナーによって、または国際理事会が定めた方針によって課される職務やその他の指示を遂行する。

(7) 地区ガバナーの要請に従って、適宜地区委員会を監督する。

(8) すべてのキャビネット会議に積極的に参加し、地区ガバナー及び第一副地区ガバナー不在の際には、すべての会議において議長を務める。

(9) 地区予算作成に協力する。

さらに、国際付則第10条2項(d)の既存の文言を全文削除し、以下と差し替える。

リジョン・チェアパーソン職が活用された場合には、地区ガバナーの指導監督のもとに、リジョンの最高運営責任者となる。具体的な任務は次のとおりである。

(1) 地区における会員増加につながるよう、本協会の目的を推進する。

(2) 現行の地区行動計画の成功に向けて積極的に努力し、クラブとゾーンの参加を促す。

(3) リジョン内のゾーン・チェアパーソンの活動並びに地区ガバナーより割り当てられる地区委員長長の活動を監督する。

- (4) クラブの強みと弱みを特定し、増強と、リーダーシップの向上と、有意義な奉仕を促すことで、クラブの健康を支える。
- (5) 地区の運営に精通し、次の役職に進むために必要なリーダーシップ技能を磨く。
- (6) 地区役員によって、または国際理事会が定めた方針によって要請される職務や指示を遂行する。

さらに、国際付則第10条2項(e)の既存の文言を全文削除し、以下と差し替える。

地区ガバナー及び（又は）リジョン・チェアパーソンの指導監督のもとに、ゾーンの最高運営責任者を務める。具体的な任務は次のとおりである。

- (1) 地区における会員増加につながるよう、本協会の目的を推進する。**
- (2) 現行の地区行動計画の成功に向けて積極的に努力し、クラブの参加を促す。**
- (3) ゾーン内における地区ガバナー諮問委員会委員長を務め、同委員長として同委員会の定例会議を招集する。**
- (4) クラブの強みと弱みを特定し、増強と、リーダーシップの向上と、有意義な奉仕を促すことで、クラブの健康を確かなものとする。**
- (5) 地区の運営に精通し、次の役職に進むために必要なリーダーシップ技能を磨く。
- (6) 地区役員マニュアル及びその他を通して国際理事会が要求するその他の任務を遂行する。

2023年8月 LCIF 国際理事会報告

LCIF 理事 鈴木 誓男

米国オークブルックで2023年8月に開催されたLCIF国際理事会について、以下の通り報告します。

1. 新たに承認された交付金（プログラム委員会）は69件、370万ドル。2件を保留、1件を却下。審議されたすべての交付金のリストは添付の通り。
2. スペシャルオリンピックス・インターナショナルとLCIFとの「ミッション・インクルージョン」パートナーシップの活動報告を受け、覚書に基づいて204万6千ドルの交付金（理事会指定交付金）を承認。
3. マッチング、小児がん、食糧支援の各交付金基準について見直しを検討。1月理事会で最終的な決定に向けて審議する。
4. 日本のライオンズと、LCIF、スペシャルオリンピックス日本との覚書に基づき、スペシャルオリンピックスの日本での活動を支援する10万ドルの交付金を承認。あわせて、2023年冬季ナショナルゲームに出場する選手たちやボランティアを支援するため申請された30万ドルの交付金を承認。
5. インドから申請された民族紛争により困難な状況にある住民支援のため1万5千ドルの緊急援助交付金を例外的に承認。今後、自然災害以外を理由とした災害下の支援に関しては基準を新たに設置すべきか議論を継続する。
6. LCIF：誇りに思うストーリー（Story of Pride）への投稿拡大を審議。（マーケティング）
7. 北米中心にスタートしたファンドレイジングイベント「テレソン（Telethon）」への少額の資金援助を行うことを承認し、このイベントの効果を明確にする必要があることと、企画委員会には開発委員会メンバーのLCIF理事が参加することを求めることとした。
8. 昨年度ファンドレイジング実績は誓約を含め6800万ドルであったことを確認。今年度は、戦略計画に基づく現金での寄付目標は5500万ドル、誓約を含めたストレッチ目標は7000万ドルとすることとした。
9. LCIF国際理事会として、今期から国際協会がスタートするミッション1.5を支援することを決議。

1. 以下の交付金申請を承認。

MAT21642/12 L	UNITED STATES	Lions Park Inclusive Playground	100,000
MAT22738/12 N	UNITED STATES	Equip East Tennessee Lions Eye Bank	100,000
MAT22792/18 I	UNITED STATES	Equip Georgia Lions Lighthouse Foundation	50,000
MAT22728/20 K2	UNITED STATES	Equip Long Island Lions Eye Bank	14,075
MAT22544/22 W	UNITED STATES	Upgrade Rehabilitation Center for Disabled Veterans	100,000
DIA22724/25 C	UNITED STATES	Upgrade Camp Until-a-Cure	150,000
MAT22737/26 M6	UNITED STATES	Upgrade Children's Cancer Unit at Mercy Hospital	37,750
MAT22752/37	UNITED STATES	Purchase Plus Optix Vision Screeners	25,300
MAT22691/44 H	UNITED STATES	Renovation of Lions Camp for the Disabled	15,000
DIA22720/5M 2	UNITED STATES	Enhancement of Camp Sweet Life Adventures	37,500
MAT22768/5M 7	UNITED STATES	Construct Clearwater-Clear Lake Food Shelf	100,000
HGR22711/5M 8	UNITED STATES	Renovate Staples Area Food Shelf	32,850
MAT22898/27	UNITED STATES	Lions Eye Bank Wisconsin Guatemala Project	23,710
MAT22749/32	UNITED STATES	Equip Storm Eye Institute with OCT Machine	79,122
MAT22772/A 4	CANADA	Purchase Mammography Machine	22,222
HGR22799/U 1	CANADA	Purchase Vehicle	78,758
MAT22865/U 2	CANADA	Outdoor Activity Center for Autistic Children	52,497
MAT23002/D 3	GUATEMALA	Equip Ophthalmology Clinic	57,281
MAT22750/LB 4	BRAZIL	Equipment for Oncology Hospital	31,101
MAT22683/LC 3	BRAZIL	Equip HFC Saude de Piracicaba Hospital	100,000
MAT22804/LD 7	BRAZIL	Construct New Hospital Wing	100,000
MAT22777/O	ARGENTINA	Expand KidSight Program in Argentina	95,720
MAT22747/103CS	FRANCE	Install Toilet Block and Furnishings for School	10,375
DIA22860/103SW	FRANCE	Improve Diabetic Care for Youth and Young Adults at Diabetic Center	40,585
MAT22221/104 E	NORWAY	Construct Housing for Teachers in Zambia	47,720
MAT22716/108AB	ITALY	Construct Maternity-Women's Healthcare Ward at Hospital in Benin	99,700
MAT22701/108IB2	ITALY	Purchase Vehicle to Transport Disabled	33,017
MAT22734/108IB4	ITALY	Renovate Guide Dog Obstacle Training Course	79,500

DIA22789/108-TA1	ITALY	Lions Mobile Diabetes Screening Program	95,652
MAT22742/108TB	ITALY	Purchase Vehicle for Disabled Day-Center	19,310
MAT22306/111WL	GERMANY	Renovate Schools for Blind & Hearing Impaired in Sri Lanka	28,321
HGR23004/114 M	AUSTRIA	Construct & Equip Student Feeding Program in Togo	50,000
MAT22774/118 E	TURKEY	Renovate & Equip Center for Orphan Girls	10,000
MAT22880/118 E	TURKEY	Purchase Equipment for Pediatric Ward in Istanbul	71,874
MAT21650/121	POLAND	Install Multi-Sensory Room	17,462
MAT22649/UND	REP OF SAN MARINO	Purchase Vehicle for Disabled Sports Organization	16,140
LQG22736/106	DENMARK	Expand Workshops to Teaching Colleges and Update Technology	98,250
MAT22609/300A 3	MD300A Taiwan	Purchase Firetruck for Volunteer Fire Brigade	100,000
MAT22759/300A 5	MD300A Taiwan	Provide ECG Machines for Tri-Service General Hospital	65,574
MAT22684/300B 2	MD300B Taiwan	Equip Assistive Technology Resources Center	100,000
MAT22760/300B 3	MD300B Taiwan	Purchase Blood Donation Vehicle	100,000
MAT22802/300B 5	MD300B Taiwan	Purchase Emergency Response Truck for Volunteer Rescue Squad	64,433
MAT22700/300B 6	MD300B Taiwan	Equip Miaoli County Toufen Volunteer Firefighting Association	100,000
MAT22729/300C 2	MD300C Taiwan	Donate an Ambulance to Lienchiang County Hospital	30,000
MAT22688/300E 1	MD300E Taiwan	Purchase Transport Vehicle for Yunlin Home Care Association	26,672
MAT22702/300E 1	MD300E Taiwan	Purchase Vehicle for Chiayi Liu Tsao Community Development Association	26,885
MAT22689/300E 2	MD300E Taiwan	Equip Volunteer Fire Brigade with Fire Truck	100,000
MAT22765/300E 3	MD300E Taiwan	Purchase Transport Vehicle for Down Syndrome Association	31,047
MAT22764/300E 3	MD300E Taiwan	Equip Disaster Prevention Association	13,500
MAT22761/308 A2	MALAYSIA	Expand and Equip Residential Facilities for Labuan Aged Care Center	50,119
MAT22704/310 B	THAILAND	Equip Langsuan Hospital	30,000
MAT22698/310 E	THAILAND	Provide Medical Equipment for Suppasithprasong Children's Hospital	53,438
LQG22687/334 B	JAPAN	Lions Quest	21,501

LQG22741/335 C	JAPAN	Lions Quest	23,000
MAT22679/337 D	JAPAN	Purchase Blood Transport Vehicle	12,500
MAT22717/354 B	REPUBLIC OF KOREA	Purchase Transport Vehicle for People with Developmental Disabilities	16,316
MAT22733/354 D	REPUBLIC OF KOREA	Renovate Kampong Speu Krasang Kphos Elementary School in Cambodia	79,000
MAT22731/355 A	REPUBLIC OF KOREA	Purchase Vision Assessment Equipment for ON Hospital	75,714
MAT22743/356 C	REPUBLIC OF KOREA	Renovate Residential Facilities for People with Disabilities	37,996
MAT22732/356 F	REPUBLIC OF KOREA	Purchase Transport Vehicle for People with Developmental Disabilities	16,210
DIA21602/325 L	NEPAL	Lions Diabetes Unit at Prathamik Health Center and Screening Activities	11,756
MAT22781/403 A1	REP OF GUINEA	Upgrade Labé LS Medical Center in Guinea	90,797
HGR22643/403 A3	BURKINA FASO	Etoile School Kitchen and Dining Hall	79,880
MAT22783/403 A4	REPUBLIC OF BENIN	Primary School Construction Benin	13,939
LQG22780/403 B1	REP OF CAMEROON	Lions Quest Expansion	50,000
HGR22429/404 B4	NIGERIA	Food Court Ilogbo Elegba School	64,734
MAT22751/411 A	KENYA AFRICA	Wema Water and Sanitation	51,500
MAT22693/414	TUNISIA	Audio Studio for Blind	23,530
MAT22812/404	NIGERIA	Upgrade Calabar Hospital Children's Cancer Ward	80,196

2. 以下の交付金申請を保留。

MAT22725/108IA2	ITALY	Equip Inclusive Playgrounds	44,000
MAT22989/300B 5	MD300B Taiwan	Purchase Emergency Response Van for Volunteer Rescue Squad	32,571

3. 以下の交付金申請は却下

MAT21700/306 C1	REP OF SRI LANKA	Lions Screening and Referral Center	100,000
-----------------	------------------	-------------------------------------	---------



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋1丁目2-4 八重洲ノリオビル5階

hone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 Email:japanlions@apost.plala.or.jp

日本ライオンズ発行<2023-24-総 M1>

2023-2024 一般社団法人 日本ライオンズ 第1回定時社員総会 (全国ガバナー会) 議事録

◎日時：2023年8月8日(火) 1:30~4:00 ◎場所：AP日本橋6F Gルーム会議室

出席者リスト

2023年8月8日12:00現在

2023-24年度正社員【地区ガバナー】

- 330-A 地区ガバナー 阿部かな子
- 330-B 地区ガバナー 石田真一
- 330-C 地区ガバナー 田中雄一 ※
- 331-A 地区ガバナー 設楽幸子
- 331-B 地区ガバナー 藤原回向 【欠席】◎
- 331-C 地区ガバナー 渡部義男 【欠席】◎
- 332-A 地区ガバナー 大矢進
- 332-B 地区ガバナー 高橋寛
- 332-C 地区ガバナー 渡邊俊弥
- 332-D 地区ガバナー 門馬弘
- 332-E 地区ガバナー 西村公夫
- 332-F 地区ガバナー 石垣勝康 【欠席】◎
- 333-A 地区ガバナー 鈴木壽男
- 333-B 地区ガバナー 後藤一男 【欠席】◎
- 333-C 地区ガバナー 北野淳子 【欠席】◎
- 333-D 地区ガバナー 福田勝巳 【欠席】◎
- 333-E 地区ガバナー 齊藤正行
- 334-A 地区ガバナー 木野村好己 【欠席】◎
- 334-B 地区ガバナー 川嶋富士雄 【欠席】◎
- 334-C 地区ガバナー 前田磨 【欠席】◎
- 334-D 地区ガバナー 小出進
- 334-E 地区ガバナー 喜多友一 【欠席】◎
- 335-A 地区ガバナー 山中健
- 335-B 地区ガバナー 西尾良典
- 335-C 地区ガバナー 山本忍
- 335-D 地区ガバナー 廣田晃一
- 336-A 地区ガバナー 山崎勝彦
- 336-B 地区ガバナー 藤井信英 【欠席】◎
- 336-C 地区ガバナー 三口巖
- 336-D 地区ガバナー 山崎もとみ
- 337-A 地区ガバナー 中村巧 【欠席】◎
- 337-B 地区ガバナー 下堂蘭一将 【欠席】◎

- 337-C 地区ガバナー 古賀義行 【欠席】◎
- 337-D 地区ガバナー 新里正雄 ※
- 337-E 地区ガバナー 伊藤竜彦 【欠席】◎

2022-23年度正社員【理事会理事】

- 一般財団法人日本ライオンズ理事長 不老安正
- 2022-23 一般社団法人日本ライオンズ理事長 村木秀之

【2023-24年度 協議会議長】

- MD330 議長 田中雄一
- MD331 議長 松浦淳一
- MD332 議長 栗村安弘
- MD333 議長 星野勝美
- MD334 議長 戸祭宏樹
- MD335 議長 中谷豊重
- MD336 議長 澤辰水
- MD337 議長 新里正雄

【2022-23年度 協議会議長】

- MD330 議長 吉本晴夫
- MD331 議長 須藤敏幸
- MD332 議長 田名部智之
- MD333 議長 松本宰史
- MD334 議長 増澤義治
- MD335 議長 吉村弘吉
- MD336 議長 池原堅
- MD337 議長 玉川孝

【2022-24年度監事】 2年任期の2年目

- MD330 元議長 今井文彦
- MD331 元議長 佐々木忠康 【欠席】◎
- MD334 元議長 橋本勝策
- MD336 元議長 岡村聖爾 【欠席】◎

◎議決権行使書

正社員総数 55名 (出席 38名・欠席 17名)

※DG、CC兼任



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋1丁目2-4 八重洲ノリオビル5階

hone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 Email:japanlions@apost.plala.or.jp

日本ライオンズ発行<2023-24-総 M1>

【正社員】 第1回全国ガバナー会出席者数 内訳：

	出席	欠席*	小計
D G	18	15	33
理事	18	0	18
監事	2	2	4
<hr/>			
	38	17	55 (名)

議決権行使書

第1号議案	2022-23 計算書類及び事業報告の承認 (監事監査報告)	賛 17	否 0
第2号議案	2023-24 事業計画案承認の件	賛 17	否 0
第3号議案	2023-24 収支予算案承認の件	賛 17	否 0
第4号議案	2023-24 新理事・新監事の選出の件	賛 17	否 0
第5号議案	2023-24 年度社員総会日程案の件	賛 17	否 0



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋1丁目2-4 八重洲ノリオビル5階

hone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 Email:japanlions@apost.plala.or.jp

日本ライオンズ発行<2023-24-総 M1>

オブザーバー

【2022-23年度 名誉理事長】

2015-2016 国際会長 山田 実 紘 【欠席】

【2022-23年度 国際理事 および LCIF 理事】

2022-24 国際理事 鶴 嶋 浩 二 【欠席】

2023-25 国際理事 濱 野 雅 司

2023-25 国際理事 城 阪 勝 喜

LCIF 理事 鈴 木 誓 男 【欠席】

【2022-23年度 参与】

2022-2023 年度 G A T 日本全域エリアリーダー/G S T 及び MD336/337 担当

識 名 安 信 【欠席】

2022-2023 年度 G A T 東日本副全域副リーダー/元国際理事

川 島 正 行 【欠席】

2022-2023 年度 G A T 西日本副全域副リーダー

松 岡 勲 【欠席】

2022-2023 年度 G A T エリアリーダー/F W T 及び MD330/331 担当

小 川 晶 子

【一般社団法人日本ライオンズ】

元理事長 2021-22 仁 科 良 三 【欠席】

【2021-22年度 協議会議長】

MD333 議長 山 川 洋

MD334 議長 山 本 基 博

MD337 議長 古 川 隆 【欠席】

MD332 議長 下 間 俊 悦 【欠席】

MD335 議長 三 宮 秀 介 【欠席】

MD336 議長 福 永 栄 一 【欠席】

【OSEAL 調整事務局】

OSEAL 調整事務局事務局長 マ ー ズ 佐 子 【欠席】

【顧問】

法律顧問 池 田 和 司

会計顧問 吉 田 宗 一 郎

以上



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋1丁目2-4 八重洲ノリオビル5階

hone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 Email:japanlions@apost.plala.or.jp

日本ライオンズ発行<2023-24-総M1>

社員総会に先立ち、スペシャルオリンピックス日本 平岡理事長より支援のお礼と活動報告。

司会：山本専務理事

出席者の確認：正社員数55名、本人出席38名、委任状または議決権行使書による出席17名、欠席0名定款17条 総正社員の過半数出席により開催成立。また定款18条により、決議は出席した総正社員の過半数をもって決することになる。

1.開会のことば 2022-2023年度一般社団法人日本ライオンズ 村木理事長

定款16条「社員総会の議長は理事長がこれにあたる」との規定により議長を務めさせていただく。

定款第23条により、「新年度の理事及び監事は、社員総会の決議において正社員のうちから選任される」とのことにより、それまでは村木が議長を務めさせていただく。

本日の臨時総会は第Ⅰ部 第1回社員総会・第Ⅱ部 新年度第1回理事会・第Ⅲ部 継続総会（報告事項）の三部構成とする。

来場者ご挨拶

国際役員のうち、本日まで参加の国際理事2名（城阪ID・濱野ID）よりご挨拶。

議事録署名人選出・議事録作成人選出

議事録署名人 331-A地区 設楽ガバナー 336-C地区 三口ガバナー

議事録作成人 331MD 松浦副理事長 334MD 戸祭常務理事

議案審議

第1号議案「2022-23 計算書類及び事業報告の承認」

22-23年度財務担当理事である鶴嶋国際理事が欠席のため、



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋1丁目2-4 八重洲ノリオビル5階

hone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 Email:japanlions@apost.plala.or.jp

日本ライオンズ発行<2023-24-総 M1>

23-24年度 須藤財務担当理事より説明。

村木理事長より7月18日、各MDから1名の監査員（旧年度）による監査を受けたのち7月21日に開催の旧年度理事会（HB）において承認されたことと、本日第1回社員総会においても決算承認を受けける件が説明され、事業報告と監事監査報告も第1号議案となっている兼が説明された。

もう1つの第1号議案である事業報告について山本専務理事より説明。

続いて今井監事より監事監査報告書に基づく説明があり、事業および会計について法令および定款に抵触する部分がない旨が報告された。

参加者よりSON・アラート関係の残金の扱いをはじめ、数か所内容について質問があり、執行部より回答。

・SON残金について

どこから発生したお金か、SONは事業として定款4条のうちどこへ該当するか

→2022年札幌大会が中止になったため、広島大会へ残金を繰り越したが、広島大会でも約600万の残金が発生した。次回開催の札幌・長野大会への支援に充てる。SONについては社団の事業ではなく、社団がSONの事業へ協力している。

・アラート委員会特別会計について なぜ特別会計と記載されているのか

→2021年に発生した台風19号への皆様からの義援金の残金であり、その後グアムと福島への支援にも使用した。グアムへの支援については会計監査後に不明瞭な部分が発覚したため、残金の使用については凍結していた。現在はアラート委員会として義援金を集めたりすることはない。

特別会計として記載している理由について、会計顧問より補足説明があり、細かい明細がついていないため一緒にしてしまうとわからなくなってしまうため別に記載をしている。

→アラート関係のお金は目的に則って使ってほしいとのこと意見。

・第105回ポストン大会 日本ライオンズ代議員会のバスチャーター費用について他の項目よりざっくりとしているのはなぜか

→日本円で旅行会社より見積もり請求があったため、このような金額になっている。

審議後、採決へ移る



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋1丁目2-4 八重洲ノリオビル5階

hone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 Email:japanlions@apost.plala.or.jp

日本ライオンズ発行<2023-24-総 M1>

→満場一致により承認可決

ロ. 第2号議案「2023-24 事業計画案承認の件」

山本専務理事より各種委員会と、開催予定数の確認。

PR マーケティング、法人関係会議（執行理事会・理事会・総会・監査）についても開催計画案が提示された。

→賛成多数により承認可決

ハ. 第3号議案「2023-24 収支予算案承認」

須藤次期財務担当理事より説明。

賛助会費について、MD330 の第 69 回年次大会の決議を受け、同 MD 会員数 1 万名分をマイナスした件やライオン誌発行回数変更に伴う件など、主な変更箇所について説明があった。

→賛成多数により承認可決

ニ. 第4号議案「新理事の選出の件」

山本専務理事より説明

新理事・新監事候補者名簿案について、5月10日に開催された臨時社員総会において、地区ガバナーの皆様からのご提案を受けたのち承認された理事会構成案に基づき、6月14日に開催された前年度第4回社員総会においても、既に新理事候補者の氏名がリスト及び口頭にて発表確認がされている。

本日の第1回社員総会において、正式に新社員の皆様の承認をいただくことになる。

なお、監事は2年任期の2年目、前年度に引き続き4名の元協議会議長が候補者となっている。

→賛成多数により承認可決



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋1丁目2-4 八重洲ノリオビル5階

hone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 Email:japanlions@apost.plala.or.jp

日本ライオンズ発行<2023-24-総 M1>

ホ. 第5号議案「2023-24年度社員総会日程案の件」について山本専務理事より説明

→賛成多数により承認可決

挨拶：村木理事長

すべての議案の終了後、2022-23年度理事として、当社団の運営に関与いただいた皆さまには定款の定めによる任期が満了した報告と、社団運営への協力に感謝の言葉が述べられた。

第Ⅱ部 新理事会構成員による新年度臨時理事会 15：00より

司会進行：新専務理事予定者 増澤義治

15：30より総会が再開。

第Ⅲ部 各種報告事項

以下より田名部新理事長が議長となり、増澤新専務理事が進行。

イ. 新執行理事会構成の報告

田名部新理事長のご挨拶のあと、新執行部および構成が発表された。

ロ. 各種報告事項

一般財団法人日本ライオンズ 不老理事長より、

一般財団法人日本ライオンズ活動報告と、公益化へ向けての手続きの状況が報告された。

田名部新理事長の挨拶により、第1回定時社員総会を閉会。

16：00 閉会



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋1丁目2-4 八重洲ノリオビル5階

hone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 Email:japanlions@apost.plala.or.jp

日本ライオンズ発行<2023-24-総 M1>

議事録作成日：2023年8月8日

議事録作成人

副理事長 松浦 淳一

常務理事 戸祭 宏樹

議事録署名人

一般社団法人日本ライオンズ 理事長

田名部 智之【押印省略】

331-A 地区ガバナー 設楽 幸子【押印省略】

336-C 地区ガバナー 三口 巖 【押印省略】



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋1丁目2-4 八重洲ノリオビル5階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

日本ライオンズ発行<2023-24-IDC 資-M1>

(2023-2024 年度)

第1回国際理事候補者 資格審査委員会【ハイブリッド】

2023年8月9日(水) 13:30-16:00

会場:日本ライオンズ事務所(東京都京橋)+ZOOM

10.23 訂正版

司会:専務理事 増澤 義治

出席者:

一般社団法人日本ライオンズ

理事長	田名部 智之	(八戸 LC)
委員長	松本 宰史	(南房総 LC) 【WEB】
副委員長	栗村 安弘	(大船渡 LC) 【欠席】

各複合地区委員

MD330 委員	石原 英司	(上野原 LC) 【WEB】
MD331 委員	諏訪 昇三	(札幌時計台 LC) 【WEB】
MD332 委員	下間 俊悦	(男鹿 LC) 【WEB】
MD333 委員	藤原 宏高	(船橋中央 LC) 【WEB】
MD334 委員	藤井 大川	(名古屋サウス LC)
MD335 委員	一盛 広樹	(舞鶴 LC) 【WEB】
MD336 委員	酒井 公一	(高知りょうま LC) 【WEB】
MD337 委員	吉見 章一	(宮崎ひむか LC) 【WEB】

一般社団法人日本ライオンズ

専務理事/日本ライオンズ事務局長	増澤 義治	(諏訪湖 LC)
前理事長	村木 秀之	(東京数寄屋橋 LC)
法律顧問	池田 和司	(東京桜門 LC) 【欠席】

1. 開会宣言 招集権者 一般社団法人日本ライオンズ理事長 田名部 智之
昨日、村木前理事長から理事長を引き継ぎました。日本のライオンズがスムーズに運営しますよう協力依頼。
2. 委員長・副委員長あいさつ
当委員会が問題なくスムーズに進んでいくことを望む。
3. 出席者紹介 別紙参照
4. 議事録作成人の指名 MD331L 諏訪 MD334L 藤井
5. 確認事項について 松本委員長が進める



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋1丁目2-4 八重洲ノリオビル5階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

日本ライオンズ発行<2023-24-IDC 資-M1>

- ① 推薦委員会から資格審査委員会への名称変更について
前年度より名称が変更されている。推薦・手続き関係をお願いしたい。
- ② 国際理事候補者推薦手続規則の確認
60版ライオンズ必携に記載されている各項目を本日審査する。
- ③ 2024-2026 年度国際理事選出の確認
■国際理事立候補の資格
オセアルのガイドラインもガイドラインにそって審査する。

6. 資格審査

- ① 提出された推薦要望書について
MD334 L仁科良三より7月25日推薦要望書が提出された。7月31日までに提出された方は1名のみ。
 - ・L下間委員 質問、第1回の本委員会を開催して公募を募るべきではないか?
 - ・委員長回答 日本の枠がどれだけあるかわからないが手続き上の資格を持っている人で出された方を審査して推薦する。
 - ・専務理事 14条の規約通りに進めていく。
 - ② 推薦要望書の内容確認と資格審査
ライオンズ必携第60版第2章 168-169 ページより抜粋
国際理事候補者推薦選挙手続規則
第2章 国際理事候補者推薦選挙管理委員会 第14条2項より
(2) 推薦要望書には、次の書類を添付するものとする。
 - (a) 候補者の氏名、履歴、所信を記載した書面
 - (b) 所属する準地区および複合地区年次大会での推薦決議が記載された議事録の写し。
 - (c) クラブ会長、地区ガバナー、複合地区ガバナー協議会議長の推薦書
- ・オセアルのガイドラインに基づく審査
各推薦書等を確認 L仁科良三の資格審査の承認を挙手にて承認した。

7. 上記に伴う事務処理について

7月31日までに推薦要望書を出された方が1名、8月10日までに委員会を開催した。
日本ライオンズの推薦候補者に決定した。

8. 閉会宣言

日本ライオンズとして推薦をしていくプロセスとしてのルール・ガイドラインの足りないところや各複合との名称等に差異の調整各項目を会則委員会で検討する。審査項目のチェックシートとかガイドラインに書かれているものの提出書類も統一化され審査がしやすくなる。資格審査委員会・会則委員会と連動してルールを作って頂くことを願っております。

議事録作成人 MD331 委員 諏訪昇三・MD334 委員 藤井大川



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋1丁目2-4 八重洲ノリオビル5階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

日本ライオンズ発行<2023-24-C-M1>

2023-24年度 一般社団法人日本ライオンズ

第1国際大会委委員会会議事録

作成人 337国際大会関係 委員 曾山 純廣

開催日 2023年8月17日

◎出席者：

一般社団法人日本ライオンズ

理事長 田名部智之（八戸 LC）

副理事長 池原堅（福山久松 LC）

副理事長/国際大会委員会副委員長/MD331 協議会議長

松浦淳一（岩見沢はまなす LC）【欠席】

専務理事 増澤義治（諏訪湖 LC）

国際大会委員会

委員長吉村弘吉（和歌山 LC）

各複合地区協議会議長

MD330 田中雄一（狭山 LC）

MD332 栗村安弘（大船渡 LC）【欠席】

MD333 星野勝美（太田 LC）【欠席】

MD334 戸祭宏樹（鯖江玉山 LC）

MD335 中谷豊重（岸和田 LC）

MD336 澤辰水（下関 LC）

MD337 新里正雄（沖縄 LC）【欠席】

各複合地区国際大会委員

MD330 委員長 伊賀則夫（東京葵 LC）

MD331 委員長 本所光男（室蘭東 LC）

MD332 委員長 村上孝（水沢中央 LC）

MD333 委員長 岡野良男（土浦環 LC）

MD334 委員長 大山恭範（一宮 LC）

MD335 委員長 江草長史（和田山 LC）

MD336 委員長 徳永修（尾道 LC）

MD337 委員長 曾山純廣（霧島みらい LC）

2022-24 国際理事/LCI 大会委員会

鶴嶋浩二（札幌中島 LC）



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋1丁目2-4 八重洲ノリオビル5階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

日本ライオンズ発行<2023-24-C-M1>

増澤専務理事 開会宣言

田名部理事長 挨拶

第1回 国際大会委員会会議 お集まりありがとうございます。

国際理事は、今期より理事会構成員ではなく、オブザーバーとなり早速弊害が生じている。国際大会委員会では、本部での現状についてお知らせいただく等、国際理事の力がないと物事がすすまない。8/23には OSEAL フォーラム PR のため6名が来日される予定。

本部から情報がきていけばもう少しスムーズに進むこともある。各複合地区の皆さんには急遽バタバタと委員会を開くこととなったことをお詫びいたします。皆様のお力を借りて、マニラフォーラム、メルボルン大会へメンバーが問題なく参加できるよう進めたいと思います。

吉村大会委員長

本日はカメラ不具合のため、増澤専務に進行をお願いしたい。

鶴嶋国際理事、各大会委員についてはお忙しい中ご参加ありがとうございます。

マニラフォーラム、メルボルン国際大会に多くのメンバーが出られるよう進めたい。

鶴嶋国際理事

本日もお願い、ご連絡があります。なお、途中退席します。

マニラフォーラム委員長マイケルソーPID が23日にお見えになる。

本日の委員会の中で数点の議案があります。

来年6月のメルボルン大会について、(国際大会委員長の) フランクムーア3世に対して日本からの要望を出している。

デポジット等では登録がしにくく、日本の慣例を躊躇し、公認ツアー会社による方法を進めたいとお願いをしており、コーディネーターを通しての登録について許可をいただいている。

公認ツアー会社を決めて頂きホテルを日本として取りたい。日本からの登録者の多さにも関わらず日本食が用意されていない等の要望を本部へ出したい。

日本ホテルの決定後、私でコンベンションセンターへのシャトルバスの運行を取り決めたい。

公認ツアー会社にI種II種III種と種類があり、バス手配、発券等できることに違いがある。

全国で公認ツアー会社を決定いただき、その上で会議を開催したい。

過去の大会では参加者のバスの駐停車禁止のところに日本のツアー会社が止めているとい



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋1丁目2-4 八重洲ノリオビル5階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

日本ライオンズ発行<2023-24-C-M1>

うクレームがあった。前回のボストン大会では参加者がホテルでトラブルを起こすなどの事態もあり現在大問題になっている。

出席確認：参加者名簿参照。

議事録作成人の指名：333、337 に依頼。333 は入院のため辞退、332 と 337 に依頼。

吉村大会委員長

●国際大会の任務、実務：国際理事会方針書により、国際大会、オセアルアジアフォーラムの意義を強調し多くの会員の積極的参加を促す、多くのメンバーが大会アフォーラムへ参加し、セミナーに参加し国際的視野を広げる機会を促進し参加を奨励する。日本ライオンズのレベルアップ、奨励のための方法を考える、フォローをしていく。

●実務についての説明と、MD 単位で行うということを確認する。

まず最初の任務として早急に公認ツアーガイドを決定し、スムーズに国際大会に参加できる筋道をつけるのが重要。

鶴嶋国際理事

●ロジスティック（物流、パレット用品等）費用がかかるので社団でサポートしてほしい。候補者ではなく日本ライオンズとして負担してほしい。

●前回の朝食会の内容：ほかの国ではレセプションを開催している。他の国の国際理事候補者をお呼びしてお話を聞く機会がいつしか日本だけがなくなっている。

ジャパンレセプションを開催し、各国の国際理事候補者、第3副会長会長候補者、第1、第2副会長をお呼びして、方針を聞く機会を復活してほしい。

●メルボルン大会について、前年度にロータリーの大会をやっているが予定の人数が来なかったために、コンベンションセンターの一部を貸し出さないと言い出した。約束した人数は参加してもらわないと、いろいろと弊害が出る。

吉村大会委員長：

●公認ツアー規定について、規約（A 資料）参照。複合地区の委員長は、知っているか確認。

MD332 村上委員：

●資格については1～4のいずれに当てはまればいいのか

鶴嶋国際理事：

●1つでよい



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋1丁目2-4 八重洲ノリオビル5階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

日本ライオンズ発行<2023-24-C-M1>

増澤専務理事：

各複合のなかで公認業者を決めて旅行している。安く行けるところはいろいろあるが、問題点も多いため公認業者を使うよう国際協会から通達がきている。バスや添乗員を入れなければ安くなるが（その部分の負担が）公認業者に乗っかっている場合もある。できれば公認業者を使用してほしい。

吉村大会委員長：

●次の大会まで1年の猶予がある。各MDにおかれましても現在の公認のツアー会社でいいのかどうか、再度MD単位で担当するツアー会社を選定する必要がある。

進めて頂いて、できるだけ早い機会に、公認会社との会議をいつ行うかについて国際大会委員会で段取りをきめておきたい。

MD 3 3 6 徳永委員：

●336でも問題になっているが、2～3人のツアーでも飛行機やホテルを自分で手配したほうがはるかに安く済む。MDの夕べや開会閉会式等、大会のポイントだけを外さない方ように自分で行く方が多い。公認業者を通じて参加する方が最低数いれば、あとは勝手に行ってもいいのか、方針について指示をしてほしい。

現在近畿ツーリストでJTBにも話をしているが進まない。

鶴嶋国際理事：

●来期メルボルン大会について

今回からは国際協会が国ごとに指定するホテルがない。8複合地区、ツアーコーディネーター同士で話して、日本として一つのホテルに決めようと思っている。全員同じところへ宿泊し、鶴嶋国際理事よりシャトルバスの要請をする。早めにするだけホテルの値段も安くできる。例えば500室を早めに押さえればやすくなる。近くなって数室だと高くなる。

大手に任せて、買って頂く仕組みを作ってはどうかと公認ツアーコーディネーターとの会議を通じて提案したい。シャトルバス等用意のため参加者が何人になるか現地と協議をするが、公認ツアー会社を通さないとカウントされていない。なお公認ツアーコーディネーターを使った場合の旅行代金を協会がはねているなどはない。

ガバナー主催会議を行い、ホテル、うまく割り振ったりすれば料金は安くなる。

9月13日からフランクムーア3世（本部大会員長）がメルボルンを視察。早めに日本で一つのホテルをとるとか決めて頂ければ10月と3月の国際理事会で、日本ホテルや大会のバスはこうしてくれとお願いできる。今回に限ってはそうしないと皆さんの足がない。

北海道のJTBや近畿ツーリストは、330、335のJTBア近畿ツーリストと組まない。

濟州フォーラムではトラブルもあった。行けないことなどが無いよう、公認業者は国際委員会の方でしっかりと決め頂きたい。私の方からは以上です。

増澤専務理事：他に御座いますか。徳永ライオン、いかがですか。どちらにしても委員会の



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋1丁目2-4 八重洲ノリオビル5階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

日本ライオンズ発行<2023-24-C-M1>

方でいちど揉んでみないと、となる。

MD 3 3 6 徳永委員：

- メルボルンはさておき、問題はマニラ。そこをどうするのか。

鶴嶋国際理事：マニラは国際協会が関係ないアジア地域のフォーラムなので、どのようにしても問題ない。アジアフォーラムは個人単位で行ってほしい。LCIが絡む国際大会はホテルを統一したい。23日にマイケルPIDが来日するので会議をしてもらおう。マニラフォーラムの本部ホテルは隣の町のホテルである。早めにとれるところはとってもらい、向こうに任せるところは任せるなど決めてもらえばよい。

増澤専務理事：

- 他にありますか。国際大会とオセアル大会とはすみ分けて進めていく。オセアルについて、日程がタイトですので留意して進めてもらえればと思います。3番目の議案につきましてよろしいですか。それでは4番目の議案であるオセアルフォーラムについて委員長の方からお願いします。

吉村大会委員長：

- 皆さんが一番関心のあるのがマニラのフォーラムだと思いますが、MD単位でツアーを組んだりいろいろと方法があるかと思いますが、ジャパンナイトを社団としてやるというふうな方向を決めておきたい。国際会長を含め、いろいろな方にジャパンナイトを開催しお話しいただき、国際理事候補者となる方のご紹介をしてもらおう。オセアルフォーラムでジャパンナイトを開催することをご審議いただきたい。早く決めておかないと会場等、前に事が進まない。フォーラムでは、国際会長晩餐会があると思います。鶴嶋国際理事いかがでしょうか。

鶴嶋国際理事

間違いなくあります。割り当ての枚数がもうすぐ出てきます。各複合より前年割くらいはご出席をお願いするかと思います。

吉村大会委員長：

- それを前提に御参加を各複合へお願いするのが喫緊の課題である。ある程度人数等の把握はできるが、国際会長晩餐会の割り当てを含め準備をしておく必要がある。1800人がマニラへ参加してほしいとの要請もあるが未確認である。そこで複合地区からの参加人数を含めて教えていただきたい。その上で参加者数の割り当てをしていき



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋1丁目2-4 八重洲ノリオビル5階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

日本ライオンズ発行<2023-24-C-M1>

たい。

増澤専務理事：

レジュメの一番はじめ、8月31日までが130米ドルということになっています。昨年のように、早期登録を9月末までに延ばしてもらえないかも23日の課題になる。MD別予想登録数は、23日にお約束しなければならないので、どのくらいが出せるのかをこの場でお聞きし、トータルが1800人に近づければと思います。

田名部理事長：

Cの資料参照。過去にマニラで開催されたアジアフォーラムの参加者数の資料です。第36回(1997)2983名、第43回(2004)1894名、第50回(2011)2307名。過去の実績から1800人を実行委員会からお願いされている。あくまで登録者数なので、マニラに行けなくても8複合÷35地区、各複合となると一地区あたりの目安がわかるのではないかと。1(800÷8)1複合あたり225名、35地区で割ると51名ほどとなる。あくまで目安の数字。ガバナー+3役と各一名ずつであれば数字は超すと思います。去年はいきなり呼ばれて登録人数を約束させられた、ということがありましたので、1週間前に皆さんに数字を見ていただいて、この数字をたたき台にし、来週に向けて数字を組み立てていただければというお願いです。

増澤専務理事：

●ガバナーの皆様と検討いただき、1週間前ですが、目標に到達できるよう数字を出して頂ければと思います。1800人が全員マニラに行けるとは思えないが、近づけるように数字を出してほしいです。マイケルPIDが来た際にその話をするが、各複合が何人だせるか合計を提示したいのでよろしくお願いします。

●参加予定数、記載いただいたものを21日までに送っていただいて表を完成させたい。23日の出欠についても教えていただきたい。

●続きまして、フォーラムの日程につきましては、Bの三枚目四枚目がオセアルの日程となっております。この中は、開会式は11/3、閉会式が11/5、国際会長晩餐会が11/4となっております。この後に食事会やパーティ、ジャパンナイトが入ってくる。この中で予定を組んでいただければと思います。予定については詳細が分かり次第複合議長ア委員長へお伝えします。

●続きまして、晩餐会について、11/4の午後7時、ホテルで登録料100ドル、登録を早期にさせていただいて、チケットの枚数の割り当てが何枚といくらいのがあるんですね、

鶴嶋国際理事：



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋1丁目2-4 八重洲ノリオビル5階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

日本ライオンズ発行<2023-24-C-M1>

●前年並みということで、各複合 30 枚から 50 枚の間だったと思うのですが、受付をする人が必要とかあります。大会委員長は現場に集まらないといけない。その組み立てが必要、社団の事務局だけでは間に合わないので、大会員長が来られない場合には代理の方等人員の手配をお願いします。席割りを社団から実行委員会へ押し込むので、人数を早めに出してほしい。

増澤専務理事：

●各複合 30 名から 50 名という話が出ましたのでそのくらいで話をつけてもらえばと思います。社団で集計をとりますので、各複合へ書類を発信します。

ジャパンナイトの開催についてご意見をお願いします。日程的には押えていない。

他と被らないように日程、時間を調整しなくてはいけないのでお気持ちを伺いたいがいかでしょうか。

国際理事としては開催のほうがよろしいとお考えでしょうか、いかがでしょうか。

鶴嶋国際理事：

●ジャパンナイトについては協議が必要であるが、例年はオセアルフォーラムについては国際理事候補で全額賄っており、非常に高額な費用がかかっているのにジャパンナイトという名前になっている。現職ガバナーが参加するものであるから会長や第一副会長をお呼びして話をする場所としては必要であると思います。

会費制で開いてもいいのではないかと思っている。

増澤専務理事：

●各複合委員長はいかがですか

MD 戸祭氏：

●複合の晩餐会や国際会長晩餐会を考えると、3泊4日の日程に入れるときついのでは。

増澤専務理事：

●時間調整して、時間をずらすしかない。枠がいくつか用意されており、

昼間の食事会か、開会式のあとに入れ込むのか。ホテルの中でとれる枠が3日に一枠、4日に二枠くらいしかない。枠だけ抑えていて、費用等やり方は後から検討する余地はある。いくつも開催すると、行くのに迷ってしまう可能性もあるのでそこも検討してほしい。

鶴嶋国際理事：

●国際理事候補者が必ず行わなければならない儀式のうちの一つ。



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋1丁目2-4 八重洲ノリオビル5階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

日本ライオンズ発行<2023-24-C-M1>

ジャパンレセプションと、候補者としての儀式を混ぜてしまわなければならないと思っている。次の候補者のことを考えるとやっておいたほうがいい。やらないとなると、国際理事候補者がOSEALのエンドースとることが難しくなる。

増澤専務理事：

●昨日行われた資格審査委員会でお一人候補者として承認を受けている。資格審査会で承認を受けた方がレセプションを行うことになった場合に、そこへジャパンレセプションを乗せてきた。委員長、本日やるかやらないか決めたほうがいいですか。

吉村大会委員長：

●決めておいたほうがいい。タイミングだが、コーカス会議の後にやるか、前にやるか。

鶴嶋国際理事：

●後だと思います。

吉村大会委員長：

●というのは、コーカス会議は11/2 20時-21時になり、そのあとの夜中のレセプションでよいのか。3日では遅すぎると思う。

増澤専務理事：

●レセプションというのは、スケジュールのなかにすでに枠があり、3日に二枠、4日に一枠と決定している。どちらかでやると決まっているので、そこに日本としてのレセプションを乗つけるか乗つけないかという判断になる

鶴嶋国際理事：

●前回もレセプションの直後に晩餐会というスケジュールだった。時間としては1時間で、400万というのはどうなのかというのもあるが、この枠の中でやるしかない。

増澤専務理事：

●3つの枠でやると考えた場合、ジャパンレセプションを国際理事候補者レセプションと一緒にやる判断をしてもらってよいですか、採決を取りたいとおもいます。その前にご意見を伺いたい。

MD333岡野委員長：



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋1丁目2-4 八重洲ノリオビル5階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

日本ライオンズ発行<2023-24-C-M1>

●3日の国際理事候補1レセプションあたりで行うということによろしいでしょうか。

専務理事：

●一応、4日にも枠があります。まずはやるかやらないかについて決を採りたい。

MD333岡野委員長：

●こちらの複合の都合ですが、333複合の議長を囲む会を3日にやろうという思いがある。例えばそれが18:30までに終われば19:00から行うことも可能です。そうなればレセプションとジャパンナイトも同時に開催できるが、時間がずれてしまうと複合地区議長の晩餐会が厳しくなる。

増澤専務理事：

●取られている時間は18:30で終了なので、なるべく早い時間で枠を押さえたいと考えております。

MD330 田中議長：

●遅参して失礼しました。3日ですが、330Cでガバナー晩餐会がありましてちょうど重なる。18時前に終われば問題ないが、参加できない可能性があるのご理解いただきたい。

増澤専務理事：3泊4日、時間が限られている。各複合ア各地区で判断してもらえればと思っている。理事長としてもそのような理解でよいか。

田名部理事長：

●準備段階で折衷案ということですが、すり合わせしながら目的を達成できる形で日程調整できればと思っております。

専務理事：時間調整ができる場合はお願いしたい。

鶴嶋国際理事：個人的意見ですが、ジャパンレセプションは何のためにやるのか。候補者のお披露目をしてオセアルのOECのエンドースを取るために行く。地区とどちらが先とかそういうのは違うと思う。候補者が出ない前提でお話をしているのか、出ても地区の行事があるので行かない、という会話か。次の日本の代表をする国際理事を決める会議を日本として初めてやる。日本代表を決めるということ。どちらを優先するかはフォーラムについて勉強してほしい。ここで退席しますが、公認ツアー会社の選定をしていただいて、8MDがそろって準備をして頂きたい。

国際理事がオブザーバーだからといって情報を出さないことはないので、できる限り参加し



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋1丁目2-4 八重洲ノリオビル5階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

日本ライオンズ発行<2023-24-C-M1>

て話をしたいと思います。ハワイマウイの災害についても LCIF より資金の話が出ている。社団に話が来るかもしれない。即時にご連絡をしたいと思います。

MD330 田中議長：

●ジャパンレセプションというのは、次期国際候補者を決議する場ですか？ちょっと違うのでは。今回はすでに出る方の名前を聞いている。その後から他の方が出る場合もあるのでは？あのように言われると、他の方が不利になるのではないか。また、日本ライオンズの理事としての立場をないがしろにしているわけではないが私の現在の立場も、自分の地区、複合地区あってのものなのでそちらを優先させていただきます。自分の地区をないがしろにしては、複合地区も日本もよくなるらない。

増澤専務理事：

●ジャパンレセプションはオセアルの会員に、国際理事候補者をお披露目する場所。後から立候補する方については基本的に7月末までに推薦要望書を提出し、立候補していなければ手続き上資格はないので、枠が増えない限りは OSEAL フォーラムで手を挙げて翌年の候補となります。

田名部理事長：

●地区、複合、日本でどこの意見を通すかという場ではなく、お願いベースで調整が効く段階だと考えております。それぞれの地区の事情があるかと思しますので、そのことをテーブルに出して調整の場として使用して頂きたい。全員がうまくいくことはできないかもしれないが、できる限り100点に近い形になるようにお力を発揮してもらえればと思う。

MD334 戸祭議長：

●国際理事候補者がレセプションをやるなら、ここでやるよって決めてもらえればと思います。

増澤専務理事：

●あえて言いませんでしたが、3日にやりたいという打診を受けています。この会議の後も再確認しますが、時間を確保します。まずは、国際理事候補者が行うレセプションをジャパンレセプションとして一緒に行うこととして採決を取りたい。

●賛成の方挙手をお願いします



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋1丁目2-4 八重洲ノリオビル5階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

日本ライオンズ発行<2023-24-C-M1>

参加者過半数：

- 挙手

増澤専務理事：

- 賛成多数では実施するという事で進めさせていただきます。続きまして5番目のメルボルン大会について委員長お願いします。

吉村大会委員長：

- メルボルン大会は来年の6月開催ですが、今から準備できるということは早い段階で動けると思っています。ただ、これに関してはさきほどありましたように、8複合の各旅行会社を決めてそのうえで、日本のホテルを決めるという今までにない段取りが入ります。そうすることで各MDが独自にやっていたバスの経費などを大幅に下げるメリットもある。ホテルの予約については、日本のホテルを予約したうえで申し込みをやっていただく。早急に各委員長、議長の皆様においては、MD単位での公認の業者を決めていただきたい。後のスケジュールについては順次決める。どれだけの人数が行っていただけるかは現時点では把握できないので、参加しやすい状況を作るという意味でもよろしくをお願いします。

増澤専務理事：

- 複合の公認旅行会社が決まっている、あるいは決まりそうなところはありますか。334、335は決定している、他はどうですか。早急に決定することが可能でしょうか。どこかで協議する場はあります。

MD336 澤議長：

- 335はどこを公認にしていますか。

増澤専務理事：

- 334、335はJTBです。337は未定です。

MD336 澤議長：

- 近畿日本ツーリストに対して不満が出ている、値段が高すぎる。JTBなら話やすいかと思った。ありがとうございます。

MD334 大山委員長：

- JTBでもそんなに安くないが話し合っただけで安くなる可能性はあります。



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋1丁目2-4 八重洲ノリオビル5階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

日本ライオンズ発行<2023-24-C-M1>

増澤専務理事：決定後ホテルやバス等いろいろなことを決めていくことになる。もし決まっていな複合地区は、早急に決めて頂けると助かります。

MD332 村上委員長：

コーディネーターになる要件について再確認したいです。1～4を一つでも該当すればよい、ということは、①～③のうち一つに該当して④にある通り、複合地区議長が認めたということですね。8地区業者をまとめてホテルを貸切るとコスト削減、利便性がよいとあるが、日本としてホテルを貸切る、という方向性が鶴嶋理事のおっしゃったように確定ということでは複合で話をしてよいですか、それとも私たちがこの場で決定することでしょうか。

増澤専務理事：国際協会ではホテルを抑えないのは事実。旅行会社にその話は行っているようなのでお話しされればわかるかと思えます。ホテルについては共通でとったほうがよいという見解です。ほかの地区はいかがですか

MD331 本所委員長

●過去のツアコンは、JTBでしたが、安い業者がいい、ということでいろいろと入り乱れている。今度の会議までに決めてご報告いたします。こちらで中座いたします。ありがとうございました。

MD333 岡野委員長：

●333 岡野です。公認ツアーコーディネーターはいつまでに決めるのが望ましいですか。

吉村委員長：

●鶴嶋国際理事が話していたように9月13日にLCIで委員会があるそうなので、その前後までに8複合の公認ツアー会社と国際委員長が日本の方向性について話をしてもらいたいので、できれば9月10日まではお願いしたいと思っています。本日は8月17日ですので、1か月弱あります。いかがでしょうか。

MD333 岡野委員：

●333としては頑張るしかない。

MD330 田中議長：

●複合の公認ということですが330はそれぞれの地区でツアーを組んでおり、複合ではここ数年ツアーを組んでいない。複合としての公認が必要であればそれぞれの地区の旅行



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋1丁目2-4 八重洲ノリオビル5階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

日本ライオンズ発行<2023-24-C-M1>

会社に対して公認するということになるのでしょうか。

増澤専務理事：

●地区で公認された方が会議に参加すればいい。(田中議長からガバナーが公認するのかと質問を受けて)ガバナーが公認すればよいと思います。

MD330 田中議長：

●その場合、ホテルの情報を旅行会社はどう仕入れたらよいですか。大手だと横のつながりがあると思うが中小、個人のような業者もあるかもしれない。

増澤専務理事：一種の資格を持つ旅行会社でないとホテルが確保できないと思う。そうすると公認集まった場合、資格がない場合は一種の資格を持つ業者からホテルの部屋を買う形になると思われる。各地区で公認になったところは小さい会社も含めてすべて委員会に出させていただいて、JTBや近畿ツーリストから部屋数を頂くことになると思う。2種、3種では部屋の確保ができないので、公認業者が集まった会議の中で共有してもらう。

MD330 田中議長：

●今後はそのような方をオブザーバーと呼ぶということですね。

増澤専務理事：

●はい、そこで情報共有するという事です。ほかにありますか。

各複合で決まっていなところは、9月10日をめどに段取りをお願い致します。地区やキャビネット会議へは事後報告という形になるかと思いますが、メールやFAX等で承認をいただき、指定業者を一社へ報告していただければと思います。

続きまして、MDの参加取り組み状況について。資料参照の登録です。メルボルンの大会の早期登録は1/12までになります。1/13から6/15までは通常登録、その後は現地登録となり、金額があがるのでなるべく早く登録していただけるよう案内をお願い致します。

以上でメルボルン大会の話を終わりますが質問等がございますか

MD334 大山委員長：

●国際大会の登録はグループ登録できないのですが、リクエストしたいのですがそれは可能でしょうか。とりあえずオセアルフォーラムについてです。

増澤専務理事：

●明日確認いたします。わかり次第フィードバックします。



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋1丁目2-4 八重洲ノリオビル5階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

日本ライオンズ発行<2023-24-C-M1>

MD330 田中議長：

●オセアルで国際理事候補者がジャパンレセプションをするのは賛成。

地区ごとの割り当ては考えておられますか。というのも 330-Cでガバナー晩餐会を予定しており、バッティングすると人を出せずご迷惑をおかけしてしまうので確認しておきたい。

吉村大会委員長：

●こちらとしても調整はしていくが、できるだけ調整等をお願いします。330 から出ている現職の国際理事もレセプションに出させていただく。

増澤専務理事：

●基本的にはオセアルへ国際理事候補者をお披露目する会ですので海外の方のほうが多く見えられると思います、複合へ10-15でお願いすることになるかとは思いますができるだけご調整をお願いします。

MD330 田中議長：

●出られるときはでます。ただ、割り振りを急に増やされたりすると困るかな、ということでした。

専務理事：

そこはご無理がないようにしていきます。

最後 その他になりますかなにかありますか？

吉村大会委員長：

●オセアルでもメルボルンでも日本が一つにまとまって行動するという形の形式をとる、8MDが協力しているスタイルを作りたい。

年明けすぐにメルボルン大会のパレードのことが浮かび上がる。日本でできるだけ統一された行動がとれるようにご意見を吸収して、協力体制を作り上げていきたい。

増澤専務理事：

●次回の予定を決定願います。

吉村大会委員長：

●今の状況でいくと、公認ツアーコーディネーターを決定していただいた後の9月11日から13日ごろに第2回委員会を開催したいです。



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋1丁目2-4 八重洲ノリオビル5階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

日本ライオンズ発行<2023-24-C-M1>

田名部理事長：

●ウェブでよろしいでしょうか。よければ対応できます。

増澤専務理事：

●北海道も入っていますので12日の午後、2本立てでよろしいでしょうか。

13時半から公認ツアー会社の打合せ、15時から国際大会委員会でよろしいでしょうか。ハイブリッドですので社団事務所でもよいし、ウェブでもよいのでその旨で決定します。ほかにありますか。

MD335 江草委員長：

●確認ですが、オセアル登録ですが1800人を8複合、225名の件。これを目標に登録者を募るということでよろしいでしょうか。

増澤専務理事：

はい、23日にマイケルPIDが来られた際に報告しますので、議長と相談して225以上の数字をお願いします。

社団事務所に23日いらっしゃる方はいますか。会議後のマイケルPIDとの懇親会にもご参加頂けますと助かります。

最後に池原副理事長挨拶をお願いします。

池原副理事長：

●今年は早く動いていますので、目標に届くのではないのでしょうか。日本からの国際理事もたくさん出ておりますので、成功に導けるようにしたい。ご協力ありがとうございました。

増澤専務理事：

●閉会宣言。



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋1丁目2-4 八重洲ノリオビル5階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

日本ライオンズ発行<2023-24-執-M2>

2023-24 年度

一般社団法人日本ライオンズ

第2回理事会 (WEB) 議事録

日 時 2023年8月22日(火)13:30~16:00

※会議開催時点での議事内容になります。一部注もご確認ください。

場 所 ZOOMシステム

出席者

理事長 田名部 智 之 (八戸)
副理事長 池 原 堅 (福山久松) 【WEB】
副理事長 松 浦 淳 一 (岩見沢はまなす) 【WEB】
専務理事 増 澤 義 治 (諏訪湖)
常務理事 田 中 雄 一 (狭山) 【WEB】
常務理事 栗 村 安 弘 (大船渡) 【WEB】
常務理事 星 野 勝 美 (太田) 【欠席】
常務理事 戸 祭 宏 樹 (鯖江王山) 【WEB】
常務理事 中 谷 豊 重 (岸和田) 【WEB】
常務理事 澤 辰 水 (下関) 【WEB】
常務理事 新 里 正 雄 (沖縄) 【WEB】
理 事 吉 本 晴 夫 (藤沢中央) 【欠席】
理 事 須 藤 敏 幸 (伊達) 【WEB】
理 事 松 本 宰 司 (南房総) 【欠席】
理 事 吉 村 弘 吉 (和歌山) 【WEB】
理 事 玉 川 孝 (熊本葵) 【欠席】
理 事 (一般財団法人日本ライオンズ理事長)
不 老 安 正 (大宰府) 【WEB】
理 事 (一般社団法人日本ライオンズ前理事長)
村 木 秀 之 (東京数寄屋橋) 【WEB】
監 事 今 井 文 彦 (東京巣鴨) 【欠席】
佐々木 忠 康 (小樽) 【欠席】
橋 本 勝 策 (焼津) 【WEB】
岡 村 聖 爾 (下関北) 【WEB】
オブザーバー: 法律顧問 池 田 和 司 (東京桜門) 【欠席】
会計顧問 吉 田 宗一郎 (東京武蔵野) 【欠席】

議事録作成者

常務理事 田中雄一、常務理事 中谷豊重

議事録署名人

(定款44条) 理事長 田名部智之、監事 橋本勝策 監事: 岡村 聖爾



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋1丁目2-4 八重洲ノリオビル5階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

日本ライオンズ発行<2023-24-執-M2>

【議 事】

協議事項

- (1) 第60回マニラ・フォーラム参加について.....資料A
 - ①各MD登録予想数
 - ②登録方法について
 - ③行事参加について
 - ④明日のフォーラム委員長との会議について(14:00)
 - ⑤フォーラム委員長から各議長へのご案内文(8/20付)内容について
- (2) LCIF 理事長公式訪問について.....資料B
- (3) ミッション1.5 2VP A.P. シン来日について.....資料C
- (4) マニラ・レオ・フォーラムについて(MD335).....資料D
- (5) SON 冬季ナショナルチーム大会開催について(MD331、MD334).....資料E
- (6) 各種集合会議出席旅費補助規程の改正について.....資料F
- (7) その他

協議内容

【開会前挨拶】

- (1) 理事長挨拶 田名部理事長
 - ①本年度は、WEB併用で理事会、執行理事会等の会議を行っていききたい。
 - ②会議日程についてはあらかじめ決定し、多くの理事が出席できるよう務めていききたい。
 - ③本日、フィリピン・マニラから、明日の国際関係委員会に出席されるためマイケル・ソー、オセアル実行委員長が来日される。
- (2) 理事(一般財団法人日本ライオンズ理事長)挨拶 不老安正

【協議】

1、第60回マニラ・フォーラム参加について(資料A、吉村国際大会委員長)

- (1) 11/2～11/5まで開催される。詳細な日程等は周知済と思われる。
- (2) 鶴嶋国際理事からの引き継ぎ
 - ・オセアルFにおいて、ジャパンレセプションを開催する。
 - ・前半は日本Lが運営、後半は候補者が運営する。
 - ・11/3 17:00～、11/3 17:30～、11/4 17:00～の日程で、1時間程度を予約している。

明日になれば具体的に決定する。



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋1丁目2-4 八重洲ノリオビル5階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

日本ライオンズ発行<2023-24-執-M2>

- (3) 登録 ・日本Lへの割り当て 1800名(マニラからの要望)
 - ・各複合225名を基準に登録数やしてほしい。
 - ・各クラブ1名ずつ参加登録すれば、割り当てを達成できるので、そのように協力してほしい。
- (4) 国際会長晩餐会 ・11/4 19時~22時頃
 - ・日本Lの割り当て150名くらい(前年度並み)
- (5) 増澤専務から各複合の登録目標の問い合わせがあった。
 - ・明日、オセアルF、マイケル・ソー実行委員長との会議があるので、そこで決定したい。
- (6) 質疑等
 - ・早期登録締め切り期限が8/31となっているが、伸ばせないか?
 - ・マイケル委員長と協議して、伸ばしてもらえよう要請する。
- (7) その他
 - ・田名部理事長から オセアルFでは、複合の議長が主役となる。招待状も届くことになる。その点、理解していただき、登録者数の増加にご協力をお願いしたい。

2、LCIF理事長公式訪問について(増澤専務理事)

- ①9/15~札幌、9/18~京都に入られる。
- ②負担金 ・複合からの負担金はなし。
 - ・費用は、LCIFが負担
 - ・晩餐会登録料 札幌12000円、京都15000円
 - ・割当、出席人数の目標に達成するよう協力をお願いする。

3、ミッション1・5(資料C、増澤専務理事)

- ①9/26 シン国際第2副会長福岡入り
 - 9/27 福岡セミナー、9/28名古屋セミナー(WEBC配信する)
 - 9/29東京
- ②晩餐会は開催しない。
- ③会場費等の負担金 なし
- ④質疑等
 - ・セミナーの時間等は
 - セミナーの時間は、2時間半。その他の詳細は来ていないので、判明次第連絡する。
 - ・来日日程が判明次第、複合へ連絡する。

4、マニラ・レオフォーラムについて(資料D、増澤専務理事)



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋1丁目2-4 八重洲ノリオビル5階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

日本ライオンズ発行<2023-24-執-M2>

- ①MD335 L森 範子（レオの件について）からの文書を各複合に周知する。
レオのあるクラブに発信していただきたい。
- ②今回の件についての問い合わせ先は、L森へ。
- ③レオについては社団の中に該当する委員会がなく、体制については検討が必要。

5、SON (Special Olympics Nippon) 冬季ナショナルチーム大会開催について (MD331、MD334) (資料E、田名部理事長)

①「スペシャルオリンピック2024長野」（長野市と北海道で開催）について、社団として関与していくことにつき、全会一致で承認した。

- ②各クラブ、1クラブあたり5000円の拠出を予定。

9月の執行理事会で協議、9月の理事会で予算書につき承認をもらう。

注：LCIFからの30万ドルを利用して支援するので、各クラブからの拠出はお願いしない旨が9/7開催 第2回執行理事会および9/14開催 第3回理事会にて確認されました。

- ③質疑等

・ふるさと納税の資料には長野しかないが正式名称か。

日本名で記載する場合は、日本大会と表記を統一するか、両方の開催地を入れてほしい。

→ふるさと納税の資料については長野市役所が用紙したためこの名称になっている。

記載については一言伝えておく。

6、各種集合会議出席旅費補助規程の改正について (資料F、田名部理事長)

- ①各種集合会議出席旅費補助規程の見直しを考えている。

②旅費プール制についての説明があった。問題点として、開催地に近い複合地区は、負担が大きくなることもあり、この制度が公平であるとは一概に言えない。

- ③ ①、②の問題点について、現状に見合っていない部分もあり、今期中に結論を出したい。

④当面、理事会構成員については交通費等、もらわない方向で行きたい。これについて、理事会構成員がまず襟を正さないと会員の理解を得られない。

- ⑤質疑等

・複合の予算執行の時期を考えて、実施時期を十分考えた方がいいのではないか。

・旅費等については、原則として社団で負担すべきではないか。日本Lの運営のため、という観点からでは、複合等に財政負担をかけることと同じではないか。

・今後、引き続き協議していきたい。

7、その他協議

- ①理事長、専務の各MDでの意見交換会開催について (増澤専務理事)



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋1丁目2-4 八重洲ノリオビル5階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

日本ライオンズ発行<2023-24-執-M2>

・各複合の第2回ガバナー協議会の際（あるいは、持ち回り理事会の際にガバナーに集まっていたいただきたい等）に、30分程度時間をとってもらって、ガバナーと理事長・専務が話し合いの場を持ちたい。

- ・ 330複合 10/23（今後調整）
- 331複合 9/14を予定（今後調整）、
- 332複合は理事長の地元につき省略
- 333複合（省略）、
- 334複合 10/24
- 335複合 11/14、
- 336複合（岡山） 11/16、337複合（未定）
- ・ 日程等については、再度、整理して、連絡する。
- ・ 副地区ガバナーのオブザーバー出席も認める。

8、その他質問

(1) 330複合で留保された会費の状況について（岡村監事より）

- ・ 330複合内で、決議の提案書の準備をしている。各位の協力を得ながら、年内には解決に向けていきたい。（田名部理事長）
- ・ 解決に向けて進めている。
日本Lと330の一部のメンバーとのやりとりの文書しかない。あらためて今季、330として正式に質問状を出す。これに対して、日本Lから回答いただければ、進んでいくのではないかと。その文書は、ほぼできあがっている。（330 田中常務）
- ・ 現在予算が保留となっている状態であり、理事会・社員総会の承認を得て早急な修正が必要である。早期の解決が必要。（岡村監事）
- ・ なるべく、はやく進めていきたい。（田名部理事長）

9、その他

①増澤専務理事に補佐を付けたい。

- ・ 議決権なし。会議へ同行し事務的な部分の手伝いをさせたい。

→・L菅原（八戸LC）

以上の件を了解した。

報告事項

1、各種委員会（直近に開催された会議報告）



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋1丁目2-4 八重洲ノリオビル5階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

日本ライオンズ発行<2023-24-執-M2>

- ・(7/20)アラート新旧引継ぎ会議.....議事録あり
- ・(8/9)ライオン誌、日本語版委員会新旧会議.....議事録あり
- ・(8/9)国際理事候補者資格審査委員.....議事録未
- ・(8/17)第1回国際大会委員会.....議事録未

2、その他報告事項

- ・麻薬・覚せい剤乱用防止センターからのメール(8/8付配信).....あり

報告事項についての説明、質疑等

(1)ライオン誌日本語版委員会(新旧会議)(田名部理事長、増澤専務理事)

①別紙「議事録」参照

②委員会が、「ライオン誌改革委員会」という委員会を設置する決議を行った。

・社団が「ライオン誌検討委員会」を設置していることから、ライオン誌に関し二つの委員会が存在することとなった。両委員会で意見が異なると、問題となるので調整していきたい。旧委員会の方で、根回しができていたようである。

・昨年度の社団の総会で、委員の就任期間を3年程度とする決議がなされた。

・このとき、すべての委員会は、議長は副委員長、前議長は委員長ということも決議されたが、旧委員長は、独自に委員長、副委員長を決定してしまった。これは、社団総会の決議に反するものであり、田名部理事長からは注意はしたが、編集を止めるわけにはいかないもので会議の閉会まではしなかった。また、城阪、濱野両国際理事は認められないことであるとかかなり注意したが、これを無視して進めてしまった。

・旧委員長は、ライオン誌委員会は国際理事会方針書にしたがって運営する、と発言したが、同方針書によれば国際理事はライオン誌において重要な位置づけである、とあり規定に反する。また、委員会内に委員会を設置するということになり、昨年以前の決議を無視するようなことになっている。組織としては非常に重要な問題なので、理事の皆様にご認識をお願いしたい。

・ライオン誌検討委員会を、昨年1回しか開催していないので、すみやかに開催する方向で進めていく。この場で、過去の事実を確認しながら、今期中に実現していきたい。

・詳細は、委員会の議事録を確認してほしい。

(質問等)ライオン誌委員会に参加した委員から、ライオン誌委員会の運営は、非民主的で独断専行だ、という報告を聞いている。理事長の報告のとおりであると聞いている。

(質問等)ライオン誌改革委員会を設けることに必要性はあるのか。

→玉浦委員長は、いわゆるライオン誌の埋蔵金の問題をさかんに話していた。ライオン誌を独立させたいといていた。これが「改革」の意味ではないか。

・退任予定の玉浦委員長が、改革委員会に残ることになるので、これも問題である。



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋1丁目2-4 八重洲ノリオビル5階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

日本ライオンズ発行<2023-24-執-M2>

・検討委員会を、透明性をもってきちんと開催していく。

(質問等)ライオン誌は、8複合から選出した委員が構成する委員会である。きちんと説明すればわかるはずである。社団から独立した委員会ではない。各委員がなぜ設置に賛同したのかわからないが、説明をしてほしい。

(質問等)どこかで互いに行き違いがあるのではないか。互いに歩み寄りが必要である。今回、今度中に解決してほしい。

(質問等)委員会の中に委員会を作ることは問題である。きちんとやめさせるよう、手段を講じるべきだ。

(質問等)委員会内委員会を作ることは問題である。組織上、問題だ。委員会から理事会に提案すべきである。ライオン誌の2億いっらの問題は、2019年度の決算書から再度調査・把握していけば良いのではないかと考える。

(質問)ライオン誌の問題は、各議長が各委員に意思疎通して、運営していってもらいたい。新しい委員は、古い委員の意見に押されてしまう。

(2) アラート委員会(池原委員長)

①7/20に新旧引き継ぎ会議を行った。

②3年以上たっている委員が多い。ある地区で災害が発生すると、その地区が発信して対応する流れになっていない。日本アラートの組織図を見直す必要があると考えている。

③ハワイ島の山火事の問題が、社団に届いていない。アラートの流れが悪い、と考えている。

④この1年は、アラートが活動できる体制を構築していきたい。

⑤(確認事項)

・アラート発動の線引きはどうなっているのか?委員会がどこまで活動するべきか、この辺も整理してもらえないか。

→・レベル基準はできている。その次のレベルで止まっている。8/25に委員会を開催するので再度見直していきたい。

・災害対応の備蓄庫のリストも作成する必要がある。

・委員長、班長等々、様々な役職ができている。ライオン誌と同じ状況ではないか。役職が多いことから、混乱が生じている。

(3) 国際理事候補者資格審査委員会

①L仁科良三が国際理事候補者としての資格を有していることを確認し、日本として推薦することを決定した。

②規約がおかしいところがあるので、会則委員会の中で修正の検討をしていく。



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋1丁目2-4 八重洲ノリオビル5階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

日本ライオンズ発行<2023-24-執-M2>

(4) 国際大会委員会

①オセアルフォーラム・マニラ 冒頭に説明済なので割愛する。

②国際大会・メルボルン大会

- ・日本Lで一つのホテルを決定する。日本Lメンバーの宿泊ホテルは、国際協会は指定しない。MDの公認ツアーコーディネーターを選任して、ツアー会社に日本のLのホテルを決定してもらう。これは、旅行代金を安くするためである。
- ・9/5までに、MDのツアーコーディネーターを集めて会議をして決定する。
- ・代議員朝食会の開催 鶴嶋国際理事から開催を要望されている。
- ・ジャパンナイトの開催 鶴嶋国際理事から開催を要望されている。

2、その他報告

①麻薬覚醒剤薬物乱用防止センターからのメール

- ・各複合にメールが送られている。確認をされたい。

②LCIの役員が、社団の理事会にメンバーとして加わっていない。このこともあり、国際協会からの情報はいってこない。

このため、オセアル調整事務局とのコンタクトをはかっていく必要があると考える。調整事務局と面談して、この流れを作っていく。

→先週(8/18、金)、OSEAL 調整事務局・マーズ事務局長と打合せをした。今後、月に1回程度、話し合いをしていく。

【閉会挨拶】

・理事長 田名部理事長

・各位の協力を得て予定時間のおり終了した。前向きに、課題も明確に会議することができた。

議長各位には、地元ガバナーへ情報を落としていって、協議していただきたい。



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋1丁目2-4 八重洲ノリオビル5階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

日本ライオンズ発行<2023-24-執-M2>

議事録作成日：2023年10月2日

議事録作成人：

常務理事 田中 雄一

常務理事 中谷 豊重

議事録署名人：

一般社団法人日本ライオンズ

理事長 田名部 智之 【押印省略】

監事 橋本 勝策 【押印省略】

監事 岡村 聖爾 【押印省略】



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋1丁目2-4 八重洲ノリオビル5階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

日本ライオンズ発行<2023-24-Y-M1>

一般社団法人日本ライオンズ
2023-2024年度 第1回YCE委員会要録

◎日時：2023年8月24日(木)13:30-16:00

◎開催方法：WEB (ZOOM)

◎出席者：

一般社団法人日本ライオンズ

理事長 田名部智之(八戸LC)

専務理事 増澤義治(諏訪湖LC)

委員長 吉村弘吉(和歌山LC)

副委員長 田中雄一(狭山LC)

委員(MD330YCE委員長) ベイリー久美子 (加須LC)

委員(MD331YCE委員長) 鈴木善一 (千歳LC)

委員(MD332YCE副委員長) 洞口勝則 (名取LC)

委員(MD333YCE委員長) 藤川清幸 (前橋中央LC)

委員(MD334YCE委員長) 石本雅之 (鯖江LC)

委員(MD335YCE委員長) 正岡章 (吹田江坂LC)

委員(MD336YCE委員長) 蔵本守雄 (高松源平LC)

委員(MD337YCE委員長) 岡秀昭 (大川LC)

オブザーバー

MD333YCE委員 佐藤久栄 (亀田LC)

MD333YCE委員 大日方健二 (笠懸LC)

MD335 事務局

◎本日の出席者確認及び進行について

- ・ 吉村委員長は開会を宣言し、出席者を確認した。
- ・ 吉村委員長はあいさつをした。

(吉村委員長)

◎議事要録作成人の指名

- ・ 委員(MD330YCE委員長)ベイリー久美子(加須LC)を議事録作成人に指名した。

◎議案

- ・ 基本方針の確認後、『YCE事業の手引き』を準地区の委員長やメンバーに配布するむね申し伝えがあった。
- ・ 共通ユニフォームを現在のジャケットからベストに変更してはどうかという意見があった。
- ・ 確認事項として各MDの担当地区の確認がなされた。



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋1丁目2-4 八重洲ノリオビル5階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

日本ライオンズ発行<2023-24-Y-M1>

- ・幹事旅行会社を各MD 1社に決定し報告することが決まった。
この際、吉村委員長より今後MDの委員会に幹事旅行会社の方もオブザーバーとして出席して頂いてはどうかと提案があった。
- ・次回委員会までに各MDで派遣希望を把握し報告することが決まった。
- ・アプリケーションフォーム等は、各MD間で委員長の責任においてやりとりする旨が決まった。社団では、人数等の概要を把握したいので、その旨を報告することが決まった。
- ・今年の冬の派遣については、従来通りの服装で執り行うことが決まった。
- ・国際協会のWEBページにMD 3 3 3のキャンプを掲載したいとの申し出があった。
- ・MD 3 3 5から、冬のオーストラリアの派遣はなしで夏に再開予定との話があった。
- ・共通フォームを使用してみて改善点を話し合うことが決まった。
- ・MD 3 3 3 藤川委員長よりYCE事業に携わる事務局を対象に座談会的なレクチャーをしてはどうかとの意見があった。賛成多数であったのでプロジェクトチームを作り研修計画を立てることが決まった。
吉村委員長をはじめ、チームリーダーとして委員(MD333YCE委員長)藤川清幸(前橋中央LC)メンバーとして、委員(MD330YCE委員長)ベイリー久美子(加須LC)と委員(MD335YCE委員長)正岡章(吹田江坂LC)が任命された。
- ・ユニフォームについては、ベストの方向で考えることに決まった。
グローリー社とフジマキネクタイ社にデザインと色をプレゼンしていただくことが決定した。

◎次回開催日

- ・10月5日(木)
15:00~17:00委員会
17:00~懇親会

会場は東京で、対面にて行うことが決定した。

議事録作成人
委員 ベイリー久美子 (MD330)



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋1丁目2-4 八重洲ノリオビル5階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

日本ライオンズ発行<2023-24-A-M1 訂9.13>

(2023-24 一般社団法人日本ライオンズ)

第1回アラート委員会 議事要録 **10.3 訂正版**

2023年8月25日(金) 14:00-16:30 ZOOM システム

出席者リスト

一般社団法人日本ライオンズ

理事長	田名部 智之	(八戸 LC)
専務理事	増澤 義治	(諏訪湖 LC)
アラート委員会委員長	池原 堅	(福山久松 LC)
アラート委員会副委員長	新里 正雄	(沖縄 LC)
<u>日本ライオンズ アラートチーム</u>		
全日本統括リーダー	佐々木 健太	(大阪若獅子 LC)
東日本統括リーダー	木村 知紀	(青森 ZERO LC)
同 西日本統括リーダー	藤井 信英	(岡山みらい LC)
<u>アラート委員</u>		
MD330 委員	増田 正明	(東京田無 LC)
MD331 委員	浅野 敬一	(北見中央 LC)
MD332 委員	木川田 明弘	(仙台高砂 LC)
MD333 委員	中田 泰範	(新潟東 LC)
MD334 委員	堀岡 昭夫	(金沢東 LC)
MD335 委員	堀口 清隆	(神戸みなと LC)
MD336 委員	西尾 慎一	(鳥取 LC)
MD337 委員	高野 裕子	(熊本平成 LC) 【欠席】
委員長補佐・MD333 アラート班長		
	若林 純也	(水戸葵 LC)
MD332 アラート副委員長	山下 里美	(山形アルカディア LC)
MD334 アラート委員会班長	吉田 正義	(榛南 LC)
334-A 地区アラート・環境保全委員長		
	出崎 浩貴	(尾張旭 LC) 【欠席】
334-B 地区アラート委員長	森 英昭	(四日市サウス LC)
334-C キャビネット会計兼アラート委員長		
	内田 聡	(三島 LC)
33_4-E 地区会則・管理・アラート委員長		
	檀原 保雄	(佐久 LC)



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋1丁目2-4 八重洲ノリオビル5階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

日本ライオンズ発行<2023-24-A-M1 訂>

- ① アラート委員会の基本方針と準地区・複合地区・エリア地区との再確認について
・アラート委員会運営規則についての説明

池原委員長

「一般社団法人日本ライオンズ・アラート委員会/緊急アラート災害支援運営規則（案）」の第10条、第11条、第12条、第13条、第14条に役員任命の条項があり、既に第10条で委員長は私が任命されていますが、その他の役員は社団の理事長が任命するとありますが前年も含めて理事長のお考えをお願いします。

佐々木全日本統括リーダー

委嘱状は社団理事長名でも良いが、この2年間の議論で委員長名で出した方が迅速で良いのでは、前期の山川委員長と決めていました。

池原委員長

この機会に、規約を見直したほうが良い。

田名部理事長

現行の規則で、選任ですが、見直したほうが良ければ、皆さんと池原委員長と検討ください。

佐々木全日本統括リーダー

「一般社団法人日本ライオンズ・アラート委員会/緊急アラート災害支援運営規則（案）」の（案）を取った形で進めた方が良い。

田名部理事長

（案）ではなく、正式規則として保管してほしい。

増澤専務理事

（案）を取った規則を理事会に出すので、1度精査してほしい。

池原委員長

規則も今期でしっかり見直したい。今期、国際大会が7月に遅く開催された関係上、引き継ぎが遅かったので、今期は前期の規則をそのまま進めたい。改定は来期に見送りたい。

田名部理事長

特に問題なければ、委員長に賛成。

木村東日本統括リーダー



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋 1丁目2-4 八重洲ノリオビル5階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

日本ライオンズ発行<2023-24-A-M1 訂>

この規則は素晴らしいが、実際の運用に適しているかは、疑問である。来週広島で委員長はじめ正副統括リーダーと協議して、改正案を作りたい。

藤井西日本統括リーダー

来週、広島でじっくり話し合いしたい

MD 3 3 1 浅野委員

アラート委員長の指名について協議会議長の指名となっているが、自分の場合も議長から指名があったわけではない。

議長が班長・副班長について指名することになっているが、書いてあるだけになっているので、もう少し指名がしやすく、簡単な規則にしたほうがよいのではないか。

MD 3 3 2 木川田委員

委員長が変わる時に、規則を変えるのではなく、問題が出たときに変更したほうがよい。

MD 3 3 3 中田委員

一昨年以前は、3 3 3 MD ではアラート委員会はなかった。

アラートとして、自分のたつ位置が良くわからない。アラート委員会の行動規範があれば良い。

MD 3 3 4 堀岡委員

班長は複合の議長推薦、委員長の指名でよいのでは。

MD 3 3 6 西尾委員

初めてアラート委員に就任しましたが、この規則については アドバイザーは現在誰なのか、又 全日本統括リーダーの記述がない。

池原委員長

規則については、各自じっくり読んでいただいて、赤字の部分も含めてより良い規則に改定したい。

委員長補佐・MD333 若林アラート班長

班長は日本ライオンズ指名の意見もありましたが、MD によっては議長の反対もあり、5年間の経緯もあり、各正副統括リーダーの意見を聞いて頂き、委員長にお任せしたい。

MD332 山下アラート副委員長

この規則は、改定してきており、この規則通りにできれば、良いと思う。私は MD の木川田委員長より指名頂いて、この任についている。日本ライオンズの池原委員長より任命が



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋 1丁目2-4 八重洲ノリオビル 5階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

日本ライオンズ発行<2023-24-A-M1 訂>

くるのか、よくわかりません。正副統括リーダーで打ち合わせをしっかりとお願いしたい。

MD 3 3 2 木川田委員

秋田の災害の件で、栗村議長とも話したが、木村東日本統括リーダーが、複合の構成員ではない。これは、前期委員長の引継ぎ（申し送り）がうまくいっていない。

MD 3 3 5 堀口委員

3年ぶりに委員長になったが、組織が変わったので、ビックリしている。班長・副班長ができています。しかしながら、この運営規則をじっくり読んで、理解できた。

木村東日本統括リーダーが、複合の構成員ではない件も含めて、池原委員長と正副統括リーダーで交通整理をして欲しい。

佐々木全日本統括リーダー

全日本統括リーダー 東日本 西日本統括リーダーは今期の委員長指名で、今期の人事は、前委員長指名ではない。木川田委員にその事情を理解して欲しい。

複合内で議事録も含めて、勉強してほしい。

池原委員長

議題①については、もう一度運営規則をお送りして、個々で見直して頂き、それを纏めた形で早急に実施したいので、皆様のご意見を書いて送って頂きたい。

池原委員長

② 23 24 年度 役員改選・エリア地区見直しの必要性について

③ アラート委員会の基本方針と準地区・複合地区・エリア地区との再確認について

議題②③は、今までの話で、出てきておりますので、割愛させていただきます。

④各地区災害備蓄倉庫の実態の状況について

池原委員長

備蓄倉庫の実態について私自身も把握しておりません。佐々木Lいかがでしょうか。

佐々木全日本統括リーダー

備蓄庫に置かれましては日本ライオンズでは把握しておりません。

各複合地区にて備蓄庫の有無を取りまとめしていただき報告をいただきたい。

木村東日本統括リーダー

332D福島に、ストックヤード構想がある。県のほうに2.3か所の予定



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋1丁目2-4 八重洲ノリオビル5階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

日本ライオンズ発行<2023-24-A-M1 訂>

東北も北と南に分かれて各1か所程度ストックヤードを持つべき。

集まった物資の中で余剰分をストックして次の災害に役立てるため必要。

池原委員長

この件につきましては後日、詳細等について調査票等を送ります。

⑤委員会・全体会議スケジュールについて再確認

池原委員長

今後のアラート会議の日程ですがこのままでよいのか、間にもう1回ほど開催したほうがいいのか。

佐々木全日本統括リーダー

1回目から5回目からは委員会。全体会議はまず東西で別れてやらないと発言の機会が少なくなる。日本レベルで開催すると人数が多すぎる。また別に班長会議を東西で行う複合地区ごとのアラート会議を行う。東西のリーダーが各会議の計画を立てる。

田名部理事長

私のほうからは委員会に対しての要望やアドバイスは特にありませんが、規約や、ルールの整備を早くできるように委員長を先頭として委員会として動きやすい形ができればいいのではないのでしょうか。

木村東日本統括リーダー

一般社団法人と国際協会側の距離感を感じる。東西のリーダーが各複合地区に出向いて行って、情報を伝えるに行く役割がリーダーだと思っている。複合地区にアラート委員会の大切さを理解してもらおう。MDの委員長に東西のリーダーを使っていたきたい。

増澤専務理事

各委員の皆さんがいろんな地区に行って堂々と活動できるように委嘱状等が必要であればすみやかに出しますので、各委員長におかれましても複合の中で東西のリーダーが誰か周知していただきたい。

⑥日本ライオンズ主催アラートフォーラムについて

藤井西日本統括リーダー

1点確認ですが一般社団法人アラートフォーラムとして物事を進めていってよろしいのか。
(皆さん了承)

9月13日にMD336のアラート委員会の中に特別実行委員会を立ち上げる。

9月の末から10月の頭に大枠を決めたものをスムーズに各複合地区に案内が出せるよう



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋1丁目2-4 八重洲ノリオビル5階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

日本ライオンズ発行<2023-24-A-M1 訂>

に進めていきます。令和6年2月24日(土)13時30分から約3時間程度行う。場所は岡山旧市民会館にて参加者は500名ほど予定している。

その他 なし

総括

池原委員長

次回のアラート委員会につきましては今の運営規約を各担当に送りますので改善点があれば提案をお願いします。

またアラート資金のことですが、各地区にて緊急支援金の積み立てがあると思います。

次の委員会までに各地区にて、いくら支援金があるのか確認をしてもらいたい。

30年以内に南海トラフ地震が発生する確率が高いため、そこに向けての貯蓄と対策を講じていかないと大変なことになる。今日を機会に一人一人のご意見をしっかりとくみ上げて、総意のもとに物事を進められるアラート委員会にして行きたいと思います。

閉会の挨拶

佐々木全日本統括リーダー

池原委員長の素晴らしいリーダーシップのもと、1回目でこんなに充実した委員会ができたのも田名部理事長、池原委員長のおかげだと思っております。社団の性質上、どうしても社員総会が8月ぐらいになり、1回目の委員会が遅れるとそれが委嘱状の問題等があるということなのですが、5年前に発足したこの委員会よりも確実に進んでいると思います。

330A・B・C各準地区の中のC地区にアラート委員会がないという現状を聞いておりますのでぜひガバナーと相談していただきC地区にもアラート委員会を置いていただいで複合のアラート委員会を開催していただきたい。

本日はお疲れ様でした。

以上

議事録作成人

MD330 委員

MD331 委員

増田 正明

浅野 敬一



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋1丁目2-4 八重洲ノリオビル5階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

日本ライオンズ発行<2023-24-M-A2>

第2回アラート委員会 議事要録

日時・場所 2023年9月25日(月) 14:00~16:30 ZOOM システム

司会 統括リーダー 佐々木健太

出席者リスト

一般社団法人日本ライオンズ

理事長	田名部 智之	(八戸 LC) 【欠席】
専務理事	増澤 義治	(諏訪湖 LC)

アラート委員会委員長	池原 堅	(福山久松 LC)
アラート委員会副委員長	新里 正雄	(沖縄 LC)

日本ライオンズ アラートチーム

統括リーダー	佐々木 健太	(大阪若獅子 LC)
東日本統括リーダー	木村 知紀	(青森 ZERO LC)
西日本統括リーダー	藤井 信英	(岡山みらい LC)

アラート委員

MD330 委員	増田 正明	(東京田無 LC)
MD331 委員	浅野 敬一	(北見中央 LC)
MD332 委員	木川田 明弘	(仙台高砂 LC)
MD333 委員	中田 泰範	(新潟東 LC)
MD334 委員	堀岡 昭夫	(金沢東 LC)
MD335 委員	堀口 清隆	(神戸みなと LC)
MD336 委員	西尾 慎一	(鳥取 LC)
MD337 委員	高野 裕子	(熊本平成 LC)

委員長補佐・MD333 アラート班長

若林 純也(水戸葵 LC) 【欠席】

MD332 アラート副委員長

山下 里美(山形アルカディア LC) 【欠席】

◇開会宣言

池原委員長



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋1丁目2-4 八重洲ノリオビル5階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

日本ライオンズ発行<2023-24-M-A2>

これより第2回アラート委員会を開会する。本日の議案は第1回会議での議案に更にプラスして皆さんよりご意見を頂戴する。皆さんのご協力をお願いしたい。

◇出席者の確認

別表の通り出席者リストの確認をした。

◇議事録作成人

MD333 中田委員

◇前回議事録の確認

佐々木統括リーダー

メールで配布済み・・・全員確認された。

【議案】

① アラート委員会組織図及び運営規則改定状況について

池原委員長

現在の組織図、昨年のアラート委員会では承認済みであるが、社団の社員総会にはかかっていない。次の社員総会に向け、全日本、東、西、統括リーダーより新組織図、新規定の作成をして頂き、皆さんにメールで配信した。

現行で行くか、新規定で行くかそれぞれの意見を述べて欲しい。

MD330 増田委員

MD330も第1回のアラート委員会開催の予定である。どう組織を作っていくか、単年度の目標と将来的な目標を考えている。全日本も将来的にどのように考えているのか聞かせて欲しい。

池原委員長

今回の新提案書も将来を考えての提案。ベストかベストでないのか、このままとは考えていない。アラートの有り方が変化するに付け、我々の委員会も変化しなければならない。

MD333 中田委員

今回の新しい提案名は簡潔で良い。規定の基本は日本アラートが必要とされる時に限りなく複合、準地区を支える・・・この精神に感銘した。

10月10日MDアラート委員会及びセミナーを開催予定である。

その際今回の組織図、目的、規定を準地区に伝え新たなアラートの有り方を示したい。



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋1丁目2-4 八重洲ノリオビル5階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

日本ライオンズ発行<2023-24-M-A2>

MD334 堀岡委員

新しい提案、簡素で素晴らしい。災害時、先に動くのは現地のクラブ、社協との連携であり、全日本、複合が先に動くとは混乱がおきる。その為にも日本ライオンズは啓蒙が大事である。この新提案はその点、評価できる。

MD335 堀口委員

この新しい組織図、早くできて欲しい。これを以て10月複合の委員会において参考にして臨める。

MD336 西尾委員

私も提案通りだと思う。無駄な部分を排除した大変良い提案である。

佐々木全日本統括リーダー

今回の新提案は、木村東日本統括リーダー、藤井西日本統括リーダー、そして私を含め、委員長の了解、確認を頂きながらまとめ上げ、ここ3~4年の問題点と議論、変化を見つめながら、新しい発想のもと作成してきた。

池原委員長

ストレートで分かり易い組織を目指すことを提案した。運営規則もこれに準じて行けるのではないかと思う。

新里副委員長

新提案、これで問題ないと思う。

池原委員長

これをもって社員総会にかけたい。

藤井西日本統括リーダー

組織図には副班長は載っていない。この扱いをどのように考えればよいか。否の場合、副班長としての自覚が薄れるのでは・・・。

佐々木全日本統括リーダー

副班長は複合、準地区の委員会には必ず入れて欲しい。新組織図には載っていないが入れるべきであれば、入れたい。35名の副班長を入れると会議運営上、厳しい面もある。



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋1丁目2-4 八重洲ノリオビル5階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

日本ライオンズ発行<2023-24-M-A2>

池原委員長

副班長を組織に入れるべきであれば、入れなければならない。意見を聞きながら考えた
い。この件については次の委員会迄、宿題として持ち帰り検討して頂きたい。

佐々木統括リーダー

組織図からは、アラート委員会はMD委員まで、班長、副班長は全体会議でのポジション
になる。

藤井西日本統括リーダー

全体会議用の組織図も作ったらよいのでは。

木村東日本統括リーダー

副班長の役目は重要である。組織に入れるか否かは慎重に審議して欲しい。

佐々木統括リーダー

必要であれば組織に表記したい。

池原委員長

この4年間必要性があったか、あれば入れる。無ければ外す。その辺の意見を聞いて行
きたい。

MD335 堀口委員

今回の組織図は大変シンプルで良い。副班長を入れた全体会議の組織図を作れば良い。

佐々木統括リーダー

今日頂いた意見を参考に委員長と相談の上、次期会議まで組織図を含め再提案したい。

木村東日本統括リーダー

日本アラートの着地は複合、準地区への完全バックアップであり、各地区のエキスパー
トを育てて行くことだと思う。

- ② 各地区災害用備蓄の実態報告について
- ③ 地区緊急積立金状況について



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋1丁目2-4 八重洲ノリオビル5階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

日本ライオンズ発行<2023-24-M-A2>

池原委員長

議案②③は一括で進めたい

アラートにもとづき、各地区アンケートを取って頂きたい。

MD333 中田委員

複合において備蓄はなく、災害積立金 1970 万円。

MD334 堀岡委員

10月3日に複合のアラート委員会がある。今日の資料をもって報告したい。

MD335 堀口委員

来月の複合の会議にこの資料を提出し把握する。

MD336 西尾委員

災害積立金は複合で 1000 万円、A 地区 2800 万円、B 地区 1300 万円、C 地区 1000 万円、D 地区 1100 万円

備蓄品は複合では無い。準地区では有る所と無い所がある。これからは必要かと思う。

④ 一社) 日本ライオンズの委嘱状について

増澤専務理事

委嘱状の発行はアラート委員会に関する全員が対象なのか・・・？班長、副班長はガバナーが指名しており社団の指名ではない為、判断できない・・・。社団で指名しているのは問題ない。原則指名先が出すことになっており、社団では委員長、副委員長までである。

この先は次の執行理事会に諮りたい。

池原委員長

全日本、東西統括までしてほしい。

⑤ 今後の会議開催スケジュールについて

佐々木全日本統括リーダー

次回第3回アラート委員会は11月13日であるが、2月に予定の岡山フォーラムの視察を兼ね、岡山で開催。現地集合と ZOOM 方式を考えている。



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋1丁目2-4 八重洲ノリオビル5階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

日本ライオンズ発行<2023-24-M-A2>

下期のスケジュールは11月末までにメール報告する。

池原委員長

意見を聞きながらベストな会議を設営したい。

MD336 西尾委員

10月4日MD336の関係者を集め2月予定のアラートフォーラムの概要をまとめ、アラート委員会に報告したい。

佐々木統括リーダー

フォーラムの件につき要望、意見があれば統括リーダーに連絡してほしい。

⑥ その他

MD335 堀口委員

35地区のガバナーにはアラートに関する件にバラツキがある。次からのガバナー予定者にはアラート問題を啓蒙し、方向性を伝えて欲しい。

池原委員長

同感である。各年度のガバナーにアラートの必要性を伝える仕組みを作って行きたい。

佐々木統括リーダー

各クラブ、会員が災害支援しやすい様、地区ガバナーがアラート委員会の思いを取り入れ、受け皿を構築する事が大事である。東西でアラート委員のセミナーを検討している。内容は5年間の歩み、役職の動き、被災地での初動体制、どのような動きが必要か等である。

閉会挨拶

新里副委員長

私もアラート委員会の出席は初めてであるがL木村はじめ各統括リーダーが作成された提案資料を拝見し、大変感心したところである。

これからも努力していきたいので宜しくお願いしたい。

2023年10月3日

議事録作成人 MD333アラート委員長

中田 泰範



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋1丁目2-4 八重洲ノリオビル5階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

日本ライオンズ発行<2023-24-会-M1>

議 事 録

会議名	(2023-2024年度)第1回会則委員会 (WEB)		
作成日	2023年08月24日(木)	作成人	MD337 高野 正勝 MD333 岩沼 忠伺

■ 概 要			
日 時	2023年08月23日(水) 10時00分～12時00分		
場 所	ZOOM システム		
出席者	◆一般社団法人 日本ライオンズ		
	理事長	田名部 智之 (八戸LC)	
	委員長 (MD333前協議会議長)	松本 宰史 (南房総LC)	
	副委員長 (MD335協議会議長)	中谷 豊重 (岸和田LC)	【WEB】
	専務理事	増澤 義治 (諏訪湖LC)	
	◆各複合地区会則委員長		
	331複合地区会則委員長	馬場 哲也 (函館東LC)	【WEB】
	332複合地区会則委員長	荒川 友成 (郡山西LC)	【WEB】
	333複合地区会則委員長	岩沼 忠伺 (千葉ネオLC)	【WEB】
	334複合地区会則委員長	野村 善弘 (岡崎竜城LC)	【WEB】
335複合地区会則委員長	小林 寛 (姫路中央LC)	【WEB】	
336複合地区会則委員長	松岡 諒 (福山久松LC)	【WEB】	
337複合地区会則委員長	高野 正勝 (佐賀葉がくれLC)	【WEB】	
(合計 11名)			

■ 議 事	
議 題	(1) 前年度からの申し送り事項の確認について (2) 国際理事候補者資格審査委員会 審査内容の件について (3) 役員必携の改訂の件について (4) その他
討議内容	(1) 前年度からの申し送り事項の確認について ・ 学生会員の件 役員必携の改訂に盛り込む。



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋1丁目2-4 八重洲ノリオビル5階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

日本ライオンズ発行<2023-24-会-M1>

会費については、理事会の結論を待つ。

- ・コンプライアンス委員会立ち上げの件

組織に罰則がないので、トラブルのない形でそれぞれが適正に運用される為のルールが必要。

MD335 小林氏⇒家族会員、支部会員、エクセレント会員の会費について

松本委員長 →地区の年次大会、複合の年次大会で会費の設定をお願いします。

参考：333 複合地区は、年額 500 円に設定している。

中谷副委員長 ⇒コンプライアンス委員会について、委員会の中に委員会を置くのは、おかしいのではないかと。

田名部理事長 →今のところ認められている。兼務するかどうか、どのように立ち上げるのか、松本委員長を中心として議論していく。

中谷副委員長 ⇒全体に関わることなので、色んな人が関わる横断的な委員会としての考え方があのではないかと。

増澤専務理事 →今後の理事会の中で相談して、どの位置に置くか考える。

MD333 岩沼氏⇒委員会を作って片付けようとするのではなく、日本ライオンズの内部で起こった原因を理事会で考えて、探って、直していかなければ、変わらないと思う。

松本委員長 →今後対応していく。

(2) 国際理事候補者資格審査委員会 審査内容の件について

- ・見直しをしていく箇所がある。

次回、取り上げる。(宿題)

(3) 役員必携の改訂の件について

- ・08 月中／編集・集計を終える。

・09 月 /凸版印刷にてゲラ版を作り、次の会議で最終確認後、印刷。

・10 月 /各地区に配布予定。

- ・ライオンズ必携に新しい会員種別“割引会員”を反映させる。

P5 変更箇所について

MD336 松岡氏⇒「3・4・5 番目の」の部分を消した方が良い。

松本委員長 →変更します。

- ・数字は、2023 年 06 月末をもって修正を加えている。

(P6 のロータリーとキワニスの数字以外)

- ・P11 ギリギリまで最新の情報が出るのを待つ。間に合わない場合は、このまま印刷する。

・P21~29 PDF と Excel データを見比べて、MD の中の準地区の結成順位を Excel デー



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋1丁目2-4 八重洲ノリオビル5階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

日本ライオンズ発行<2023-24-会-M1>

	<p>夕に番号を入力して下さい。Excel データは、今月中に日本ライオンズへメールをお願いします。(宿題-1)</p> <p>P59 諮問委員会について</p> <p>MD335 小林氏⇒諮問委員会の国際協会の中で、ルールはあるのか。</p> <p>松本委員長 →国際本部発行の進め方の指示書がある。しかしガバナーや各地区ごとの色も加えて良い。</p> <p>P66 ボストン国際会議において、基本的な考え方が抜本的に変わり、この表は該当なくなった。</p> <p>間違った表記が出来ないので、今回は削除をして対応する。</p> <p>新しい国際理事会方針書の発表後に変更する。</p> <p>P66 学生会員について、問合せがあった場合、公的機関の規定に準じた所属している学生は、対象となる。</p> <p>予備校を含めて、それ以外は対象外と認識して下さい。</p> <p>P153 2018 年以降、国際協会の歴史に特記する事項があれば、次の会議までに提案して頂きたい。(宿題-2)</p> <p>P124 担当している複合内の新しいレオクラブリストをまとめて頂きたい。(宿題-3)</p> <p>MD333 岩沼氏⇒P6 全世界のクラブ数 200 以上の国と領域を国と地域に変更した方が良いのでは。</p> <p>松本委員長 →詳しく調べてみます。</p> <p>MD335 小林氏⇒ライオンズ必携の無駄なページを省いた方が、見やすく、持ち運びやすくなるのではないかと。(次年度からの問題)</p> <p>松本委員長 →精査します。</p> <p>MD336 松岡氏⇒(宿題-1) 結成順位は、準地区単位ではなく、県ごとでも良いか。</p> <p>松本委員長 →県ごとでお願いします。</p> <p>中谷副委員長 ⇒会員必携は、データ化されているのか。スマホでも見れると良いのでは。</p> <p>松本委員長 →データは、特殊なプログラムを使っている為、凸版印刷が管理している。PDF 修正のみ出来る。</p>
未解決・持ち越し	<ul style="list-style-type: none"> ・(宿題-1) 県ごとの結成順位を入力し、メールする。(8月中) ・(宿題-2) 国際協会の歴史に特記する事項があれば、提案する。 ・(宿題-3) 担当複合内の新しいレオクラブをまとめる。

■ 次回の予定	
日 時	2023 年 09 月 21 日 (木) 10 時 00 分より



一般社団法人日本ライオンズ
〒104-0031 東京都中央区京橋1丁目2-4 八重洲ノリオビル5階
Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp
日本ライオンズ発行<2023-24-会-M1>

場 所	ZOOM システム
------------	-----------

議事録 署名人	松本宰史
--------------------	------



一般社団法人日本ライオンズ
〒104-0031 東京都中央区京橋1丁目2-4 八重洲ノリオビル5階
Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp
日本ライオンズ発行<2023-24-会-M2>

(2023-2024 年度)

第2回会則委員会 (WEB) 議事要録

◎日 時： 2023年9月21日(木) 10:00-12:00

◎システム： ZOOM システム

◎出席者：

一般社団法人日本ライオンズ：

理事長 田名部 智之 (八戸 LC)

委員長 (MD333 前協議会議長)

松本 宰史 (南房総 LC)

副委員長 (MD335 協議会議長)

中谷 豊重 (岸和田 LC)

専務理事

増澤 義治(諏訪湖 LC)

各複合地区会則委員長：

330 複合地区会則委員長

細川 孝雄 (東京赤坂 LC)

331 複合地区会則委員長

馬場 哲也 (函館東 LC)

332 複合地区会則委員長

荒川 友成 (郡山西 LC)

333 複合地区会則委員長

岩沼 忠伺 (千葉ネオ LC)

334 複合地区会則委員長

野村 善弘 (岡崎竜城 LC)

335 複合地区会則委員長

小林 寛 (姫路中央 LC)

336 複合地区会則委員長

松岡 諒 (福山久松 LC)

337 複合地区会則委員長

高野 正勝 (佐賀葉がくれ LC)



一般社団法人日本ライオンズ
〒104-0031 東京都中央区京橋1丁目2-4 八重洲ノリオビル5階
Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp
日本ライオンズ発行<2023-24-会-M2>

① 開会宣言

松本会則委員長より開会の宣言。

② 一般社団法人日本ライオンズ理事長ご挨拶

田名部理事長よりご挨拶。

③ 出席者確認

④ 議事録作成人の指名

・MD332 荒川委員長・MD336 松岡委員長が指名された。

主要議案：

1. 前回議事録の確認

松本委員長より前回議事録の確認事項について説明。

松本委員長から、今期の当委員会の活動について、役員必携発行後、コンプライアンス委員会の件、ポケット版必携の改訂の件が主要な議題となる旨説明。

2. 2023-24年度 『役員必携』発行について

・主な改定箇所について

松本委員長より、主な改正箇所の説明があった。主な改正箇所は次のとおり。

- (1) 国際本部、太平洋アジア課、OSEAL調整事務局についての記載を第1編に集約した。
- (2) 初の有色人種会員である黒川直也氏（ホノルルLC）について追記した。
- (3) GAT、GMAの説明を追記した。
- (4) 割引会員について追記し、これに伴い、学生会員とレオライオンのプログラムについても追記した（レオライオンの記述はレオライオン育成の観点からも必要と判断）。
- (5) OSEAL調整事務局による会計ウェビナーの研修資料とクラブ会計予算書・決算書の見本を掲載（予算書決算書の見本は数年前まで掲載されていた



一般社団法人日本ライオンズ
〒104-0031 東京都中央区京橋1丁目2-4 八重洲ノリオビル5階
Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp
日本ライオンズ発行<2023-24-会-M2>

が、現在は削除されていた。初心者のために役立つため、再掲載した。)

・発行スケジュールについて

松本委員長より、来週には三校が出校され、9月30日と10月1日に委員長が最終確認を行い、印刷に回すこと、10月中には印刷を終え、10月末には各地区へ発送する予定であることを説明。

・頒布単価・発行予定部数について

田名部理事長から、頒布単価は600円とすることが理事会で決定されたことが報告された。

なお、増澤専務理事より、凸版印刷の見積もりでは総額約300万円となっているが、送料が50万円程度になる見通しであるため、総額350万円程度と予想されると補足。

現在、合計で1万0281冊の予約があることを確認。

次のとおり、質疑応答があった。

MD333 岩沼委員委員長 MD335 小林委員長

：配布時期は期が変わる前にすべきである。今期も4月に再度、発行する方向で考えて欲しい。

→松本委員長：今後の課題とする。

MD330 細川委員長：単価600円で発行が約1万部だとすれば、見積もりが約300万円なので利益が約300万円になるが、この利益はどのように処理されるのか。

→松本委員長：一般会計に入る。社団の運営費に充てられる。近年、社団の運営費は年間300万円程度の赤字になっているので、この赤字を補填できる。

MD330 細川委員長：社団の会計について疑問があり、330複合地区は賛助金の支払



一般社団法人日本ライオンズ
〒104-0031 東京都中央区京橋1丁目2-4 八重洲ノリオビル5階
Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp
日本ライオンズ発行<2023-24-会-M2>

いを保留している。同複合地区から質問状を送付しているが、回答はどうなっているか。

→田名部理事長：質問状に対し、回答することを理事会で決議した。早ければ、今月中に回答が送付されると思われる。

3. 協議および確認事項

- ・ボストン理事会及び国際大会決議事項要約について

要約を確認した。

松本委員長より、次の点について補足説明があった。

- (1) 会則及び付則委員会では、第二副地区ガバナーの選任問題についての審議が多かった。
- (2) 財務委員会に関連し、役員必携に国際本部やLCIFの決算報告を掲載しているが、掲載不要なのではないかという意見があった。しかし、和訳は役員必携にしか載っていないため、引き続き、掲載する。
- (3) マーケティング委員会は、以前はマーケティング・コミュニケーション委員会と呼ばれていたが、変更されている。
- (4) テクノロジー委員会の関連で、現在のMy LionがLion Portalに変更されることになっている。クラブの報告方法も変わるため、次回の役員必携にはこの点を反映させる必要が出てくるはずである。

- ・コンプライアンス委員会の立ち上げについて

田名部理事長より、会員による誹謗中傷、トラブル、会則解釈の混乱などに対応するため、理事会内委員会としてコンプライアンス委員会を設置する話を前年度より引き継いでいる。会則委員会でルールやガイドラインを今年度中に決めて欲しいとの説明があった。

松本委員長より、罰則が無い中で、禁忌事項とされている怪文書配布などの問題が実



一般社団法人日本ライオンズ
〒104-0031 東京都中央区京橋1丁目2-4 八重洲ノリオビル5階
Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp
日本ライオンズ発行<2023-24-会-M2>

際に起こっており、大きな問題となっていること、会員間のトラブルについて裁判で争うことも禁止されており、あくまで話し合いで解決されるべきこと、これらを三役研修会で徹底されるべきこと、コンプライアンス委員会については年明けに議論していきたいことなどが補足で説明された。

次のとおり、質疑応答、意見があった。

MD333 岩沼委員長：コンプライアンス委員会設置は地区内の問題のためなのか、日本Lの問題のためなのか。原因があるから結果があると見ている。日本Lに対する批判に蓋をするためなのであれば、設置に反対する。

→松本委員長：原因を直視して改めるべきところは改める。少数意見も大事である。

MD336 松岡委員長：コンプライアンス委員会と既存の紛争処理手続きやステータスクオとの関係性が分からない。コンプライアンス委員会の役割は何か。

→松本委員長：既存の紛争処理手続きに乗せても解決できないという問題がある。既存の制度の補足的な役割（注意や勧告を出すなど）を担う。実効性担保については、八複合連名で国際理事会に紛争処理を促すなどを想定している。基本的には、話し合いで紛争を解決したい。

MD333 岩沼委員長：3 3 3 複合地区内で現にトラブルが発生しているが、対応は不可能と思われる。

→田名部理事長：コンプライアンス委員会是对処療法的なものではないし、臭いものに蓋をする趣旨でもない。日本Lに対する不満や問題提起については、今期、丁寧に対応していく。ライオンズクラブは、単年で役員任期が終わるため、連続性を持たせるために今期中にガイドラインを作成したい。罰則を持ってネガティブに対応するのではなく、複合の各委員長連名で正しい方向に導くようなポジテ



一般社団法人日本ライオンズ
〒104-0031 東京都中央区京橋1丁目2-4 八重洲ノリオビル5階
Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp
日本ライオンズ発行<2023-24-会-M2>

イブな対応を考えている。

MD335 小林委員長：紛争は正義と正義の戦いであり、コンプライアンス委員会がそこに入っていくのは反発を招き、危険である。近年はインテリジェンスという側面がガタガタになっていると感じている。意味の無い委員会が多すぎる。

4. その他

松本委員長より、2人目以降の家族会員も正会員であるとこれまで説明してきたが、今後は割引会員に分類されること、割引会員は代議員数算出のための分母には入らないが、代議員として投票したり、地区役員に就任できることなど、注意が必要である旨説明があった。

荒川委員から、役員必携は来期の三役にも渡したいので、来年4月に増刷して発行して欲しいと要望があり、この要望と前記した岩沼委員と小林委員の発刊時期についての意見を踏まえ、松本委員長が来年の4月にも追加注文を受けると回答した。

・次回開催予定について

第3回会則委員会 10/19(木) 10:00-12:00

⑤ 閉会挨拶

中谷副委員長より閉会の挨拶。

2023年9月21日

議事録作成人

MD332 会則委員会委員長 荒川 友成

MD336 会則委員会委員長 松岡 諒

議事録署名人

一般社団法人日本ライオンズ 会則委員会委員長 松本 宰史

ライオン誌日本語版委員会 新旧合同会議 2023-24年度第1回会議 報告書

日 時：2023年8月9日(水) 10:00～12:00

場 所：一般社団法人日本ライオンズ ウェブ会議システム・Zoom

出席者：国際理事 濱野 雅司 (埼玉県・岩槻ライオンズクラブ)
国際理事 城阪 勝喜 (大阪港ライオンズクラブ)

【2022-23年度】

委員長 玉浦 巖 (336複合地区/広島県・三原浮城ライオンズクラブ)
編集長 団 英男 (335複合地区/兵庫県・神戸みなとライオンズクラブ) ※
委員 本所 光男 (331複合地区/北海道・室蘭東ライオンズクラブ)
委員 藤谷 文雄 (332複合地区/秋田県・大曲ライオンズクラブ) ※
委員 矢内 久男 (333複合地区/群馬県・高崎和田ライオンズクラブ)
一般社団法人理事長 村木 秀之 (東京数寄屋橋ライオンズクラブ)
一般社団法人副理事長 古川 隆 (福岡博多みらいライオンズクラブ)
PRマーケティング委員長
一般社団法人常務理事 増澤 義治 (334複合地区議長/長野県・諏訪湖ライオンズクラブ) ※
PRマーケティング副委員長
ITアドバイザー 荘 英隆 (東京恵比寿ライオンズクラブ)

【2023-24年度】

委員 田中 明 (330複合地区/和光ライオンズクラブ)
委員 馬場 哲也 (331複合地区/北海道・函館東ライオンズクラブ)
委員 藤谷 文雄 (332複合地区/秋田県・大曲ライオンズクラブ) ※
委員 三枝 久夫 (333複合地区/栃木県・佐野西ライオンズクラブ)
委員 増澤 義治 (334複合地区/長野県・諏訪湖ライオンズクラブ) ※
一般社団法人専務理事/PRマーケティング委員長/事務長
委員 団 英男 (335複合地区/兵庫県・神戸みなとライオンズクラブ) ※
委員 上田 隆政 (336複合地区/広島県・三原ライオンズクラブ)
委員 澗野二三世 (337複合地区/大分ライオンズクラブ)
一般社団法人理事長 田名部智之 (青森県・八戸ライオンズクラブ)
一般社団法人常務理事 星野 勝美 (群馬県・太田ライオンズクラブ)
PRマーケティング副委員長

欠 席：国際理事 鶴嶋 浩二 (北海道・札幌中島ライオンズクラブ)
元国際理事 藏 大介 (石川県・金沢伏見ライオンズクラブ)
元国際理事 永田 賢司 (京都洛陽ライオンズクラブ)
22-23年度委員 金子 義人 (330複合地区/埼玉県・さいたま南ロイヤルライオンズクラブ)
22-23年度委員 檀原 保雄 (334複合地区/長野県・佐久ライオンズクラブ)
22-23年度委員 富永 健司 (337複合地区/大分県・中津ライオンズクラブ)

※新旧両年度に所属



新年度第1回会議の開催に当たり、招集者である一般社団法人日本ライオンズの田名部理事長からあいさつがあり、「一般社団法人日本ライオンズの大きな役割の一つであるライオン誌を、安定的、独立的に会員の皆さんに届けることの重要性はよく理解している。現在、社団の大きな問題点の一つにライオン誌の問題があり、これを今年度中に前向きに解決して、ライオン誌が継続して安定的に発行され、ますます充実した情報発信の役割を担えるように努力したい。ライオン誌日本語版委員会の他にライオン誌検討委員会を設けており、解決に向けてしっかりと取り組んでいく。社団ではさまざまな改革に着手しており、社員総会における決定に沿いつつ、ライオン誌の編集においては独立性がしっかり担保されるようにし、委員会の皆さんとよく連絡を取り合って前向きに進んでいきたい」と述べた。続いて、ボストン国際大会で就任された濱野、城阪両国際理事、社団の村木前理事長からあいさつがあり、玉浦2022-23年度委員長から出席者の紹介があった後、2022-23年度委員会の議事に入った。

【議事】

■2022-23年度委員会

1. ライオン誌日本語版の運営

●2022年7月～23年6月ライオン誌関係会計報告

社団の2022-23年度正味財産増減計算書を資料とし、ライオン誌関連科目を確認した。国際協会補助金の年間収入は21,849,035円で、円安の影響もあり予算執行率107.0%となった。ライオン誌送料収入は15,913,162円・予算執行率68.0%だが、印刷版6回発行分の予算に対して実際の発行回数は4回だったので妥当な執行率である。直接出版費の執行額は31,031,287円で、同様の理由で執行率は70.5%だった。毎月発行のウェブマガジンは、印刷版の発行回数減少に伴って更なる充実を目指したため、改修費用が予算の1.3倍に膨らんだ。一方、旅費交通費及び原稿料・編集費が抑えられたことから、デジタル版関連費全体では8,313,789円（同91.5%）と予算内に収まった。ライオン誌委員会は対面で2回開催し会議費用は354,000円（同56.2%）だった。全体として、予算に沿って運営されたことを確認した。

●2022-23年度下半期ライオン誌補助金

7月14日に2022-23年度下半期国際協会補助金10,660,127円が振り込まれたことを確認した。

2. ウェブマガジン編集関係

●2023年7月号（7月1日公開）出来

●2023年8月号（8月1日公開）出来

公開済みの7月号及び8月号について出席者に意見を求め、出来を確認した。

3. 印刷版編集関係

●2023年夏号(7月28日発行/80,200部)出来

団編集長から夏号に掲載した主な記事が紹介された後、出席者に意見を求め、出来を確認した。

4. その他

●2023-24年度委員会への引き継ぎ事項

玉浦委員長から、2023-24年度委員会への引き継ぎ事項4件のうち、国際協会の公式版として理事会方針書に則って委員会を運営するための会計及び組織の分離や、過去の余剰金の取り扱いを社団理事会と交渉するとした3件について説明があり、出席した委員全員の賛同を確認。これら3件の解決に向けて、ライオン誌日本語版委員会内に「ライオン誌改革委員会」を設置すること、その委員を2023-24年度委員長・編集長と、過去の経緯・経過を知る委員長経験者3名、編集長経験者3名にすることに委員全員が賛同した。

この引き継ぎ事項について城阪国際理事から、理事会方針書に組織や会計を分離すべきという主張の根拠となる記載は見当たらず見解の相違があること、過去の決定事項を覆す内容であることなど疑問が呈され、次年度へ引き継ぐことには問題があるのではないかとの意見が示された。これに対して玉浦委員長から、城阪国際理事の指摘を含めて次年度委員会で議論してほしいと理解を求めた。

2022-23年度委員会で決定した通り、引き継ぎ事項4項目を次年度へ申し送る。

2022-23年度委員会の議事終了後、同年度委員は会議室を退出。2023-24年度委員長の選出まで前年度玉浦委員長が議事進行を担い、委員長選出後、新年度委員長の進行で議事を進めた。

【議事】

■2023-24年度委員会

5. 2023-24年度ライオン誌日本語版委員会委員長、編集長選出

玉浦前委員長から、理事会方針書第16章に則り委員長は委員会メンバーの中から選出することを説明。委員の中から2名の立候補があった。委員長選出について、社団の田名部理事長から次の発言(要旨)があった。

「昨年度、社団のPRマーケティング委員長、ライオン誌日本語版委員長、

ライオン誌編集長の3人の長がいることで混乱を招き、対立の構造を生むなどの弊害があった。そこで昨年度、PRマーケティング委員会の副委員長が翌年度には委員長となり、ライオン誌日本語版委員会の委員長を兼務することが望ましいと決議した。ライオン誌の公平性・独立性を担保するために編集長は委員会の互選で選び、委員長は一本化する改革を進めてはどうか」との提案があった。

これを受けて委員長の選出方法について協議し、過半数の委員の賛同により選挙で選ぶことを決定。挙手による投票の結果、2023-24年度委員長に332複合地区の藤谷委員を選出した。編集長については、藤谷委員長から団委員の推薦があり、過半数の委員の賛同により2023-24年度編集長に335複合地区の団委員を選出した。

6. ウェブマガジン編集関係

●2023年9月号(9月1日公開) 予定(案)

前年度委員会で取材記事の内容、経費概算の承認を受け、予定通りに2件の取材を行い、編集作業を進めていることを確認。「編集室」の原稿は藤谷委員長が担当する。

●2023年10月号(10月1日公開) 予定(案)

●2023年11月号(11月1日公開) 予定(案)

各号の主要コンテンツについて、活動概要や記事の内容、外注経費が提出され、承認した。

●「取材レポート」取材対象候補

9月号から12月号までの「取材レポート」対象候補に挙げた奉仕活動のリストを確認。12月号の取材対象は次回委員会で検討する。

7. 印刷版編集関係

●2023年秋号(10月25日発行) 台割(案)

基本36ページ建ての台割案を確認した。特集ではウェブマガジン9月号で取材した富山昭和LCのライオンズクエスト推進活動を取り上げる。「国際理事だより：鶴島国際理事」、「編集室：藤谷委員長、田中委員」。

8. 主要記事予定

●2023-24年度主要記事予定

今年度の印刷版及びウェブマガジンの主要記事予定を確認した。

●2023年8、9月取材経費

8、9月に予定している経費概算が提出され、承認した。

9. その他

●2023年クラブ・アンケート

各クラブの前年度会員動静や今年度の活動予定に関する情報を収集し編集資料とするため、毎年年度始めに全クラブを対象に行っているクラブ・アンケートの内容を確認し、今年度も実施することを決定した。アンケートはServannA（サバンナ）のアンケート機能を使用して実施。各地区に協力を依頼し、クラブ宛アンケート協力依頼メールの転送をお願いする。

●ServannA（サバンナ）関係

地区版サバンナの運用サポート及びライオン誌版サバンナの運用を円滑に進めるため、L荘英隆（東京恵比寿LC）にライオン誌ITアドバイザーとして協力を依頼することとし、本人の承諾を得た。

●ライオン誌出版物

ライオン誌日本語版委員会が製作し頒布している『ライオンズスクール初級編～ライオンズクラブ入門』（第4版3刷・2023年4月3,000部発行）の残部が120部ほどになっている。各委員に1部ずつ配布して内容を確認した上、次回委員会で今後の発行について検討する。

2023-24年度委員会の議事終了後、出席者から意見の発表や質問があった。発言の要旨とやりとりは以下の通り。

○城阪国際理事の発言

「2023-24年度委員会が引き継いだ事項の中には、私から見ると議論の必要がない事項が含まれており、国際協会に確認すれば明快に解決する項目もあると思われる。委員会から国際協会へ質問したい項目を挙げ、10月の国際理事会までに藤谷委員長から提出してほしい」

「理事会方針書16章に『編集者の任期は最低1年で、最高3年である』というルールがあり、団編集長はこれに抵触する恐れがあるので、確認する必要があるのではないか」

上記2点のうち編集者の任期について、藤谷委員長から「任期に関しては指摘された箇所が続いて『編集者は再度任命を受けることができる』との記載があるため、何ら問題はない」との回答があった。

○濱野国際理事の発言

「前年度委員会からの引き継ぎ事項に関して、既に社団の中に含まれているライオン誌委員会の組織や会計を分離することは難しいと考える。理事会方針書に従って独立性を保つ必要はあり、ライオン誌に関する決定権は委員会にあるべきだろう。また会計については、今後仮に、国際協会補助金から余剰金が出る事態になった場合、社団の費用になることのないよう、ライオン誌余剰金として取り扱う必要があるのではないか。現在ある余剰金については、同一事務所にある社団とライオン誌の固定費は共通で

あることから分ける必要はないと考える」

○渕野委員の発言

「引き継ぎ事項については、これまでの委員会運営の中で疑問に思ったこと、解決出来なかったことが次年度に引き継がれたもので、それを議論していくことは重要であり、大変だとは思わない。『すでに決まったことだから蒸し返す必要はない』ということではない。今の時代に合わせて新しい委員が『見直し』を行っていくことが必要である。ライオン誌日本語版委員会が社団の支配下にあるのか、新任の委員としてまだ分からないこともあるが、今日の議論を聞き、ライオン誌が公式版であることを考えれば、国際協会の支配下にあると捉えるのが正しいのではないかと考えている」

○星野PRマーケティング副委員長の発言

「PRマーケティング委員会の増澤委員長はライオン誌委員でもあるが、副委員長の私はどのような立場なのか、オブザーバーならば今後は意見を述べるのみにするので、そこを明確にしてほしい」

これに対して藤谷委員長から「職権委員の国際理事と8人の委員以外はオブザーバーとしての参加となる」と回答があり、田名部理事長からは「社団の理事会で決議したこととは異なり、他の委員会と違う動きで今日の会議が進んでいるので、後ほど委員長、編集長との話し合いが必要だと思う。本来は、星野副委員長にはオブザーバーではなく副委員長として会議に出席していただくべきだが、今日の会議では違った進み方になっている」とのコメントがあった。

次回会議は9月6日（水）に日本ライオンズ事務所で対面での会議を行うことを決定した。会議日程について城阪国際理事から、国際理事は多忙につき調整が困難なため、委員の都合によって決定してもらい、その日に都合がつく国際理事が出席するようにしたい、との発言があった。

閉会あいさつ 田名部理事長

【次会委員会開催予定】

9月6日（水） 14:00～16:30 第2回会議 日本ライオンズ事務所（Zoom併用）

2023-24年度ライオン誌日本語版委員会 第2回会議

日 時：2023年9月6日(水) 14:00～16:30

場 所：一般社団法人日本ライオンズ／Zoom併用

出席者： 国際理事	鶴嶋 浩二 (北海道・札幌中島ライオンズ [㊤])
国際理事	濱野 雅司 (埼玉県・岩槻ライオンズ [㊤])
国際理事	城阪 勝喜 (大阪港ライオンズ [㊤]) ※Zoom出席
委員長	藤谷 文雄 (332複合地区／秋田県・大曲ライオンズ [㊤])
編集長	団 英男 (335複合地区／兵庫県・神戸みなとライオンズ [㊤])
委員	田中 明 (330複合地区／埼玉県・和光ライオンズ [㊤])
委員	馬場 哲也 (331複合地区／北海道・函館東ライオンズ [㊤]) ※Zoom出席
委員	三枝 久夫 (333複合地区／栃木県・佐野西ライオンズ [㊤]) ※Zoom出席
委員	増澤 義治 (334複合地区／長野県・諏訪湖ライオンズ [㊤])
一般社団法人専務理事／PRマーケティング委員長／事務長	
委員	上田 隆政 (336複合地区／広島県・三原ライオンズ [㊤])
委員	湖野二三世 (337複合地区／大分ライオンズ [㊤])
一般社団法人理事長	田名部智之 (青森県・八戸ライオンズ [㊤])
一般社団法人常務理事 PRマーケティング副委員長	星野 勝美 (群馬県・太田ライオンズ [㊤])



藤谷委員長の開会あいさつの後、鶴嶋、濱野、城阪各国際理事、社団の田名部理事長、星野常務理事からあいさつがあり、続いて委員による自己紹介を行った。また、藤谷委員長から事務局のライオン誌担当職員3名、団編集長から奉仕活動取材と印刷版レイアウト等を外注している株式会社CUBE担当者の紹介があった。その後、藤谷委員長と団編集長の進行で議事に入った。

【議事】

1. ライオン誌日本語版の運営

●国際協会提出用2022-23年度下半期収支計算報告書

公式版ライオン誌が国際協会から補助金を受けるために、半期ごとの収支報告書提出が義務付けられている。会計担当が作成した2022-23年度下半期報告書【案】を確認した。【案】は国際協会からの収入に対し、印刷版及びデジタル版ライオン誌の発行・発送とライオン誌委員会の旅費のみを支出として補助金を使い切ったことを報告するもので、社団では2019年度まで

はライオン誌部門の収支を分けた会計処理を行っていたが、会計の一本化により職員経費と事務経費を算出出来なくなり、以後は明確にライオン誌の支出と分かる費用のみ記載しているとの説明があった。これについて鶴嶋理事から、ライオン誌業務に携わる2.5人分の職員経費は記載すべきであり、委員会として今後はライオン誌発行にかかる年間経費を明確にした上で予算を立てる必要があるとの指摘を受けた。報告書の該当箇所を訂正して提出することを決定した。

●2023-24年度一般社団法人日本ライオンズ予算

8月8日の第1回社員総会で承認された一般社団法人日本ライオンズ2023-2024年度予算を資料に、ライオン誌関連の予算を確認した。

●2023年7月ライオン誌関係会計報告

社団の2023-24年度正味財産増減計算書（2023年7月分）を資料とし、ライオン誌関連科目を確認した。この時点では国際協会補助金等の今年度収入は未入。7月は印刷版が発行されたため直接出版費は8,475,051円（予算執行率26.7%）、毎月発行のデジタル版関連費は269,060円（同3.9%）が発生した。全体として、予算に沿って運営されていることを確認した。

2. ウェブマガジン編集関係

●2023年9月号（9月1日公開）出来

公開済みの9月号について出席者に意見を求め、出来を確認した。9月に行われるシーハンLCIF理事長公式訪問は、15日札幌での公式訪問を馬場委員が取材を担当する。

●2023年10～12月号更新予定(案)

10～12月号の主要コンテンツについて、活動概要や記事の内容、取材経費が提出され承認した。10月号では、9月29日に東京で開かれるシン国際第2副会長ミッション1.5セミナーの取材を田中委員（330複合）が担当する。編集室担当は田中委員。11月号の編集室は、印刷版のローテーションとの兼ね合いでウェブのみの掲載で、担当は三枝委員。12月号では、マニラ・フォーラム（11月2～5日）のレポートを掲載。また、11月2日に福岡で開催される一般財団法人日本ライオンズの第2回全国特別支援学校フットサル大会の取材を渕野委員（337複合）が担当することにした。また増澤委員（334複合）から、11月18～19日に開催されるSON冬季ナショナルゲームのレポートを、334複合地区で用意したいとの申し出があった。

これまで編集担当職員を派遣していた取材を、取材先がある複合地区の委員が担当することにより経費削減を図る。取材担当委員への往復交通費の支給が認められるよう、日本ライオンズへ要望する。

地区から寄せられる取材依頼や記事掲載依頼について検討。全ての取材依頼に応じることは出来ない上、複数の依頼があった際に特定の地区のみを選ぶの

は困難であること、また経費削減にもつながることから、複合地区及び地区の活動についてはライオン誌による取材は行わずに投稿をお願いする。これについて、複合地区及び地区へ周知するよう日本ライオンズへ要望する。

- 「取材レポート」取材対象候補

取材対象候補に挙げたクラブ・アクティビティのリストを確認した。

3. 印刷版編集関係

- 2023年秋号(10月25日発行)台割(案)

基本36ページの台割案を確認した。「国際理事だより：鶴嶋国際理事」「日本ライオンズ情報：田名部理事長」「編集室：藤谷委員長、田中委員」。この号には、シーハンLCIF理事長公式訪問と、シン国際第2副会長ミッション1.5セミナーの記事は半ページずつ1ページにまとめ掲載。また、LCIF大災害援助交付金による2019年台風19号復興支援事業に関する報告記事を1ページで掲載する。これら2ページ分を追加するために「海外の活動」を休載するなど調整を加える。

- 2024年冬号以降の誌面構成・企画

団編集長から「冬号以降の誌面構成や企画に今年度委員の意見を反映させるため、各委員が次回委員会に意見を持ち寄ってほしい」との要請があった。また投稿を促進するために各複合地区ガバナー協議会などで呼びかけを行うこと、LINE登録者1万人を目標に働きかけを行うことを申し合わせた。

4. 主要記事予定

- 2023-24年度主要記事予定

今年度の印刷版及びウェブマガジンの主要記事予定を確認した。

- 2023年9～11月取材経費概算

9～11月に予定している取材5件の経費概算が提出され、承認した。今後の取材については、委員や各地区で写真などのスキルを持つメンバーで対応する方法を検討していく。

5. 2022-23年度からの引き継ぎ事項

藤谷委員長から「委員会前に行った社団の田名部理事長、増澤専務理事との話し合いで、田名部理事長から昨年度に続きライオン誌検討委員会を設けて問題を解決したいとの意向をうかがっており、当委員会としてもその方向で進めていただきたい」と述べて理解を求めた。

6. その他

- ライオン誌編集者ウェビナー

国際本部から、日本時間の10月4日と5日の2回開催するライオン誌編集

者（長）ウェビナーの案内が届き、いずれかの回に出席するよう連絡を受けた。4日8:00～9:30の回に団編集長が出席する。

●ライオン誌出版物

残部わずかとなった『ライオンズスクール初級編～ライオンズクラブ入門』（第4版3刷・2023年4月 3,000部発行）の発行について検討し、今後はPDF版として無償配布することを決定。PDF版の発行に向けて委員による改訂作業を進める。

●ServannA（サバンナ）関係

国際協会は近く、MyLCIから新しいデジタルツールLion Portalへの移行を予定している。これに伴いMyLCIとサバンナの連動が変更された場合、全35地区版サバンナとライオン誌版サバンナに影響が生じることになる。そこで社団の田名部理事長とライオン誌委員会の藤谷委員長の連名でOSEAL調整事務局へ、変更の有無、内容について文書で問い合わせることを決定した。

●ライオン誌公式SNS

ライオン誌公式アカウントの登録者数を確認した。昨年度に引き続きLINE登録者の増加に向けて努力する。

●2023年クラブ・アンケート経過報告

9月8日締切で実施中のクラブ・アンケートの途中経過の報告を受けた。9月5日時点で回答率46.8%。締切後に編集部で集計を行い、結果を確認する。

閉会あいさつ 藤谷委員長

【次回開催予定】

10月6日（金）14:00～16:00 第3回会議（ウェブ）

2023-24年度ライオン誌日本語版委員会 第3回会議 報告書

日 時：2023年10月6日（金）14:00～16:00

場 所：一般社団法人日本ライオンズ ウェブ会議システム・Zoom

出席者： 国際理事	濱野 雅司（埼玉県・岩槻ライオンズクラブ）
国際理事	城阪 勝喜（大阪港ライオンズクラブ）
委員長	藤谷 文雄（332複合地区／秋田県・大曲ライオンズクラブ）
編集長	団 英男（335複合地区／兵庫県・神戸みなとライオンズクラブ）
委員	田中 明（330複合地区／埼玉県・和光ライオンズクラブ）
委員	馬場 哲也（331複合地区／北海道・函館東ライオンズクラブ）
委員 一般社団法人専務理事／PRマーケティング委員長／事務長	増澤 義治（334複合地区／長野県・諏訪湖ライオンズクラブ）
委員	上田 隆政（336複合地区／広島県・三原ライオンズクラブ）
委員	渕野二三世（337複合地区／大分ライオンズクラブ）
ITアドバイザー	莊 英隆（東京恵比寿ライオンズクラブ）
欠席者： 国際理事	鶴嶋 浩二（北海道・札幌中島ライオンズクラブ）
委員	三枝 久夫（333複合地区／栃木県・佐野西ライオンズクラブ）
一般社団法人常務理事 PRマーケティング副委員長	星野 勝美（群馬県・太田ライオンズクラブ）



藤谷委員長の開会あいさつの後、濱野、城阪各国際理事からのあいさつに続いて、藤谷委員長と団編集長の進行で議事に入った。

【議事】

1. ライオン誌日本語版の運営

●2023年7～8月ライオン誌関係会計報告

社団の2023-24年度正味財産増減計算書を資料とし、ライオン誌関連科目を確認した。8月はライオン誌印刷版の発行がなかったため、直接出版費は執行額8,501,187円（予算消化率26.7%）で先月からほぼ変動なし。毎月発行のデジタル版関連費は2回発行完了時点で執行額809,793円（同11.6%）で、予算に沿って運営されていることを確認した。

●国際協会提出の2022-23年度下半期収支計算報告書

第2回委員会の決定に沿い、国際協会へ2022-23年度下半期収支計算報告書

を提出したところ、国際本部の担当者から「国際理事会（2023年3月）の決定により、収支報告書の提出は不要になった」との連絡があった。しかし理事会決議が反映された理事会方針書（2023年7月更新版）では、報告書式の指定のみが削除されて、収支報告を半期ごとに提出しなければならないと記載されている。城阪国際理事の助言により、ライオン誌委員長及び編集長から本部担当者へ報告書提出の可否を改めて問い合わせることにした。

第2回委員会で上記報告書について検討した際、鶴嶋国際理事から、職員経費や事務費を含めた年間経費を明確にして委員会でライオン誌発行の予算を立て、その範囲内で発行すべきとの指摘があった。これを受けて藤谷委員長から社団専務理事である増澤委員へ、ライオン誌経費を分けて算出できるようにするため、事務費等の負担率を示してほしいとの要望が出された。これに対し増澤委員から、社団の会計顧問と相談しているところであり、ライオン誌検討委員会で協議すべき事項であるとの回答があった。藤谷委員長が各委員に意見を求めたところ、「会計に関することは明確にした方がよい」「国際協会と社団、ライオン誌委員会の関係が分かりにくく、整理する必要がある」などの意見が出た。これらの意見を踏まえて藤谷委員長から、ライオン誌検討委員会で今期中の問題解決に向けて取り組みたいとの発言があった。

2. 2023-24年度編集長方針

●2023-24年度編集長方針

団編集長から2023-24年度編集長方針が示され、説明があった。編集長方針7項目の概要は以下の通り。

- ①印刷版は年4回発行を継続
- ②ウェブマガジンは年12回発行の他、投稿記事やニュース記事は随時更新
- ③「取材レポート」は編集部及び外部プロダクションを活用する他、可能な場合は委員が取材を担当。「投稿レポート」の投稿促進を図る
- ④ウェブマガジン「編集室」（12回）は委員8人の輪番と、残る4回は有志が原稿を担当
- ⑤国際協会やOSEAL、日本ライオンズ関連の取材は委員が担当し、取材旅費は日本ライオンズの承認を得て編集費から支出
- ⑥複合地区・地区から取材の依頼があった時は当該のMC委員会に原稿及び写真の投稿を依頼
- ⑦LINE公式アカウントの登録者数1万人を目指してウェブマガジンの閲覧数をアップさせる

●ライオン誌編集者ウェビナー

10月4日に行われた国際協会によるライオン誌編集者ウェビナーについて、参加した団編集長からプレゼンテーション資料を共有しながら報告があった。主な内容は以下の通り。各項目について濱野国際理事から追加の情報提供を受けた。

- 新たなマスターブランドの「ライオンズ・インターナショナル」導入が始まり、国際協会ウェブサイトやライオン誌本部版に順次反映されている
- 国際協会ウェブサイトにもミッション1.5のウェブページが開設された。ミッション1.5促進のために8ページの記事配信を予定
- 国際大会のウェブページが刷新され、英語の名称やハッシュタグが変更された
- パティ・ヒル国際会長が重点を置く環境に関するクラブの奉仕活動のストーリーと写真を本部へ寄せてほしい

3. ウェブマガジン編集関係

- 2023年10月号(10月1日公開) 出来

公開済みの10月号の出来を確認した。

- 2023年11月号～24年1月号更新予定(案)

11月号～24年1月号の主要コンテンツについて、活動概要や記事の内容、取材経費が提出され承認した。11月号には、10月開催の国際理事会について国際理事3人にウェブマガジンのみに掲載する「国際理事だより」の執筆をお願いする。12月号では、マニラ・フォーラム(11月2～5日)の取材を増澤委員(334複合)が、一般財団法人日本ライオンズの第2回全国特別支援学校フットサル大会(11月3～4日/福岡市)の取材を渕野委員(337複合)が担当する。

SON冬季ナショナルゲーム(11月18日～24年2月25日)の記事掲載について検討。開会式(18日/長野市)を増澤委員(334複合)が取材し、それに続く協議と併せて12月号に掲載。2月に北海道名寄市及び長野市で行われる競技や閉会式は2月号または3月号に掲載。名寄市での写真や情報は馬場委員(331複合地区)が手配する。印刷版では大会レポートを1本の記事にまとめて春号に掲載する。

- 「取材レポート」取材対象候補

取材対象候補に挙げたクラブ・アクティビティのリストを確認した。

4. 印刷版編集関係

- 2023年秋号(10月25日発行) 台割

台割に基づいて編集を進めている秋号再校を確認した。「国際理事だより：鶴嶋国際理事」「日本ライオンズ情報：田名部理事長」「編集室：藤谷委員長、田中委員」。シーハンLCIF理事長公式訪問とシン国際第2副会長ミッション1.5セミナーの記事と、LCIF交付金による2019年台風19号復興支援事業の記事を各1ページで掲載するため、「海外の活動」を休載し、「獅子吼」を1ページ減らして3ページとした。

印刷版の編集においては、ライオン誌担当職員の減員をレイアウトと校正を外部へ委託することで補ってきたが、経費削減を踏むため、秋号からは校正については委員と職員で行い、外部委託はしないことにした。

5. 主要記事予定

●2023-24年度主要記事予定

今年度の印刷版及びウェブマガジンの主要記事予定を確認した。

●2023年11月取材経費概算

11月に予定している取材1件の経費概算が提出され、承認した。

6. その他

●ライオン誌出版物

前回委員会でPDF版配布への切り替えを決めた『ライオンズ・スクール初級編～ライオンズクラブ入門』の在庫が無くなったため、速やかに改訂作業を進める。委員会終了後、PDF版用に一部レイアウト等を変更したものを委員8人に配布し、各自が内容を検討する。また、「ライオンズ・スクール」は以前、初級編・中級編・上級編があったが、中級と上級は既に絶版となっているため、タイトルから「初級編」を削除する。

●ServannA（サバンナ）関係

第2回委員会の決定に沿い、国際協会の新しいデジタルツールLion Portalへの移行に伴うサバンナへの影響について、社団の田名部理事長とライオン誌の藤谷委員長の連名による文書で、OSEAL調整事務局の佐子マーズ局長へ問い合わせた。これに対してマーズ局長から「本部での移行作業が遅れており、まだ回答出来ることがない」という口頭での説明があったことが、増澤事務長から報告された。荘ITアドバイザーからは「サバンナのシステムを変更することになれば、時間が必要になる。出来るだけ早い段階で情報を得ることが望ましい」という助言があった。

●2023年クラブ・アンケート報告

9月8日締切で実施したクラブ・アンケート（回答率55.5%）の集計結果を確認した。全体の集計結果を印刷版秋号に掲載し、複合地区別の集計結果はウェブマガジン「情報資料」に掲載している。長年継続して調査を行っているもので、濱野国際理事から「過去6年間の退会者の在籍年数を比較すると、5年未満が減少している一方で10～14年が増加している」との指摘と共に、会員減少の理由を探るためにも役立つデータであるとのコメントがあった。アンケートで集まったアクティビティ情報は各委員が確認し、今後の取材や投稿依頼の参考資料として活用する。

閉会あいさつ 藤谷委員長

【次回開催予定】

11月9日（木）14:00～16:00 第4回会議（ウェブ）

献眼運動推進事業報告

令和4年度事業報告

1. 献眼登録者数

	前年度実績	本年度実績	設立からの累計	備考
4月～3月	25名	183名	4,589名	

2. 献眼者

	前年度実績	本年度実績	設立からの累計	備考
4月～3月	4名	2名	97名	

3. 寄付金

ご芳名	金額
ライオンズクラブ国際協会331-B地区士別キャビネット事務局	700,000円
上川中央医師会	50,000円
野村 忠弘	10,000円
合計	760,000円

4. 基金

ご芳名	金額
常呂ライオンズクラブ	745,955円
合計	745,955円

5. 賛助会員（法人・個人）

クラブ名	件数	金額
旭川ライオンズクラブ	27件	106,000円
旭川平和ライオンズクラブ	32件	96,000円
旭川ナナカマドリオンズクラブ	6件	56,000円
釧路みなとライオンズクラブ	1件	30,000円
帯広ライオンズクラブ	3件	30,000円
白滝ライオンズクラブ	3件	16,000円
当麻ライオンズクラブ	2件	13,000円
比布ライオンズクラブ	1件	10,000円
旭川中央ライオンズクラブ	1件	10,000円
北見白樺ライオンズクラブ	3件	9,000円
旭川大雪ライオンズクラブ	1件	3,000円
猿払ライオンズクラブ	1件	3,000円
その他	1件	10,000円
合計		392,000円

令和4年度活動報告書
(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

(単位：円)

科 目	前年度	今年度	摘 要
I 経常収益			
1. 受取寄附金			
受取寄附金	770,000	760,000	ライオンズクラブ 献眼推進費 他
賛助会員収入	305,000	392,000	
2. 受取基金			
受取基金	0	745,955	常呂ライオンズクラブ
3. 事業収益			
角膜幹旋料	300,000	900,000	眼球幹旋料
強膜幹旋料	360,000	120,000	眼球幹旋料
4. その他収益			
受取利息	568	274	利息
アイバンク協会補助金収入	82,150	110,375	献眼啓発普及助成金・WEB会議助成金
雑収入	0	0	
経常収益計(A)	1,817,718	3,028,604	
II 経常費用			
1. 事業費			
眼球輸送費	11,880	3,980	ハイヤー
薬品・医療材料費	584,086	188,214	保存液 他
摘出費	200,000	100,000	摘出謝礼
慶弔費	72,020	74,980	香典 他
通信費	5,987	3,682	切手
印刷費	40,150	48,840	登録票 他
事務委託費	619,373	625,175	ライオンズ事務局・医大眼科秘書
普及啓発費	358,955	622,820	ポスター掲示料・ちらし
什器備品減価償却費	582,166	42,168	パソコン
雑費	0	0	
事業費計(B)	2,474,617	1,709,859	
2. 管理費			
印刷費	52,640	119,380	封筒印刷 他
通信費	71,577	106,072	送料・通話料
備品費	20,000	33,144	アイバンクジャーナル誌
交通費	44,040	37,140	交通費
会議費	57,548	27,548	臨時総会 他
消耗品費	43,418	47,269	事務消耗品 他
諸会費	34,000	40,400	アイバンク協会会費 他
リース料	0	0	
租税公課	0	0	
雑費	73,862	197,907	移転費用・社員香典 他
管理費計(C)	397,085	608,860	
経常費用計(D)=B+C	2,871,702	2,318,719	
当期経常増減額(E)=A-D	-1,053,984	709,885	
III 経常外収益			
1. 固定資産取得の部	0	0	
固定資産受贈益	0	0	
経常外収益計(F)	0	0	
IV 経常外費用			
1. 固定資産取得支出	0	0	
2. 雑損失	0	0	
経常外費用計(G)	0	0	
当期収支額(H)=E+F-G	-1,053,984	709,885	
前期繰越額(I)	23,610,678	22,556,694	
次期繰越額(J)=H+I	22,556,694	23,266,579	

貸借対照表

(令和5年3月31日現在)

(単位：円)

科 目	前年度	今年度	摘 要
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	61,332	38,027	
普通預金	12,495,985	13,127,867	
郵便振替口座	2,175,095	2,318,416	
定期預金	7,782,114	7,782,269	
未収金	0	0	
流動資産合計	22,514,526	23,266,579	
2. 固定資産			
什器備品	0	0	
一括償却資産	42,168	0	
固定資産合計	42,168	0	
資産合計	22,556,694	23,266,579	
II 負債の部			
負債合計	0	0	
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産	23,610,678	22,556,694	
当期正味財産増加額	-1,053,984	709,885	
正味財産合計	22,556,694	23,266,579	
負債及び正味財産合計	22,556,694	23,266,579	

(報告第3号)

ライオンズクラブ国際協会331複合地区
2022-2023年度
一般会計収支報告書
(自2022. 7. 1~至2023. 6. 30)

(単位:円)

支出の部				収入の部			
科 目	予 算 額	執 行 額	予算対比	科 目	予 算 額	執 行 額	予算対比
日本ライオンズ会費	4,880,640	4,922,880	△ 42,240	前年度繰越金	5,877,929	5,877,929	0
会 議 費	1,300,000	1,261,295	38,705	複 合 地 区 費	10,987,920	11,233,620	△ 245,700
旅 費・交 通 費	3,000,000	1,811,092	1,188,908	日本ライオンズ会費	4,880,640	4,922,880	△ 42,240
通 信 費	420,000	236,093	183,907	雑 収 入	100	68,367	△ 68,267
事 務 所 費	2,700,000	2,442,479	257,521				
消 耗 品 費	100,000	56,445	43,555				
交 際 費	50,000	10,000	40,000				
備 品 費	50,000	0	50,000				
印 刷 費	750,000	625,219	124,781				
人 件 費	4,000,000	3,803,200	196,800				
福 利 厚 生 費	500,000	410,124	89,876				
雑 費	200,000	208,637	△ 8,637				
慶 弔 費	400,000	108,000	292,000				
国 際 関 係 費	800,000	368,628	431,372				
退 職 金 積 立	240,000	240,000	0				
予 備 費	2,355,949	291,735	2,064,214				
剰 余 金		5,306,969	△ 5,306,969				
計	21,746,589	22,102,796	△ 356,207	計	21,746,589	22,102,796	△ 356,207

ライオンズクラブ国際協会331複合地区
2022-2023年度
YCE特別会計収支報告書
(自2022. 7. 1~至2023. 6. 30)

支出の部				収入の部			
科目	予算額	執行額	予算対比	科目	予算額	執行額	予算対比
派遣・受入関係	700,000		700,000	前年度繰越金	3,424,349	3,424,349	0
委員会関係	700,000	119,815	580,185	3地区負担金	450,000	450,000	0
事務・通信費	1,000,000		1,000,000	キャンプ負担金	0		0
キャンプ費用	0		0	雑収入	0		0
予備費	1,474,349		1,474,349				
剰余金		3,754,534	△ 3,754,534				
計	3,874,349	3,874,349	0	計	3,874,349	3,874,349	0

ライオンズクラブ国際協会331複合地区
2022-2023年度
レオ特別会計収支報告書
(自2022. 7. 1~至2023. 6. 30)

支出の部				収入の部			
科目	予算額	執行額	予算対比	科目	予算額	執行額	予算対比
レオ支援金	150,000	150,000	0	前年度繰越金	566,845	566,845	0
予備費	716,845	0	716,845	3地区負担金	300,000	300,000	0
剰余金		716,845	△ 716,845				
計	866,845	866,845	0	計	866,845	866,845	0

ライオンズクラブ国際協会331複合地区
2022-2023年度
緊急災害援助資金収支報告書
(自2022. 7. 1～至2023. 6. 30)

(単位:円)

支出の部				収入の部			
科目	予算額	執行額	予算対比	科目	予算額	執行額	予算対比
緊急援助資金	11,203,570	0	11,203,570	前年度繰越金	11,203,570	11,203,570	0
				クラブ拠出金	0	0	0
剰余金		11,203,664	△ 11,203,664	雑収入	0	94	△ 94
計	11,203,570	11,203,664	△ 94	計	11,203,570	11,203,664	△ 94

ライオンズクラブ国際協会331複合地区
2022-2023年度
第69回年次大会特別会計収支報告書
(自2022. 7. 1～至2023. 6. 30)

(単位:円)

支出の部				収入の部			
科目	予算額	執行額	予算対比	科目	予算額	執行額	予算対比
総務部会	400,000	147,710	252,290	前年度繰越金	888,199	888,199	0
代議員部会	250,000	110,000	140,000	複合地区大会費	624,090	624,090	0
式典・懇親会部会	3,600,000	2,443,500	1,156,500	大会登録料	900,000	714,000	186,000
記念誌・記録部会	700,000	734,800	△ 34,800	懇親会登録料	3,000,000	1,992,000	1,008,000
予備費	462,289	0	462,289	雑収入		13	△ 13
剰余金		782,292	△ 782,292				
計	5,412,289	4,218,302	1,193,987	計	5,412,289	4,218,302	1,193,987

ライオンズクラブ国際協会331複合地区
 一般会計・特別会計
 貸借対照表
 (2023年6月30日現在)

(単位:円)

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
現金	199,769	預り金	1,596,591
普通預金(北海道銀行)	10,608,047	退職積立金	3,120,000
普通預金(緊急援助資金)	11,203,664		
普通預金(年次大会)	782,292		
普通預金(退職積立金)	3,120,000	一般会計剰余金	5,306,969
		YCE特別会計剰余金	3,754,534
立替金	7,123	レオ特別会計剰余金	716,845
		緊急災害援助資金	11,203,664
敷金	560,000	大会特別会計剰余金	782,292
合計	26,480,895	合計	26,480,895

ライオンズクラブ国際協会 331 複合地区
2022-2023 年度会計監査報告書

私たちは、331 複合地区 2022-2023 年度会計期間にかかる会計監査
を行い、次のとおり報告します。

1. 監査の方法の概要

会計帳簿並びに関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて、
財務諸表の正確性を検討した。

2. 監査意見

各会計の収支計算書及び貸借対照表は会計帳簿の記載金額と一致して
おり、収支及び財産の状況を示しているものと認めます。

以上

2023年8月3日

ライオンズクラブ国際協会 331 複合地区
2022-2023 年度

複合地区会計監査委員 前野光延 印

複合地区会計監査委員 道下将秀 印

(報告第4号)

2023-2024年度 331複合地区旅費規定

331複合地区ガバナー協議会構成員および各委員会委員の旅費規定は次の通り定める。

- 第1条 331複合地区レベルで開催されるガバナー協議会および各委員会に出席の場合、その他議長の命により出張した場合、別表に基づき、都度支給する。
- 第2条 一般社団法人日本ライオンズ理事会に出席の場合、法人の旅費規程による支給は無い。従って、別表に基づき、都度支給する。
- 第3条 一般社団法人日本ライオンズの各委員会に出席した委員（複合地区委員長）は、法人の旅費規定により支給されるため、直接複合地区からは支給しない。
（一旦、法人が支給し、後日負担金の請求により複合地区が支払う。※プール制）
- 第4条 複合地区内の会議出席の場合は、原則として宿泊費は支給しない。
- 第5条 職員が議長の命および必要に応じ出張した場合の旅費はこの限りではない。
- 第6条 ガバナー協議会議長活動費として、国際大会、東洋東南アジアフォーラム、国際会長公式訪問などに関わる旅費を一部補助する。ただし、総額30万円を上限とする。
- 第7条 本規定に定めない事項については、その都度ガバナー協議会構成員が協議の上決定する。
- 第8条 この規定は、2022年7月1日より適用する。

別 表

交通費	宿泊費補助
道 外（航空機・新幹線） 実費 ただし 上限30,000円	道 外 上限15,000円
道 内（鉄道運賃） 普通車座席指定特急料金の半額	道 内 支給しない

2023-2024 年度 331複合地区慶弔規定

331 複合地区ガバナー協議会の慶弔規定は次の通り定める。

第1条 構成員および役員が結婚の場合、御祝儀20,000円を贈る。

第2条 構成員、役員および親族が死亡した場合

構成員および役員本人 20,000円と供花、弔電

構成員および役員の配偶者 20,000円と供花、弔電

構成員および役員の一親等 10,000円と弔電

第3条 複合地区内の元地区ガバナーが死亡した場合

20,000円と供花、弔電

第4条 構成員および役員が傷病により入院又は自宅加療の期間が2週間を超える場合

お見舞金 10,000円を贈る

第5条 構成員および役員が火災、風水害、地震等の災害にあった場合

被害程度に応じお見舞金を贈る

第6条 この規定に定めのない事項についてはその都度協議の上決定する。

第7条 この規定は、2021年7月1日より適用する。

(報告第5号)

モロッコ大地震・ハワイマウイ島火災に対する地区緊急援助資金の活用について

緊急対応案件との理解の元、「331-B地区緊急援助資金規則」に則り標記のとおり地区緊急援助資金から9月28日、正会員お一人様1,000円、8月末正会員1,796人×1,000円=1,796,000円、OSEAL調整事務局を通じてライオンズクラブ国際協会LCIF財団に寄付する事に致しました事をご報告申し上げます。

また、今回緊急援助資金から拠出されます事から、4月20日開催の第70回地区年次大会におきまして正会員メンバーお一人様1,000円の負担金拠出について議案(次期キャビネットにて次年度資金回収)として提出し、審議する運びとなっておりますのでご了承下さいます様お願い申し上げます。

	SPECIAL REPORTING FORM FOR DESIGNATED FUND DONATIONS For Morocco Earthquake and Hawaii Wildfires 2023 モロッコ大地震・ハワイマウイ島山火事 支援
MD/DISTRICT FORM	

この報告用紙はモロッコ大地震・ハワイマウイ島山火事 支援指定寄付を複合地区・地区としてまとめ報告いただくためのものです。

This form is for MD/District to use for reporting Morocco Earthquake and Hawaii Wildfires 2023.

複合地区/地区名 MD/DISTRICT NAME	331-B eko fujiwara
ローマ字で記入してください	
連絡先 電話番号/Eメールアドレス	0162-73-3161 wlions331b@outlook.jp
銀行振込日 Bank deposit made on	9/28/23

複合地区・地区としてとりまとめてお振込みいただく際には、それぞれに割り当てられたみずほ銀行バーチャル口座の2番をご使用ください。口座番号がご不明の場合にはお問い合わせください。

寄付タイプ	寄付合計額 (日本円)	寄付額 (米ドル 入金額を振込月のライオンズレートで換算した金額を記入してください。)	備考欄
Fund Designation	Donation Amount (JPY)	Donation Amount (USD)	Remarks
モロッコ大地震・ハワイマウイ島山火事 支援指定 Morocco Earthquake and Hawaii Wildfires 2023	¥1,796,000	\$12,304.65	

■ この災害指定で個人寄付をされる場合(個人の寄付実績として記録される寄付)には、通常の寄付書式を使用してください。

その場合、寄付の種類で災害指定寄付を選び、「モロッコ大地震・ハワイマウイ島山火事」または"Morocco Earthquake and Hawaii Wildfires 2023"と備考欄にご記入ください。

■ 災害指定された寄付金は、100%その災害復興のために使用されます。そのため、地区クラブシェアリングのために15%ご使用いただく資金の対象とはなりません。

■ 寄付の内訳(クラブまたは準地区ごと)がある場合には、次ページの内訳表をご使用ください。

お問い合わせ先
OSEAL調整事務局 LCIF課
LCIFTokyo@lionsclubs.org
電話: 050-1791-5824

※事務局記入欄 Notes from OSEAL Office staff to Donor Service Dept.

(添付資料)

2023～2024年度

331-B 地区緊急援助資金規則

第1条 目的

緊急災害その他これに類する応急的援助のため、2003年6月30「」現在の地区運用基金規則による積立金残金総額をもって「緊急援助資金」以下「資金」とい引を設ける。

第2条 資金の調達

1. 資金から生ずる利息は、資金に繰り入れる。
2. 地区のアクティビティの余剰金は、緊急援助資金委員会（以下「委員会」という）の決議により資金に組み入れることができる。
3. 資金の基準額は500万円とし、資金残額が基準額に満たない事態が生じたときは地区大会の決議を経て不足分相当額の拠出を要請することができる。

第3条 援助の対象

援助の対象は、災害援助法を適用され九地区内の災害ならびにこれに準ずる国内および国外の災害のうちから委員会の決議により採択する。

第4条 委員会の構成

緊急援助委員会は、地区ガバナー、第一・第二副地区ガバナー、キャビネット幹事、キャビネット会計、および各ゾーン・チェアパーソンをもって構成し、委員長は地区ガバナーがこれにあたる。

第5条 決定・運用

1. 援助の発案は、委員会構成員が委員長に対して行う。
2. 援助の決定は、委員会構成員の3分の2以上の賛成を要する。但し、特に緊急を要すると委員長が判断した場合、第一・第二副地区ガバナーとの協議により決定し、事後、文書でそれを確認することができる。
3. 援助の金額および方法は、その都度決定する。
4. 援助を受けたクラブ担当のゾーン・チェアパーソンは、速やかにその用途を報告する。
5. 資金が支出された場合、地区ガバナーは、速やかにその内容を各クラブに報告する。

第6条 監査

地区ガバナーは、複合地区会則第2章24条4項に準じて、この資金の会計監査を受け、期末における残高を次期ガバナーに引き継ぐ。

第7条 改廃

本規則の改廃は、地区大会の決議を要する。



稚内CAB第13-1号
2023年9月27日

ライオンズクラブ国際協会 331-B 地区
第一副地区ガバナー L. 伊東 隆志
第二副地区ガバナー L. 大島 尚久

ライオンズクラブ国際協会 331-B 地区
地区ガバナー L. 藤原 回向

緊急援助資金支出の承認について

謹啓 皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、モロッコ大地震・ハワイマウイ島火災に対する地区緊急援助資金の件につきまして、緊急援助資金規則第5条の2に基づいて地区ガバナー・第一副地区ガバナー・第二副地区ガバナーと電話等により協議を行った結果、下記の金額の支出を決定いたしましたので、ご了承の程よろしくお願い申し上げます。

謹白

記

1 金 1,796,000円

- ・ 地区ガバナー L. 藤原 回向
- ・ 第一副地区ガバナー L. 伊東 隆志
- ・ 第二副地区ガバナー L. 大島 尚久

以上



ライオンズクラブ国際協会 331-B 地区
2023-2024 年度 稚内キャビネット事務局
〒097-0022 稚内市中央4丁目15番地16号 道北水産ビル1階
TEL 0162-73-3161 FAX 0162-73-3162
E-mail : wlions331b@outlook.jp

モロッコでの大地震、マウイでの火災—相次ぐ自然災害からの復興支援のため、LCIF 寄付へのご協力を をお願いいたします。

LCIF 理事 鈴木 誓男

日本でも台風と大雨による水害が各地で起こっておりますが、世界各地でも例を見ない多くの自然災害が発生しています。その中で、9月8日モロッコをマグニチュード6.8の大地震が襲い、すでに2000名以上が亡くなったと報道されています。地震が多くなく、発展途上国で人々の生活も苦しいモロッコでは、地震災害の準備がほとんどされておりました。犠牲者の数はまだまだ増え、復興には数年がかかるだろうと予想されています。LCIFはすでに10万ドルの大災害復興支援交付金を交付



し、モロッコの地区にはすでに1万ドルを交付し、地域のライオンズは復興の努力を始めています。今後、長期にわたるアフリカ・ヨーロッパのライオンズによる現地支援のためには、多くの資金を必要としています。



また、先月ハワイ・マウイ島を襲った山火事からの復興もまだまだ時間を要します。LCIFは交付金を通じて支援を継続していますが、完全に焼け落ちた村々が元の暮らしを取り戻すにはこの先長期的な努力と支援が必要です。

この状況に対し、**日本のライオンズ会員の皆様お一人1,000円の寄付をぜひご検討いただきますようお願いいたします。**

クラブごとに寄付をお取りまとめいただき、地区経由で寄付をいただけましたら幸いです。個別の寄付も受け付けます。クラブ用の書式は、追って配信いたします。

皆様の思いやりとご支援に心から感謝を申し上げます。

寄付のお問い合わせ：OSEAL 調整事務局 LCIF 課 LCIFTokyo@lionsclubs.org

R	Z	クラブ名	MJF一括		MJF分割		その他個人		その他クラブ		LCIF合計		期首からの累計		
			件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	
1	1	鋼路	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		白糠	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		標茶	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		鋼路みなと	1	1,000	0	0	0	0	0	0	1	1,000	2	2,000	
		鋼路温泉	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	根室	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		羅臼	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		鋼路ぬさまい	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		中標津	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		鋼路ゆうやけ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
R合計			1	1,000	0	0	0	0	0	0	1	1,000	2	2,000	
2	1	旭川	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		旭川大雪	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		旭川平和	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		当麻	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		愛別	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	東川	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		比布	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		旭川中央	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		富良野	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2,000
		旭川東	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
R合計			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2,000	
3	1	帯広	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		本別	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		十勝池田	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		音更	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		浦幌	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		豊頃	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		寿別	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		帯広かしま	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	帯広中央	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		新得	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		帯広平原	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		鹿追	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		上士幌	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		芽室	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		十勝清水	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		帯広鈴蘭	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
R合計			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
4	1	留萌	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		羽幌	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	32	640	
		留萌みなと	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		遠別	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		増毛	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	2	名寄	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1,000	
		士別	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		美深	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		名寄中央	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		剣淵	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	3	稚内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		稚内オホーツク	1	1,000	0	0	0	0	0	0	1	1,000	1	1,000	
		幌延	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
R合計			1	1,000	44	4,400	0	0	0	0	45	5,400	79	8,040	
5	1	北見	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		置戸	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		遠軽	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		北見白糠	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		湧別	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		紋別オホーツク	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	白滝	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		佐呂間	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		網走	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		美幌	0	0	4	400	0	0	0	0	4	400	7	700	
		津別	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
R合計			2	2,000	19	1,900	0	0	0	0	21	3,900	26	4,404	
地区合計			4	4,000	63	6,300	0	0	0	0	67	10,300	109	16,444	

サバンナ基本集計表 2023年9月度(331-B)

331-B			アクティビティ		労力奉仕		会員異動				家族会員		例会出席率			
地区	R	Z	クラブ名	件数	金額	件数	時間	期首	前月末	入会	退会	当月末	女性	世帯数	子会員数	例会出席率
331-B	1	1	鉦路	1	0	1	54	30	30	0	0	30	7	3	7	100
331-B	1	1	白糠	0	0	0	0	8	8	0	0	8	0	0	0	100
331-B	1	1	標茶	0	0	0	0	32	33	0	0	33	4	4	4	48.2
331-B	1	1	鉦路みなと	3	195,962	2	93	54	55	0	0	55	17	10	15	88.3
331-B	1	1	鉦路湿原	1	50,000	0	0	17	17	0	0	17	1	0	0	100
331-B	1	2	根室	0	0	1	10	36	36	0	0	36	9	5	6	70
331-B	1	2	羅臼	0	0	0	0	15	15	0	0	15	6	6	6	33.3
331-B	1	2	鉦路めさまい	0	0	0	0	70	70	0	0	70	25	20	32	55.2
331-B	1	2	中標津	0	0	0	0	16	16	0	0	16	2	0	0	96.8
331-B	1	2	鉦路ゆうやけ	0	0	0	0	54	53	0	0	53	5	3	3	51.3
			リジョン小計	5	245,962	4	157	332	333	0	0	333	76	51	73	
331-B			アクティビティ		労力奉仕		会員異動				家族会員		例会出席率			
地区	R	Z	クラブ名	件数	金額	件数	時間	期首	前月末	入会	退会	当月末	女性	世帯数	子会員数	例会出席率
331-B	2	1	旭川	0	0	0	0	33	36	0	0	36	14	10	11	88
331-B	2	1	旭川大雪	0	0	0	0	41	41	0	1	40	0	0	0	60.7
331-B	2	1	旭川平和	0	0	0	0	32	32	0	0	32	0	0	0	81.6
331-B	2	1	当麻	0	0	1	3.5	14	14	0	0	14	0	0	0	82.1
331-B	2	1	愛別	2	111,232	1	6	24	24	0	0	24	0	0	0	83.3
331-B	2	1	東川	0	0	0	0	24	29	0	0	29	2	0	0	77.5
331-B	2	1	比布	0	0	0	0	18	17	0	0	17	0	0	0	47
331-B	2	2	旭川中央	0	0	0	0	15	15	0	0	15	3	2	2	100
331-B	2	2	富良野	0	0	0	0	64	64	0	1	63	13	6	6	70.3
331-B	2	2	旭川東	0	0	0	0	19	19	0	0	19	2	1	1	76.4
331-B	2	2	上富良野	3	59,226	0	0	30	31	0	0	31	6	0	0	87.5
331-B	2	2	旭川ナナカマド	0	0	0	0	30	31	0	0	31	1	0	0	100
331-B	2	2	旭川クリスタル	0	0	1	20	14	14	0	0	14	1	0	0	75
331-B	2	2	旭川パーチャル	0	0	1	24	21	21	0	0	21	3	0	0	73.8
			リジョン小計	5	170,458	4	53.5	379	388	0	2	386	45	19	20	
331-B			アクティビティ		労力奉仕		会員異動				家族会員		例会出席率			
地区	R	Z	クラブ名	件数	金額	件数	時間	期首	前月末	入会	退会	当月末	女性	世帯数	子会員数	例会出席率
331-B	3	1	帯広	2	144,152	3	65.5	28	28	1	0	29	6	6	7	79.5
331-B	3	1	本別	1	106,060	1	10	27	27	0	0	27	4	1	1	65.3
331-B	3	1	十勝池田	0	0	1	12	18	18	0	0	18	0	0	0	61.1
331-B	3	1	音更	0	0	2	11.3	44	45	0	0	45	3	0	0	55.5
331-B	3	1	浦幌	0	0	0	0	15	15	0	0	15	0	0	0	53.3
331-B	3	1	豊頃	2	30,000	1	14	21	21	0	0	21	0	0	0	80.9
331-B	3	1	幕別	0	0	1	2	17	17	0	0	17	1	0	0	100
331-B	3	1	帯広かしわ	2	175,384	2	189	25	27	0	0	27	3	0	0	100
331-B	3	2	帯広中央	2	180,000	3	18.5	30	28	0	0	28	5	5	5	62.5
331-B	3	2	新得	0	0	1	4	19	19	0	0	19	0	0	0	83.3
331-B	3	2	帯広平原	1	467,152	1	197	27	27	0	0	27	2	2	2	74
331-B	3	2	鹿追	3	0	1	10	16	18	1	0	19	0	0	0	92.1
331-B	3	2	上士幌	0	0	1	3	16	16	0	0	16	0	0	0	71.8
331-B	3	2	芽室	0	0	0	0	25	25	0	0	25	5	5	5	80
331-B	3	2	十勝清水	2	29,750	2	8	28	28	0	2	26	8	8	8	82.5
331-B	3	2	帯広鈴蘭	2	4,168	2	17	19	19	0	2	17	4	4	4	100
331-B	3	2	帯広さくら	5	10,000	1	34	13	11	0	0	11	11	2	3	90.9
			リジョン小計	22	1,146,666	23	595.3	388	389	2	4	387	52	33	35	
331-B			アクティビティ		労力奉仕		会員異動				家族会員		例会出席率			
地区	R	Z	クラブ名	件数	金額	件数	時間	期首	前月末	入会	退会	当月末	女性	世帯数	子会員数	例会出席率
331-B	4	1	留萌	2	18,248	2	66	23	25	0	0	25	8	5	5	90
331-B	4	1	羽幌	2	1,200,000	0	0	44	45	0	0	45	13	13	13	100
331-B	4	1	留萌みなと	2	1,072,424	2	654	56	56	0	0	56	23	18	20	81.9
331-B	4	1	遠別	0	0	0	0	20	20	0	0	20	2	0	0	23
331-B	4	1	増毛	0	0	0	0	23	26	0	0	26	3	1	1	88.4
331-B	4	2	名寄	1	0	0	0	47	49	0	1	48	6	4	4	90
331-B	4	2	士別	1	30,000	5	26	43	42	0	0	42	2	1	1	63.1
331-B	4	2	美深	0	0	0	0	12	13	0	0	13	0	0	0	80.7
331-B	4	2	名寄中央	1	140,205	1	40	27	27	0	0	27	7	5	6	69
331-B	4	2	剣淵	2	20,000	3	17	18	18	0	0	18	0	0	0	100
331-B	4	3	稚内	2	15,351	2	100	30	30	0	0	30	11	6	6	62.5
331-B	4	3	枝幸オホーツク	2	160,962	0	0	18	18	0	0	18	5	3	3	58.8
331-B	4	3	幌延	2	45,000	1	2	18	18	0	0	18	3	0	0	72.2
331-B	4	3	歌登	1	15,000	0	0	18	17	0	0	17	8	7	7	40
331-B	4	3	猿払	0	0	0	0	24	24	0	1	23	1	0	0	0
331-B	4	3	稚内北斗	1	23,520	2	32	68	74	0	1	73	21	12	20	51.3
			リジョン小計	19	2,740,710	18	937	489	502	0	3	499	113	75	86	
331-B			アクティビティ		労力奉仕		会員異動				家族会員		例会出席率			
地区	R	Z	クラブ名	件数	金額	件数	時間	期首	前月末	入会	退会	当月末	女性	世帯数	子会員数	例会出席率
331-B	5	1	北見	1	100,000	2	76	33	33	0	0	33	3	0	0	100
331-B	5	1	置戸	0	0	0	0	12	13	0	0	13	1	0	0	61.5
331-B	5	1	遠軽	2	1,800,000	1	15	24	25	0	0	25	1	0	0	86
331-B	5	1	北見白樺	4	79,000	4	83	84	84	0	0	84	31	22	24	67.8
331-B	5	1	湧別	1	45,000	2	3	18	18	0	0	18	0	0	0	61.1
331-B	5	1	紋別オホーツク	1	1,803	2	23	26	26	0	1	25	1	0	0	78.8
331-B	5	1	白滝	0	0	2	33	27	27	0	0	27	14	11	12	100
331-B	5	1	佐呂間	0	0	1	1	20	19	0	0	19	3	3	3	67.5
331-B	5	2	網走	2	425,000	3	414	40	41	0	0	41	1	0	0	60
331-B	5	2	美幌	5	158,385	2	116.5	42	42	0	0	42	4	0	0	83.3
331-B	5	2	津別	0	0	1	1	19	19	0	0	19	0	0	0	100
331-B	5	2	北見中央	19	523,379	2	21	39	39	0	0	39	9	6	8	100
331-B	5	2	訓子府	0	0	0	0	19	19	0	0	19	0	0	0	65.7
331-B	5	2	網走桂	2	186,000	1	24	34	34	0	0	34	7	5	5	79.4
331-B	5	2	端野	0	0	0	0	16	16	0	0	16	1	0	0	100
			リジョン小計	37	3,318,567	23	810.5	453	455	0	1	454	76	47	52	
331-B			アクティビティ		労力奉仕		会員異動				家族会員		例会出席率			
地区	R	Z	クラブ名	件数	金額	件数	時間	期首	前月末	入会	退会	当月末	女性	世帯数	子会員数	例会出席率
			合計	88	7,622,363	72	2553.3	2,041	2,067	2	10	2,059	362	225	266	

(報告第7号)

割引会員について

国際理事会会議 決議事項要約(抜粋) P15 参照

3. 国際付則第11条7項を改正し、「準会員」と「名誉会員」の間に「割引会員」を含め、国際協会が提供するいずれかの割引プログラムの結果として会費の割引を受ける会員のために、別個の会員種別を設けることを承認。

この改正は、2024年1月1日から適用される。

割引会員は、新たな会員種別として新たに国際会則上規定されます。公式通達上は、この改正について「新しい会員種別を設けると、地区大会や、複合地区大会、国際大会におけるクラブの代議員総数を、割引会費を支払っている会員の数によって増やすことができなくなる。」とのみ説明されておりましたが、その内容について確認しましたところ、以下の通りです。

■ 「割引会員」は、クラブ会則付則上以下のように定義されます。

割引会員：家族会員、学生会員その他の国際協会のプログラムに参加した結果、割引または減額された国際会費を支払うクラブ会員で、当クラブの会員であることを希望し、かつ割引対象となる基準を満たす会員。その会員資格はクラブ理事会によって確認・承認を受ける。割引会員は地区または国際の役職を務めることが出来るが、その際にはクラブが規定する会費を支払う場合がある。この会費には地区費、国際会費も含まれる。この種別の会員はクラブ代議員を算出する際の母数には含まれない。

さらに、以下の点を確認いたしました。

- 「割引会員」は、上述の通りクラブ理事会の承認を受ければ、クラブ役員、地区役員、国際役員を務めることはできる。
- 「割引会員」は、クラブ代議員を算出する際の母数には含まれないが、割引会員自身がクラブ代議員となって一票を投じることについては制約はなく、代議員となることが出来る。
- 割引会員となるか、クラブ代議員算出の母数となる会員となるかの基準は、12月31日現在の会員名簿に基づいて1月に発行される下半期会計計算書において、請求され支払われた会費が割引会費か否かで決定される。つまり、種別を変更したい場合にはこの時までに変更をする必要がある。

2024年1月1日からの発行に先立ち、10月頃にこの改正についての通知が行われる予定です。

審 議 事 項

(議案第1号)

2023-2024年度

ライオンズクラブ国際協会331-B地区

第70回地区年次大会要綱 (案)

開催地 : 稚内市

開催日 : 2024年4月20日(土)

月 日	時 間	行 事 内 容	開 催 場 所	登 録 料		
4月20日 (土)	12:00~13:00	代 議 員 登 録 受 付	稚内総合文化センター 稚内市中央3丁目 TEL:0162-22-2727	L/LL 5,000円		
	12:15~12:45	資 格 審 査 ・ 議 事 運 営				
		指 名 選 挙 ・ 決 議 正 副 委 員 長 会 議				
	13:00~13:20	代 議 員 総 会				
	13:30~14:10	代 議 員 分 科 会				
	14:20~14:50	代 議 員 再 開 総 会				
	14:00~15:00	大 会 式 典 登 録 受 付				
	15:10~17:00	大 会 式 典				
	17:00~18:00	移 動				
18:00~20:00	開 宴	晩 餐 会	稚内市総合体育館 稚内市富士見4丁目 TEL:0162-28-1111	L/LL 15,000円		

2023-2024年度 ライオンズクラブ国際協会331-B地区 2024. 4. 20(土)
第70回地区年次大会組織表(案)

元 国 際 理 事
L.安井 克之 (旭川東)

大 会 名 誉 顧 問
L.中谷 宣巨 (釧路)
L.若林 輝彦 (美幌)
L.香川 俊雄 (帯広中央)
L.奥山 壽雄 (白滝)
L.山田 正昭 (釧路あさまい)
L.佐藤 信雄 (富良野)
L.安井 克之 (旭川東)
L.井ノ浦 義明 (稚内北斗)
L.山崎 博信 (名寄中央)
L.阿部 昭 (士別)

大会幹事
L.中野 修吾 (稚内北斗)
大 会 副 幹 事
L.藁谷 克行 (稚内北斗)
L.石内 隆則 (稚内北斗)
L.佐藤 堅司 (稚内北斗)
L.鳥取 広志 (稚内北斗)
L.柳浦 政春 (稚内北斗)
L.加賀 浩一 (稚内北斗)
L.永井由美子 (稚内北斗)
L.庄司 明弘 (稚内北斗)

大 会 会 計
L.梅村 俊範 (稚内北斗)
大 会 副 会 計
L.三上 聖二 (稚内北斗)

大 会 会 計 監 査 委 員
L.今村 光壹 (稚内北斗)
L.秋元 正智 (稚内北斗)
L.山本 秀一 (稚内)

大 会 長 ・ 地 区 ガ バ ナ ー
L.藤原 回向 (稚内北斗)

副大会長・第一副地区ガバナー
L.伊東 隆志 (北見)
副大会長・第二副地区ガバナー
L.大島 尚久 (釧路みなど)

大 会 委 員 長
L.岡谷 繁勝 (稚内北斗)

大 会 副 委 員 長
L.寺本 幸男 (稚内北斗)

大 会 委 員
L.戸松 厚 (稚内北斗)
L.富田 伸司 (稚内)
L.石橋美由亀 (枝幸オホーツク)
L.宮本 栄 (幌延)
L.七戸 忠之 (歌登)
L.永井 英俊 (猿払)

大 会 事 務 局 長
L.藤田 隆明 (稚内)

大 会 事 務 局 次 長
L.石井 和雄 (稚内北斗)

大 会 事 務 局 員
L.池田恵美子 (稚内北斗)
田澤恵美子

大 会 部 会					
部会名	業務内容	部会長 ◎グループリーダー	副会長	部員 (案)	
総務	総務・記念誌部会	(稚内北斗) ◎L.永山 彰一	(稚内北斗)L.橋本 弘 (稚内北斗)L.三上 聖二	(稚内北斗)L.澤村 勝幸 (稚内北斗)L.山田 庸徳	
	登録宿泊部会	(稚内北斗) L.越後谷英二	(稚内) L.片野 圭五		
	献血救護部会	(稚内) L.高木 茂樹	(稚内) L.松岡巳代子	(稚内北斗)L.伊坂 雅行	
	交通・駐車場部会	(稚内北斗) L.石川 登夫	(稚内北斗) L.副島 隆	シムルバー人材センター	
式典	運営部会	(稚内北斗) L.徳田 晃一	(稚内北斗) L.森山 憲治	(稚内北斗)L.山本 慎吾 (稚内北斗)L.佐藤百合子 (稚内北斗)L.藤内LC 枝幸オホーツクLC 幌延LC 歌登LC 猿払LC ホストクラブ事務局(6名)	
	会場部会	(稚内北斗) L.森田 正志 (稚内北斗) ◎L.寺本 幸男	(稚内北斗) L.石内 隆則		
	物産・売店部会	(稚内北斗) L.柳浦 政春	(稚内北斗) L.佐藤 堅司	(稚内北斗)L.徳田 晃一 (稚内北斗)L.庄司 明弘	
	接待部会	(稚内北斗) L.出村 文江	(稚内北斗) L.蛭澤 洋子	(稚内北斗)L.永井由美子	
晩餐会	運営部会	(稚内北斗) ◎L.竹井 晃	(稚内北斗) L.小林三代吉 (稚内北斗) L.藁谷 克行	ホストクラブ 稚内北斗LC 稚内LC 枝幸オホーツクLC 幌延LC 歌登LC 猿払LC 稚内北斗LCさいほく支部	
	司会進行部会	(稚内北斗) L.加賀 浩一	(稚内北斗) L.鳥取 広志	(稚内北斗)L.井上 三知 (稚内北斗)L.橋本 健司	
	会場部会	(稚内北斗) L.岸 義雄	(稚内北斗) L.松本 孝幸	(稚内)L.米本 正樹 (稚内北斗)L.杉本 康治 (稚内北斗)L.宇田 一政	
	アクティビティ	L.戸松 厚 L.宮本 栄	L.富田 伸司 L.七戸 忠之	L.石橋美由亀 L.永井 英俊	

2023-2024年度
331-B地区 第70回 地区年次大会収支予算(案)

(2023年7月1日～2024年6月30日)

[収入の部]

(単位:円)

科 目	予 算 額	備 考
地区大会費	4,200,000	200円×12ヶ月×1,750名
大会式典登録料	4,000,000	5,000円×800名
晩餐会登録料	10,500,000	15,000円×700名
出店料	20,000	
収 入 合 計	18,720,000	

[支出の部]

科 目	予 算 額	備 考
総務部会	4,200,000	
大会記念誌部会	1,500,000	
式典部会	2,300,000	
晩餐会部会	10,500,000	
予備費	220,000	
支 出 合 計	18,720,000	

第70回地区年次大会 取引金融機関 (案) について

地 区 年 次 大 会	
金融機関	: 稚内信用金庫 東支店
口 座	: 普通預金 1187638
口 座 名	: ライオンズクラブ国際協会331-B地区
	第70回地区年次大会
	会計 梅村 俊範

(議案第3号)

第70回地区年次大会議事規則(案)

1. 331-B地区第70回地区年次大会は、地区大会に参加した地区ガバナー、前・元地区ガバナー及びクラブ代議員をもって構成する。キャビネット役員は大会に参加し発言する事は出来るが、クラブ代議員でない限り投票する事は出来ない。その他の会員及び同伴者は、大会に参加する事は出来るが、発言したり投票したりする事は出来ない。
2. 有資格代議員(現・前・元地区ガバナー)を除くクラブ代議員はクラブ会長が署名した資格証明書をあらかじめ定められた期限までに資格審査委員会に提出し、資格を確認されなければならない。
3. 大会議長(以下議長という)には地区ガバナー、大会副議長には副地区ガバナー、大会幹事にはキャビネット幹事、大会会計にはキャビネット会計がこれに当たる。議長は、その他の大会役員を任命する。
4. 議長は、下記の委員会及び分科会を設け、その委員長及び副委員長(更に必要な場合は顧問)を任命する。また、委員をキャビネット構成員の中から任命できるが、クラブ代議員でない場合は、司会・記録以外に発言・投票は出来ない。
 - (1) 資格審査委員会
 - (2) 議事運営委員会
 - (3) 指名・選挙委員会
 - (4) 決議委員会

(但し、議長は決議委員会を次の分科会に分けることができる)

第一分科 会計、会則、アラート

第二分科会 国際大会・国際協調、薬物乱用防止・献血献眼、長期計画リサーチ

第三分科会 レオ・青少年育成、YCE、マーケティング・IT、平和ポスターコンテスト
5. 代議員の委員会及び分科会の所属は、議長がこれを定める。
6. 各委員会及び分科会の委員長は、その議事を主導し審査結果を大会に報告する。
7. 決議は全て、出席し投票した代議員全員の過半数をもって決する。可否同数の場合は議長の裁定による。クラブ代議員が投票出来ない時は補欠がこれに代わる。
 - (ア) 議案はあらかじめ文書をもってキャビネットに提出する。キャビネットはそれを

検討の上、大会議案を決定し、大会開催の2週間前までに各クラブに通知する。
それ以外の方法で提出された議案を審議しようとするときは、大会に出席したすべての代議員の3分の2以上の同意を必要とする。但し、その議案は前もって文書で議長に提出しなければならない。

8. 提出理由の説明及び討議は、1人3分を超えてはならない。但し、大会では議長、委員会及び分科会では委員長が特に必要と認めた場合はこの限りでない。
9. 次期地区ガバナー及び次期第一・第二副地区ガバナーの選出は次の方法によるものとし、選挙及び信任投票は指名・選挙委員会が管理する。
 - (1) 次期地区ガバナーの選出
 - (イ) 候補者の無記名信任投票を行う。
 - (ロ) 過半数の得票をもって次期地区ガバナーとする。
 - (ハ) 過半数の得票が得られなかった場合は空席が生じるものとし、国際付則第9条6項(d)が適用される。
 - (2) 次期第一副地区ガバナーの選出
 - (イ) 候補者無記名投票を行う。
 - (ロ) 過半数の得票をもって次期第一副地区ガバナーとする。
 - (ニ) 過半数の得票が得られなかった場合は空席が生じるものとし、国際付則第9条6項(d)が適用される。
 - (3) 次期第二副地区ガバナーの選出
 - (イ) 候補者無記名投票を行う。
 - (ロ) 過半数の得票者をもって次期第二副地区ガバナーとする。
 - (ホ) 過半数の得票が得られなかった場合は空席が生じるものとし、国際付則第9条6項(d)が適用される。
10. 別に定めがない限り、議事手続きは「ロバート議事規則」による。
11. 複合地区内の全ての準地区で一様に可決、あるいは一様に否決された場合は賛・否いずれにせよ複合地区の合意とみなし、複合地区大会では改めて審議しない。
12. 準地区大会の決定が可・否両方に分かれた場合には複合地区大会において改めて審議し、全ての準地区はその決定に従う。

「付則」

その他の代議員の資格については、国際付則第9条3項に準ずる。算定期間については大会準備の都合上、第70回地区年次大会は2024年1月末現在の会員数に基準を変更する。

2023-2024 年度

ライオンズクラブ国際協会 331-B 地区

第 70 回地区年次大会代議員について(案)

【代議員の資格】

1. 地区ガバナー、前・元地区ガバナー
2. 地区内クラブは少なくとも、1年と1日以上在籍している会員10名ごと、及び端数5名以上について、代議員及び補欠各1名を選出できる。

但し、

(イ) 補欠は代議員が欠席した時のみ、その資格を有する。

(ロ) 定義算定の基準日は、大会前月1日付けで、国際本部に記録された会員数とする

3. 新しくチャーターされたクラブ、及び大会開催前に新会員を加えたチャータークラブは、国際本部の記録に従った定数の代議員とする。

上記に該当する会員で、クラブ会長が署名した資格証明書をあらかじめ定められた期限までに資格審査会に提出し、資格を確認された会員が代議員となる。

(注) 副地区ガバナー、ZC、キャビネット幹事、キャビネット会計は代議員とし、上記代議員の枠内でなければならない。

その他詳細は、以下を適用又は準用する。

- ① ライオンズ必携 60 版「国際付則第 9 条第 3 項」
- ② ライオンズ必携 60 版「複合地区会則第 19 条 3 及び 6」
- ③ ライオンズクラブ標準版地区会則第 7 条 2 項及び 3 項

【代議員の登録】

代議員の登録の算定基準日は 2024 年 1 月末現在とする。大会開催が 4 月であり、原則としてその前月すなわち 3 月 1 日に国際協会に記録されている会員数が算定基準であるところ、大会開催準備の都合のため基準を変更する。

代議員選出の際、割引会員は母数に含めない

(議案第4号)

次期地区役員・委員推薦要項(案)について

1. 地区役員、委員は地区ガバナーが任命するものであるが、次期キャビネットの構成を円滑にするために、次の要領によって行う。
2. 地区ガバナーと第一副地区ガバナーは、次期 ZC、地区マーケティング・YCE 委員の推薦を ZC に依頼する。
3. ZC は、地区ガバナー及び第一副地区ガバナーの意を解して、なるべく速やかに ZC で構成するリジョン会議(議長は互選)により役職ごとにクラブを定め、その推薦をクラブ会長に委嘱する。
4. クラブ会長は、理事会において適任者を決定し、2月29日(木)までにライオンズ履歴書を添付し、リジョン会議議長に報告する。
5. リジョン会議議長は推薦内容を確認し、3月4日(月)までに地区キャビネット幹事に報告する。
6. 地区キャビネット幹事は、リジョン会議議長から推薦された次期地区役員、委員の氏名を第一副地区ガバナーに報告する。
7. 第一副地区ガバナーは、リジョン会議議長の推薦を尊重し、地区役員、地区委員長、地区委員を速やかに内定し、国際大会終了後、地区ガバナーに就任した時点でそれぞれの役職を正式に任命する。

(注) 上記役員のうち、次期 ZC については、ライオンズクラブ国際協会標準版地区会則(2023年7月改定)により、次の資格を要します。

1. 所属リジョン又はゾーン内の正クラブの正会員であり、クラブ、本人ともにグッドスタンディングでなければならない。
2. ゾーン・チェアパーソンに就任するまでに、ライオンズクラブ会長の任期を満了するか、過半期務め、ライオンズクラブ理事会メンバーを更に2年以上務めなければならない。
3. 地区ガバナーとして全期または過半の期間務めた経験がない。
4. ゾーンおよびリジョン・チェアパーソンとしてその役職を務められるのは、通算で3年までである。

(議案第 5 号)

次期地区ガバナー立候補者届出について

各クラブ会長、幹事宛

貴クラブ会員で、2024-2025 年度 331-B 地区ガバナーに立候補される方について、下記立候補者届出要領により届出下さいますようお願い致します。

1. 地区ガバナー立候補者資格については、ライオンズクラブ国際協会付則第 9 条第 4 項に定められております。
2. 提出書類は、別紙推薦状ならびに地区ガバナー立候補者届出書とします。
3. 届出先と届出方法
 - ・ 所属クラブより 331-B 地区キャビネット事務局に提出して下さい。
 - ・ 立候補者の在籍クラブが所属するゾーンの ZC にも同文のものを提出して下さい。
 - ・ 封筒には必ず「地区ガバナー立候補者届出書在中」と明記の上、親展書留で郵送して下さい。

*** 提出期限 2023年12月15日(金) 必着 ***

(同日正午を期限としますので、郵便事情を考慮の上、速達などを利用して下さい。)

- ・ その他 立候補者届出は 331-B 地区第 3 回キャビネット会議
(2024 年 2 月 17 日) にて資格審査を行い正式に受理します。

(注) 地区ガバナー立候補者は、ライオンズクラブ国際協会付則第 9 条第 4 項により、次の資格を要します。

1. 所属単一地区又は準地区内の正クラブの正会員であり、クラブ、本人ともにグッドスタンディングであること。
2. 所属クラブ又は所属単一地区もしくは準地区内の過半数のクラブの推薦を受けていること。
3. 現在、所属地区の第一副地区ガバナーを務めている者であること。

ライオンズクラブ国際協会 331-B 地区
地区ガバナー L. 藤原 回向

ライオンズクラブ
会長 L.

推 薦 状

2024-2025 年度 331-B 地区 地区ガバナー立候補者として全会員の
承諾を得て、当クラブ会員 L. _____ を推薦いたします。

2023 年 月 日

第 リジョン 第 ゾーン ライオンズクラブ

会長 ⑩

幹事 ⑩

会計 ⑩

- (注) 地区ガバナー立候補者は、ライオンズクラブ国際協会付則第 9 条第 4 項により、次の資格を要します。
1. 所属単一地区又は準地区内グッドスタンディングの正ライオンズクラブにおけるグッドスタンディングの正会員であること。
 2. 所属クラブの推薦、あるいは所属単一地区又は準地区内過半数のクラブの推薦をうけていること。
 3. 現在、所属地区の第一副地区ガバナーを努めている者でなければならない。

2024-2025年度 331-B地区 地区ガバナー立候補者届出書

上半身・脱帽・写真 (4.0cm×5.0cm)	届出年月日	年 月 日			
	所 属	第 R 第 Z	ライオンズクラブ		
	ふりがな				
	立候補者名	L.			
	生年月日	年 月 日 歳			
	自 宅	〒			
		住 所			
		電 話			
		携 帯			
		E-mail			
勤 務 先	〒				
	住 所				
	勤務先名		役職名		
	電 話				
	E-mail				
ライオン歴 (年度順) ・入会 ・クラブ役職 ・準地区 ・複合地区役員 ・授賞 アワード					
職 歴 主要なものを列記し、 その役職名を併記					
最 終 学 歴	年 月 卒業				
公職・叙勲・賞罰					
家 族 同居家族氏名・続柄 職業・年齢・性別					
現在、主として勤務している法人・団体等の内容 商号、本店、資本金等					
ライオンズクラブ国際協会 331-B地区 地区ガバナー L. 藤原 回向 私儀、ライオンズクラブ国際協会331-B地区 地区ガバナーとして立候補いたしたく、 クラブ推薦状を添え、届出いたします。 ライオンズクラブ 署名 ㊟					

(議案第 6 号)

次期第一副地区ガバナー立候補者届出について

各クラブ会長、幹事宛

貴クラブ会員で、2024-2025 年度 331-B 地区第一副地区ガバナーに立候補される方について、下記立候補者届出要領により届出下さいますようお願い致します。

1. 第一副地区ガバナー立候補者資格については、ライオンズクラブ国際協会付則第 9 条第 6 項に定められています。
2. 提出書類は、別紙推薦状ならびに第一副地区ガバナー立候補者届出書とします。
3. 届出先と届出方法
 - ・ 所属クラブより 331-B 地区キャビネット事務局に提出して下さい。
 - ・ 立候補者の在籍クラブが所属するゾーンの ZC にも同文のものを提出して下さい。
 - ・ 封筒には必ず「第一副地区ガバナー立候補者届出書在中」と明記の上、親展書留で郵送して下さい。

*** 提出期限 2023年12月15日(金) 必着 ***

(同日正午を期限としますので、郵便事情を考慮の上、速達などを利用して下さい。)

- ・ その他 立候補者届出は 331-B 地区第 3 回キャビネット会議
(2024 年 2 月 17 日) にて資格審査を行い正式に受理する。

(注) 第一副地区ガバナー立候補者は、ライオンズクラブ国際協会付則第 9 条第 6 項により次の資格を要します。

1. 所属単一又は準地区内の正クラブの正会員であり、クラブ、本人ともにグッドスタンディングであること。
2. 所属クラブの推薦、あるいは所属単一地区または準地区内の過半数のクラブの推薦を受けていること。
3. 現在、第二副地区ガバナーを務めている者であること。

ライオンズクラブ国際協会 331-B 地区
地区ガバナー L. 藤原 回向

ライオンズクラブ
会長 L.

推 薦 状

2024-2025 年度 331-B 地区 第一副地区ガバナー立候補者として全会員の
承諾を得て、当クラブ会員 L. _____ を推薦いたします。

2023 年 月 日

第 リジョン 第 ゾーン ライオンズクラブ

会長 ⑩

幹事 ⑩

会計 ⑩

- (注) 第一副地区ガバナー立候補者は、ライオンズクラブ国際協会付則第 9 条第 6 項により、次の資格を要します。
1. 所属単一地区又は、準地区内の正クラブの正会員であり、クラブ、本人ともにグッド・スタンディングであること。
 2. 所属クラブ又は所属単一地区もしくは準地区内の過半数のクラブの推薦を受けていること。
 3. 現在、所属地区の第二副地区ガバナーを務めていること。

2024-2025年度 331-B地区 第一副地区ガバナー立候補者届出書

上半身・脱帽・写真 (4.0cm×5.0cm)	届出年月日	年 月 日			
	所 属	第 R 第 Z	ライオンズクラブ		
	ふりがな				
	立候補者名	L.			
	生年月日	年 月 日 歳			
	自 宅	〒			
		住 所			
		電 話			
		携 帯			
	勤務先	E-mail			
〒					
住 所					
勤務先名			役職名		
電 話					
E-mail					
	ライオン歴 (年度順) ・入会 ・クラブ役職 ・準地区 ・複合地区役員 ・授賞 アワード				
職 歴 主要なものを列記し、 その役職名を併記					
最 終 学 歴	年 月 卒業				
公職・叙勲・賞罰					
家 族 同居家族氏名・続柄 職業・年齢・性別					
現在、主として勤務している法人・団体等の内容 商号、本店、資本金等					
ライオンズクラブ国際協会 331-B地区 地区ガバナー L. 藤原 回向 私儀、ライオンズクラブ国際協会331-B地区 第一副地区ガバナーとして 立候補いたしたく、クラブ推薦状を添え、届出いたします。 ライオンズクラブ 署名					

印

(議案第7号)

次期第二副地区ガバナー立候補者届出について

各クラブ会長、幹事宛

貴クラブ会員で、2024-2025 年度 331-B 地区第二副地区ガバナーに立候補される方について、下記立候補者届出要領により届出下さいますようお願い致します。

1. 第二副地区ガバナー立候補者資格については、ライオンズクラブ国際協会付則第9条第6項に定められております。
2. 提出書類は、別紙推薦状ならびに第二副地区ガバナー立候補者届出書とします。
3. 届出先と届出方法
 - ・ 所属クラブより 331-B 地区キャビネット事務局に提出して下さい。
 - ・ 立候補者の在籍クラブが所属するゾーンの ZC にも同文のものを提出して下さい。
 - ・ 封筒には必ず「第二副地区ガバナー立候補者届出書在中」と明記の上、親展書留で郵送して下さい。

*** 提出期限 2023年12月15日(金) 必着 ***

(同日正午を期限としますので、郵便事情を考慮の上、速達などを利用して下さい。)

- ・ その他 立候補者届出は 331-B 地区第3回キャビネット会議
(2024年2月17日)にて資格審査を行い正式に受理します。

(注) 第二副地区ガバナー立候補者は、ライオンズクラブ国際協会付則第9条第6項により次の資格を要します。

1. 所属単一地区又は準地区内の正クラブの正会員であり、クラブ、本人ともにグッドスタンディングであること。
2. 所属クラブ又は所属単一地区もしくは準地区内の過半数のクラブの推薦を受けていること。
3. 第二副地区ガバナー就任時点で以下の条件満たしていること。
 - ① クラブ会長を半期以上、そしてクラブ理事会構成員として更に2年以上努めた者。
 - ② ZC、RC、キャビネット幹事、キャビネット会計のいずれかの役職者として、全期または、任期の過半を務めた者。
 - ③ 上記のいずれの役職も、同時に達成させることはできない。

ライオンズクラブ国際協会 331-B 地区
地区ガバナー L. 藤原 回向

ライオンズクラブ
会長 L.

推 薦 状

2024-2025 年度 331-B 地区 第二副地区ガバナー立候補者として全会員の
承諾を得て、当クラブ会員 L. _____ を推薦いたします。

2023 年 月 日

第 リジョン 第 ゾーン ライオンズクラブ

会長 ㊟

幹事 ㊟

会計 ㊟

(注) 第二副地区ガバナー立候補者は、ライオンズクラブ国際協会付則第 9 条第 6 項により、次の資格を要します。

1. 所属単一地区又は、準地区内の正クラブの正会員であり、クラブ、本人ともにグッド・スタンディングであること。
2. 所属クラブ又は所属単一地区もしくは準地区内の過半数のクラブの推薦をうけていること。
3. 第二副地区ガバナー就任時点で以下の条件を満たしていること。
 - ① クラブ会長を半期以上、そしてクラブ理事会構成員として更に 2 年以上勤めた者。
 - ② ZC、RC、キャビネット幹事、キャビネット会計のいずれかの役職者として、全期又は任期の過半を務めた者。
 - ③ 上記のいずれの役職も、同時に達成させることはできない。

2024-2025年度 331-B地区 第二副地区ガバナー立候補者届出書

上半身・脱帽・写真 (4.0cm×5.0cm)	届出年月日	年 月 日			
	所 属	第 R 第 Z	ライオンズクラブ		
	ふりがな				
	立候補者名	L.			
	生年月日	年 月 日 歳			
	自 宅	〒			
		住 所			
		電 話			
		携 帯			
	勤務先	E-mail			
〒					
住 所					
勤務先名			役職名		
電 話					
E-mail					
ライオン歴 (年度順) ・入会 ・クラブ役職 ・準地区 ・複合地区役員 ・授賞 アワード					
職 歴 主要なものを列記し、 その役職名を併記					
最 終 学 歴	年 月 卒業				
公職・叙勲・賞罰					
家 族 同居家族氏名・続柄 職業・年齢・性別					
現在、主として勤務している法人・団体等の内容 商号、本店、資本金等					
ライオンズクラブ国際協会 331-B地区 地区ガバナー L. 藤原 回向 私儀、ライオンズクラブ国際協会331-B地区 第二副地区ガバナーとして 立候補いたしたく、クラブ推薦状を添え、届出いたします。 ライオンズクラブ 署名					



(議案第8号)

ライオンズクラブ国際協会 331-B 地区
2023～2024 年度
地区キャビネット慶弔規程 (案)

地区ガバナーの慶弔基準 (案)

- ◆ 死亡時の供花を廃止

ゾーン・チェアパーソンの慶弔基準 (案)

- ◆ 区分 地区内会員に対し → 所属ゾーン内会員に対し に変更
(実態としては改定案のように運用されていたのですが、今回、きちんと明記しておします。)

- ◆ 2) ゾーン・チェアパーソンの慶弔費は、行動費・雑費より支出のこととする。

なお、ガバナー名で立替えた香典は、経費振込口座へ振り込み送金する。

を

- 2) ゾーン・チェアパーソンの所属ゾーン内会員に対しての慶弔費は、キャビネット慶弔費より支出のこととする。

なお、立替えた慶弔費は、領収書をもって経費振込口座へ振り込み送金する。

に変更

- ◆ 【付帯事項】

この規定は、第1回キャビネット会議の決議に従い2023年7月1日に遡り適用する。

を

この規定は、第2回キャビネット会議の決議に従い2023年12月1日より適用する。

に変更

改定前

ライオンズクラブ国際協会 331-B 地区
2023～2024 年度

地区キャビネット慶弔規程

地区ガバナーの慶弔基準

区 分	キャビネット構成員に対し	金 額
結 婚	本人が結婚した場合	10,000 円
死 亡	1. 本人の場合（供花・弔辞・弔電）	10,000 円 （香典）
	2. 配偶者の場合（弔電）	10,000 円 （香典）
	新聞の死亡広告にガバナー名を使用する場合は、ガバナーの了承を得る。 但し、掲載料は喪主の負担とする。	

区 分	地区内会員に対し	金 額
結 婚	本人が結婚した場合	————
死 亡	1. 本人の場合（供花・弔辞・弔電）	10,000 円 （香典）
	2. 配偶者の場合（弔電）	————
	新聞の死亡広告にガバナー名を使用する場合は、ガバナーの了承を得る。 但し、掲載料は喪主の負担とする。	

- 1) 上記以外の事項または、特別な事情が生じた場合は、地区ガバナーの裁量により決定する。
- 2) キャビネット事務局員は、上記キャビネット構成員の項を準用する。
- 3) 支部会員は対象となるが、子家族会員は対象とならない。

【付帯事項】

この規程は、所属ライオンズクラブ会長の連絡を受けて適用することを原則とする。

この規定は、第 1 回キャビネット会議の決議に従い 2023 年 7 月 1 日に遡り適用する。

ゾーン・チェアパーソンの慶弔基準

区 分	キャビネット構成員及び地区委員に対し	金 額
結 婚	本人が結婚した場合	10,000 円
死 亡	1. 本人の場合（弔電）	5,000 円 （香典）
	2. 配偶者の場合（弔電）	5,000 円 （香典）

区 分	地区内会員に対し	金 額
結 婚	本人が結婚した場合	10,000 円
死 亡	3. 本人の場合（弔電）	5,000 円 （香典）
	4. 配偶者の場合（弔電）	5,000 円 （香典）

- 1) 上記以外の事項または、特別な事情が生じた場合は、ゾーン・チェアパーソンの裁量により決定する。
- 2) ゾーン・チェアパーソンの慶弔費は、行動費・雑費より支出のこととする。
 なお、ガバナー名で立替えた香典は、経費振込口座へ振り込み送金する。
- 3) 支部会員は対象となるが、子家族会員は対象とならない。

【付帯事項】

この規程は、所属ライオンズクラブ会長の連絡を受けて適用することを原則とする。

この規定は、第1回キャビネット会議の決議に従い2023年7月1日に遡り適用する。

改定後

ライオンズクラブ国際協会 331-B 地区
2023～2024 年度

地区キャビネット慶弔規程（案）

地区ガバナーの慶弔基準

区 分	キャビネット構成員に対し	金 額
結 婚	本人が結婚した場合	10,000 円
死 亡	1. 本人の場合（弔辞・弔電）	10,000 円 （香典）
	2. 配偶者の場合（弔電）	10,000 円 （香典）
	新聞の死亡広告にガバナー名を使用する場合は、ガバナーの了承を得る。 但し、掲載料は喪主の負担とする。	

区 分	地区内会員に対し	金 額
結 婚	本人が結婚した場合	————
死 亡	1. 本人の場合（弔辞・弔電）	10,000 円 （香典）
	2. 配偶者の場合（弔電）	————
	新聞の死亡広告にガバナー名を使用する場合は、ガバナーの了承を得る。 但し、掲載料は喪主の負担とする。	

- 1) 上記以外の事項または、特別な事情が生じた場合は、地区ガバナーの裁量により決定する。
- 2) キャビネット事務局員は、上記キャビネット構成員の項を準用する。
- 3) 支部会員は対象となるが、子家族会員は対象とならない。

【付帯事項】

この規程は、所属ライオンズクラブ会長の連絡を受けて適用することを原則とする。

この規定は、第2回キャビネット会議の決議に従い2023年12月1日より適用する。

ゾーン・チェアパーソンの慶弔基準（案）

区 分	キャビネット構成員及び地区委員に対し	金 額
結 婚	本人が結婚した場合	10,000 円
死 亡	1. 本人の場合（弔電）	5,000 円 （香典）
	2. 配偶者の場合（弔電）	5,000 円 （香典）

区 分	所属ゾーン内会員に対し	金 額
結 婚	本人が結婚した場合	10,000 円
死 亡	3. 本人の場合（弔電）	5,000 円 （香典）
	4. 配偶者の場合（弔電）	5,000 円 （香典）

- 1) 上記以外の事項または、特別な事情が生じた場合は、ゾーン・チェアパーソンの裁量により決定する。
- 2) ゾーン・チェアパーソンの所属ゾーン内会員に対しての慶弔費は、キャビネット慶弔費より支出のこととする。

なお、立替えた慶弔費は、領収書をもって経費振込口座へ振り込み送金する。
- 3) 支部会員は対象となるが、子家族会員は対象とならない。

【付帯事項】

この規程は、所属ライオンズクラブ会長の連絡を受けて適用することを原則とする。

この規定は、第2回キャビネット会議の決議に従い2023年12月1日より適用する。

第2回キャビネット会議 提出議案

- ・ 議案 ありません。
- ・ 提案 2クラブ提出
- ・ 質問 2クラブ提出

第2回キャビネット会議 提出議案

(3) R (2) Z _____ 帯広さくら ライオンズクラブ

2023年 9月 11 日

会長名 高橋 好志子 _____

【 議案 提案 質問 】

※いずれかに○をお付けください

(議 案)
地区HPは、キャビネットが変わっても継続利用してほしい。
キャビネットが変わっても、クラブは継続して動いています。
現在のように1年ごとに変更されてしまうと、事務作業にロスが生じます。
サバンナ報告や、前年度の実績など、331-BのHPから見る可以看到と助かります。

(提出理由)
これまでもキャビネット作業が整うまで”更新中”となり、必要書類が取り出せない事がありました。
331-A・331-Cは継続していますので、そこからダウンロードすることもあります。
他の地区と同じように年次大会を含め、資料を取り出せるととてもありがたいですし、製作費用も安くなるのではありませんか？
”稚内キャビネットHP”ではなく ”331-B地区キャビネットHP”のようにはできないのでしょうか？

1. 原文を1部キャビネット事務局に送付してください。
2. 貴クラブ用はコピーの上保管してください。
3. 用紙不足の際には、コピーの上使用してください。

第2回キャビネット会議 提出議案

(3) R (2) Z

帯広中央 ライオンズクラブ

2023年 9 月 25 日

会長名 大平 俊一

【 議案 ・ 提案 ・ 質問 】

※いずれかに○をお付けください

(提 案)
本年のガバナー公式訪問プログラムのタイムスケジュールが実際のタイムスケジュールとの大幅な乖離が見られたことから、タイムスケジュールの見直しが必要ではないかと思ひます。しかし、今回の余剰時間での各クラブ会長からの取組などは参考になった部分もありましたのでプログラムの内容も再考するのもいいのかなと思ひます。

(第1回諮問委員会での諮問の回答)
植樹会のアクティビティについては、実施するのであれば1クラブ単位ではなくゾーンごとなどある程度まとまって行政を絡めて実施するのが望ましいと思ひます。
また植樹会以外での「自然保護」に対しての良案はありません。
ゾーン・チェアパーソンの選出方法については、会員数や会員の高齡化、比較的若い年齢の会員は経験が浅い、現職が忙しく時間的な余裕が無いなどの理由から順番制は難しい状況にあります。
出せる人材(会員)が在籍していらっしゃるクラブからお願い出来ればと思ひます。

1. 原文を1部キャビネット事務局に送付してください。
2. 貴クラブ用はコピーの上保管してください。
3. 用紙不足の際には、コピーの上使用してください。

第2回キャビネット会議 提出議案

(5) R (2) Z

美 幌 ライオンズクラブ

2023年 9 月 14 日

会長名 岡元 一実

【 議案 ・ 提案 ・ 質問 】

※いずれかに○をお付けください

(議 案)
(社)日本ライオンズ設置対する国際協会のどの規約によって設立したのか

(提出理由)
法人及び役員の権限の範囲は国際協会理事等を決定する権限を与えたのでしょうか 会費徴収を支払っていないクラブが有るようですが把握しているでしょうか。以上、キャビネット としての見解をお願いします。

1. 原文を1部キャビネット事務局に送付してください。
2. 貴クラブ用はコピーの上保管してください。
3. 用紙不足の際には、コピーの上使用してください。

第2回キャビネット会議 提出議案

(3) R (2) Z

帯広平原ライオンズクラブ

2023年 9月 26 日

会長名 L.太田 好啓

【 議案 ・ 提案 ・ 質問 】

※いずれかに○をお付けください

(議 案)
質問
地区シェアリングを活用した、「植樹」について。

(提出理由)
9月1日に「地区ガバナー L.藤原 回向 公式訪問」がホテルノースランド帯広で開催されました。
ガバナー方針の中で、地区シェアリングを活用して「植樹」の提案事項があったと認識しています。
尚、CAB幹事の説明では、内容は具体的ではないものの「決定事項」のような表現でした。
過日、第3R 第2Z 諮問会議でも協議されましたが、正しい認識が出来ていません。
尚、植樹となると、行政などとの協議が必要不可欠となるかと思えます。
以上の事から、今一度説明をお願いします。

1. 原文を1部キャビネット事務局に送付してください。
2. 貴クラブ用はコピーの上保管してください。
3. 用紙不足の際には、コピーの上使用してください。

参 考 资 料

2023-2024 地区及びクラブシェアリング交付金手続き

申請必要書類

(事業開始6か月前～90日前に申請)

- ① 申請書 3 枚
- ② 理事会議事録 「クラブで承認された」旨の記述のある理事会議事録
※申請書を添付または回覧し、その内容が承認されたことを明確に。
- ③ 見積書 「総事業費の根拠となる業者、取引先等の見積書」

報告必要書類

- ① 報告書 3 枚
- ② “LCIF 交付金を使用し無事、事業が終了した旨の記述のある理事会議事録
※報告書を添付または回覧し、その内容が承認されたことを明確に。
- ③ 「領収書のコピー」と「当日の写真」あれば「新聞等の切り抜き」
※ライオンズクラブ国際財団の交付金事業は PR 活動や看板等の設置を通して支援を受けて実施されたことを明示する必要がある。
報告書を提出しなければ次の交付金の使用許可がおりなくなります。

★申請がおりた事業が中止または延期の場合すぐにキャビネットに報告。

※中止、または延期が決定次第、新興イニシアチブ課(現在はグローバル交付金プログラム課)の担当者(交付金番号や送金手続きのメールで確認してください。)あてに報告すること。

その際、MD 並びに地区コーディネーター、キャビネット事務局、複合、LCIFTokyo へ必ず CC を入れる事。

中止の場合、入金済みの交付金については返金の指示がありますので、指示に従って手続きをしてください。

無指定献金 5000 \$ 以上のクラブは 15%がクラブ専用の交付金の申請可能額として 8、9 月ころ付与されお知らせがきます。**クラブシェアリング交付金**として申請し、クラブ内のアクティビティに使えます。使用されなければ 15 年間プールされていきます。

5000 \$ に達しなかったクラブは 331-B 地区内の 5000 \$ 未満だったクラブの総額の 15%は地区キャビネットの申請可能額としてキャビネットが保持します。

災害指定献金は 5000 \$ の中にカウントされません。

- 士別 CAB 会議議案 15 号に掲載されておりますが B 地区独自のルール(地区シェアリング交付金をクラブで活用する)を設けない事としました。

MISSION 1.5

ミッション1.5(ワン・ポイント・ファイブ)

2027年7月1日までに、ライオンズクラブ国際協会は全世界合計会員数150万人(ワン・ポイント・ファイブ・ミリオン)を達成する。

- すべての会則地域で2026-2027年度までに会員純増を達成する。
- すべての地区で、新クラブを結成する。
- Mission1.5期間中に、すべてのクラブが新会員を迎える。
- すべての地区は、女性や若手会員を含め、より多様な会員を迎え入れるための戦略を策定する。

ライオンズクラブ国際協会は、世界最大の会員を母体とする奉仕組織として、200の国と地域、4万9千のクラブによる活動を通して、人道的ニーズに応えてきました。

1917年以来、自ら汗をかく奉仕活動で、ライオンズは人々の健康と環境を改善し、コミュニティを強化し、弱者を支援してきました。

会員数を増やすことは、クラブが奉仕活動を行う力を維持することにつながります。より力強い会員によるボランティアネットワークを築き、グローバルな奉仕目標への意識を高め、世界にポジティブな変化をもたらすのが私たちの使命です。

奉仕活動を行うキャパシティ(能力)を高めるために

- 多様性と組織の包容力を高める(ダイバーシティ&インクルージョン)
- 活動範囲と影響力を広げる
- 会員であることのメリットを高める つまり、会員制組織として、会員数が増えれば、それだけ幅広いネットワーキングの機会を会員に提供
- 資金力の増大 会員が増えれば、組織としての資金力は高まる

現在は年間およそ5億人への奉仕活動を提供しています。組織として、ライオンズは年間10億人への奉仕を目指します。

LCIF キャンペーン 100 の成功で、奉仕を拡大するための財団資金を獲得することが出来ました。次は、これを活かすために意義のある奉仕活動に携わる会員を増やすときです。

⇒ 次の100年、組織としての活力を維持し、奉仕を続けるために

組織アプローチ

国際会長と副会長がミッション 1.5 の総責任者

- ▶ 執行役員チームは国際会長が統括
- ▶ 次期国際会長が、次期副会長の会則地域割り当てを決定
- ▶ 各副会長は、会則地域リーダーを統括
- ▶ 執行役員チームは、各会則地域、複合地区、地区のチームが成功し、目標を達成することに責任を負う
- ▶ 会則地域5（オセアル）は、元国際会長が分担して会則地域リーダーを務める

ミッションと今後のプロセス

2023-2024 年度の日本へのミッション

- ▶ 純増 500 人
- ▶ すべての地区で新クラブを結成

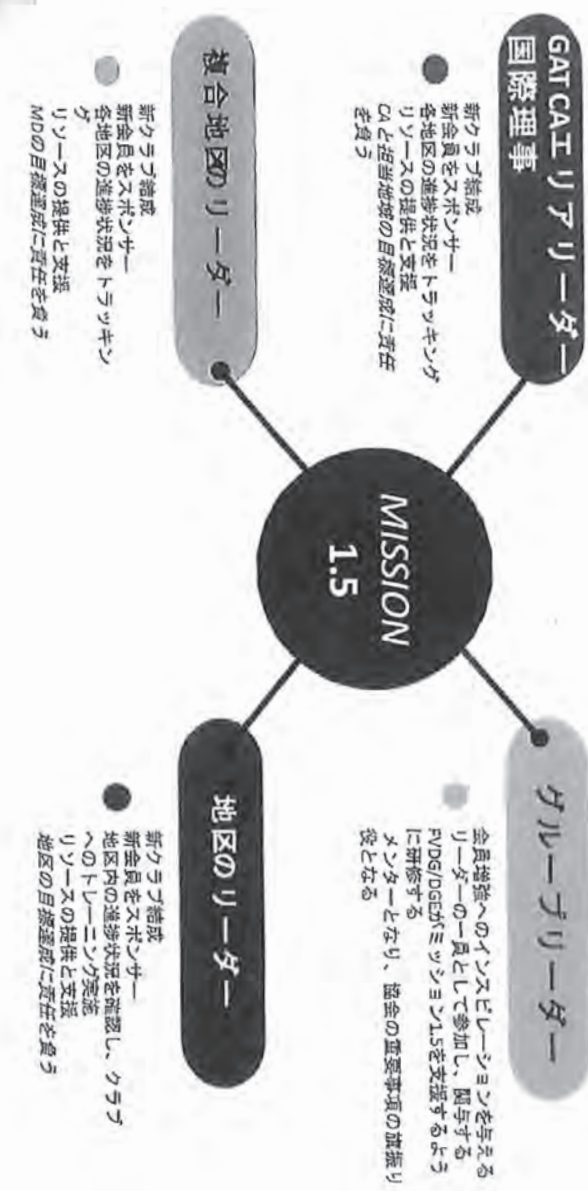
今後のプロセス

1. 会則リーダーと執行役員による、各地区目標の見直し
2. 地区ガバナーチームによる地区目標の見直し

3. 最低でも月に1回のミッション報告会議を以下のレベルでそれぞれ必ず実施する

1. 会則リーダー、国際理事、GAT エリアリーダーの会議
2. エリアリーダーと複合地区議長（複合地区のミッション責任者）、グループリーダーの会議
3. エリアリーダーと各複合地区議長、所属地区ガバナー（地区でのミッション責任者）、地区 GET コーディネーターまたはミッション担当となるコーディネーターとの会議
4. 地区ミッション責任者・担当者とゾーンチェアパーソン・リジョンチェアパーソンとの会議

GAT とグローバルリーダーの責任



参考

役割と責任の概要：リーダーに適用

ミッションへの理解とコミットメント

- M1.5の全レベルの役割と責任を理解し個人としてコミットする
- すべてのレベルの会員とオーガナコミュニケーションの能力

具体的なリーダーシップの発揮（模範を示す）

- 1名新会員をスポンサーする。1クラウ結成する。
- モチベーションとインスピレーションを伝え、支援する
- 表彰を行い、必要があれば方針を正す

アカウンタビリティ

- M1.5の取り組みと目的を自分のこととして取り組む
- 実証的、具体的な報告を行い、担当地域の成功と課題を共有する
- 目標達成に重点を置く

行動力

- M1.5のプロモーション研修、そして実践
- 担当者からの報告を受け、具体的な戦略を指示
- すべてのレベルで提供しているサポートが、既存クラフや新クラフのためになっているかを確認

2023-2024年度ライオンズクラブ国際協会331-B地区キャビネット組織表

【国際テーマ】We Serve (われわれは奉仕する)
 【国際会長メッセージ】Changing The World(世界を変える)

【2023-2024 ガバナンスローガン】
 環境保護は子孫に対する奉仕となる



地区名譽顧問会 議長	L.中谷 宣巨(御路)
地区名譽顧問会 副議長	L.中谷 宣巨(御路)
第1R	L.佐藤 信雄(富良野)
第2R	L.香川 俊雄(帯広中央)
第3R	L.井浦 義明(稚内北斗)
第4R	L.若林 雅彦(美幌)

幹事(全)	L.中野 修吉(稚内北斗)
副幹事	L.梅村 俊範(稚内北斗)
会計	L.村上 亮(稚内北斗)
副会計	L.巖谷 亮行(稚内北斗)
運営委員長	L.佐藤 隆司(稚内北斗)
副委員長	L.鳥取 広志(稚内北斗)
運営 "	L.柳浦 政泰(稚内北斗)
 "	L.加賀 浩一(稚内北斗)
 "	L.永井 由美子(稚内北斗)
 "	L.庄司 明弘(稚内北斗)

C地区	L.藤原 隆志(北見)
A地区	L.左藤 健治(富良野)
T地区	L.高橋 浩和(帯広平原)
S地区	L.岡田 清一(旭川中央)
地区SGP	L.大津 幸三(御路みなと)
地区GCE	L.柳澤 豊(留萌みなと)

副コーディネーター	L.伊東 隆志(北見)
コーディネーター	L.左藤 健治(富良野)
地区L	L.矢吹 寛人(帯広平原)
地区G	L.岡田 清一(旭川中央)
地区M	L.重綱 博美(旭川平和)
地区T	L.大津 幸三(御路みなと)
地区S	L.柳澤 豊(留萌みなと)

元ガバナ一名譽顧問	L.安井 克之(旭川東)
 "	L.山田 正昭(御路みなと)
 "	L.山崎 博信(名寄中央)
 "	L.奥山 壽雄(白滝)
 "	L.阿部 昭(生別)

副委員長	L.本間 修三(稚内)
委員長	L.村山 敬弥(名寄)
副委員長	L.明石 敬弥(名寄)
副委員長	L.森清 清志(篠路)
副委員長	L.櫻井 信之(篠路)
副委員長	L.浅野 裕一(北見中央)
副委員長	L.藤原 芳明(帯広かしの)
副委員長	L.清野 芳明(帯広平原)
副委員長	L.小林 孝彦(羽幌)
副委員長	L.藤原 正幸(羽幌)
副委員長	L.高田 政志(稚内)
副委員長	L.藤木 潤子(稚内)
副委員長	L.山田 康徳(稚内北斗)
副委員長	L.石橋 美由地(枝幸中央)

1R	L.成田 勝利(標茶)
2R	L.杉本 隆英(旭川中央)
3R	L.山崎 光儀(上富良野)
4R	L.高橋 好志子(帯広さくら)
5R	L.喜多 泰彦(生別)
6R	L.徳田 景一(稚内北斗)
7R	L.奥山 久美子(白滝)
8R	L.佐藤 正明(美幌)

1R	L.成田 勝利(標茶)
2R	L.杉本 隆英(旭川中央)
3R	L.山崎 光儀(上富良野)
4R	L.高橋 好志子(帯広さくら)
5R	L.喜多 泰彦(生別)
6R	L.徳田 景一(稚内北斗)
7R	L.奥山 久美子(白滝)
8R	L.佐藤 正明(美幌)

委員長	L.阿部 昭(生別)
副委員長	L.伊東 隆志(北見)
副委員長	L.天島 尚久(御路みなと)
委員	L.喜多 武彦(生別)
委員	L.中野 修吾(稚内北斗)
委員	L.二宮 雄一(北見)
委員	L.木村 宏幸(御路みなと)

委員長	L.阿部 昭(生別)
副委員長	L.伊東 隆志(北見)
副委員長	L.天島 尚久(御路みなと)
委員	L.喜多 武彦(生別)
委員	L.中野 修吾(稚内北斗)
委員	L.二宮 雄一(北見)
委員	L.木村 宏幸(御路みなと)

1R	L.青木 秀史(御路みなと)
2R	L.広瀬 寛人(高良野)
3R	L.田邊 宏(帯広平原)
4R	L.遠藤 隆男(名寄中央)
5R	L.奥山 壽雄(白滝)

1R	L.青木 秀史(御路みなと)
2R	L.広瀬 寛人(高良野)
3R	L.田邊 宏(帯広平原)
4R	L.遠藤 隆男(名寄中央)
5R	L.奥山 壽雄(白滝)

委員長	L.阿部 昭(生別)
副委員長	L.伊東 隆志(北見)
副委員長	L.天島 尚久(御路みなと)
委員	L.喜多 武彦(生別)
委員	L.中野 修吾(稚内北斗)
委員	L.二宮 雄一(北見)
委員	L.木村 宏幸(御路みなと)

委員長	L.阿部 昭(生別)
副委員長	L.伊東 隆志(北見)
副委員長	L.天島 尚久(御路みなと)
委員	L.喜多 武彦(生別)
委員	L.中野 修吾(稚内北斗)
委員	L.二宮 雄一(北見)
委員	L.木村 宏幸(御路みなと)

1R	L.青木 秀史(御路みなと)
2R	L.広瀬 寛人(高良野)
3R	L.田邊 宏(帯広平原)
4R	L.遠藤 隆男(名寄中央)
5R	L.奥山 壽雄(白滝)

1R	L.青木 秀史(御路みなと)
2R	L.広瀬 寛人(高良野)
3R	L.田邊 宏(帯広平原)
4R	L.遠藤 隆男(名寄中央)
5R	L.奥山 壽雄(白滝)

委員長	L.阿部 昭(生別)
副委員長	L.伊東 隆志(北見)
副委員長	L.天島 尚久(御路みなと)
委員	L.喜多 武彦(生別)
委員	L.中野 修吾(稚内北斗)
委員	L.二宮 雄一(北見)
委員	L.木村 宏幸(御路みなと)

委員長	L.阿部 昭(生別)
副委員長	L.伊東 隆志(北見)
副委員長	L.天島 尚久(御路みなと)
委員	L.喜多 武彦(生別)
委員	L.中野 修吾(稚内北斗)
委員	L.二宮 雄一(北見)
委員	L.木村 宏幸(御路みなと)

1R	L.青木 秀史(御路みなと)
2R	L.広瀬 寛人(高良野)
3R	L.田邊 宏(帯広平原)
4R	L.遠藤 隆男(名寄中央)
5R	L.奥山 壽雄(白滝)

1R	L.青木 秀史(御路みなと)
2R	L.広瀬 寛人(高良野)
3R	L.田邊 宏(帯広平原)
4R	L.遠藤 隆男(名寄中央)
5R	L.奥山 壽雄(白滝)

委員長	L.阿部 昭(生別)
副委員長	L.伊東 隆志(北見)
副委員長	L.天島 尚久(御路みなと)
委員	L.喜多 武彦(生別)
委員	L.中野 修吾(稚内北斗)
委員	L.二宮 雄一(北見)
委員	L.木村 宏幸(御路みなと)

委員長	L.阿部 昭(生別)
副委員長	L.伊東 隆志(北見)
副委員長	L.天島 尚久(御路みなと)
委員	L.喜多 武彦(生別)
委員	L.中野 修吾(稚内北斗)
委員	L.二宮 雄一(北見)
委員	L.木村 宏幸(御路みなと)

1R	L.青木 秀史(御路みなと)
2R	L.広瀬 寛人(高良野)
3R	L.田邊 宏(帯広平原)
4R	L.遠藤 隆男(名寄中央)
5R	L.奥山 壽雄(白滝)

1R	L.青木 秀史(御路みなと)
2R	L.広瀬 寛人(高良野)
3R	L.田邊 宏(帯広平原)
4R	L.遠藤 隆男(名寄中央)
5R	L.奥山 壽雄(白滝)

委員長	L.阿部 昭(生別)
副委員長	L.伊東 隆志(北見)
副委員長	L.天島 尚久(御路みなと)
委員	L.喜多 武彦(生別)
委員	L.中野 修吾(稚内北斗)
委員	L.二宮 雄一(北見)
委員	L.木村 宏幸(御路みなと)

委員長	L.阿部 昭(生別)
副委員長	L.伊東 隆志(北見)
副委員長	L.天島 尚久(御路みなと)
委員	L.喜多 武彦(生別)
委員	L.中野 修吾(稚内北斗)
委員	L.二宮 雄一(北見)
委員	L.木村 宏幸(御路みなと)

1R	L.青木 秀史(御路みなと)
2R	L.広瀬 寛人(高良野)
3R	L.田邊 宏(帯広平原)
4R	L.遠藤 隆男(名寄中央)
5R	L.奥山 壽雄(白滝)

1R	L.青木 秀史(御路みなと)
2R	L.広瀬 寛人(高良野)
3R	L.田邊 宏(帯広平原)
4R	L.遠藤 隆男(名寄中央)
5R	L.奥山 壽雄(白滝)

委員長	L.阿部 昭(生別)
副委員長	L.伊東 隆志(北見)
副委員長	L.天島 尚久(御路みなと)
委員	L.喜多 武彦(生別)
委員	L.中野 修吾(稚内北斗)
委員	L.二宮 雄一(北見)
委員	L.木村 宏幸(御路みなと)

委員長	L.阿部 昭(生別)
副委員長	L.伊東 隆志(北見)
副委員長	L.天島 尚久(御路みなと)
委員	L.喜多 武彦(生別)
委員	L.中野 修吾(稚内北斗)
委員	L.二宮 雄一(北見)
委員	L.木村 宏幸(御路みなと)

1R	L.青木 秀史(御路みなと)
2R	L.広瀬 寛人(高良野)
3R	L.田邊 宏(帯広平原)
4R	L.遠藤 隆男(名寄中央)
5R	L.奥山 壽雄(白滝)

1R	L.青木 秀史(御路みなと)
2R	L.広瀬 寛人(高良野)
3R	L.田邊 宏(帯広平原)
4R	L.遠藤 隆男(名寄中央)
5R	L.奥山 壽雄(白滝)

委員長	L.阿部 昭(生別)
副委員長	L.伊東 隆志(北見)
副委員長	L.天島 尚久(御路みなと)
委員	L.喜多 武彦(生別)
委員	L.中野 修吾(稚内北斗)
委員	L.二宮 雄一(北見)
委員	L.木村 宏幸(御路みなと)

委員長	L.阿部 昭(生別)
副委員長	L.伊東 隆志(北見)
副委員長	L.天島 尚久(御路みなと)
委員	L.喜多 武彦(生別)
委員	L.中野 修吾(稚内北斗)
委員	L.二宮 雄一(北見)
委員	L.木村 宏幸(御路みなと)

1R	L.青木 秀史(御路みなと)
2R	L.広瀬 寛人(高良野)
3R	L.田邊 宏(帯広平原)
4R	L.遠藤 隆男(名寄中央)
5R	L.奥山 壽雄(白滝)

1R	L.青木 秀史(御路みなと)
2R	L.広瀬 寛人(高良野)
3R	L.田邊 宏(帯広平原)
4R	L.遠藤 隆男(名寄中央)
5R	L.奥山 壽雄(白滝)

ライオンズクラブ国際協会 331-B地区
稚内キャビネット事務局
 〒097-0022 稚内市中央4丁目15-16 道北水産ビル1F
 TEL (0162) 73-3161・FAX (0162) 73-3162
 E-mail: wilsons331b@outlook.jp

事務局	L.池田 惠美子(稚内北斗)
事務局員	大久保 雅明
事務局員	山口 真希
事務局員	小野寺 理恵

事務局	L.池田 惠美子(稚内北斗)
事務局員	大久保 雅明
事務局員	山口 真希
事務局員	小野寺 理恵

委員長	L.阿部 昭(生別)
副委員長	L.伊東 隆志(北見)
副委員長	L.天島 尚久(御路みなと)
委員	L.喜多 武彦(生別)
委員	L.中野 修吾(稚内北斗)
委員	L.二宮 雄一(北見)
委員	L.木村 宏幸(御路みなと)



稚内キャビネット事務局

〒097-0022 稚内市中央4丁目15番16号 道北水産ビル1階

TEL 0162-73-3161 FAX 0162-73-3162

E-mail : wlions331b@outlook.jp